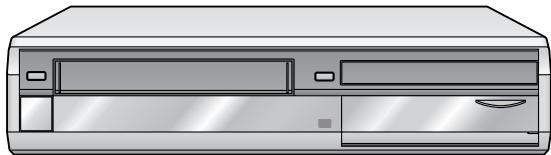


Panasonic®

ハイビジョンディーガ
DIGA

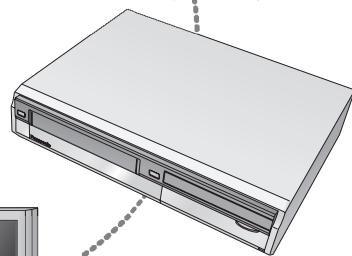
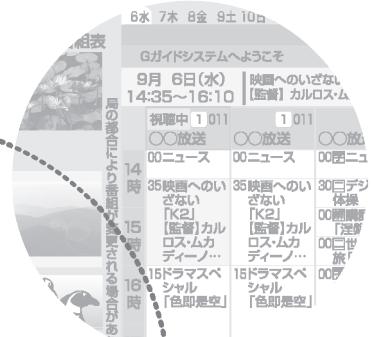
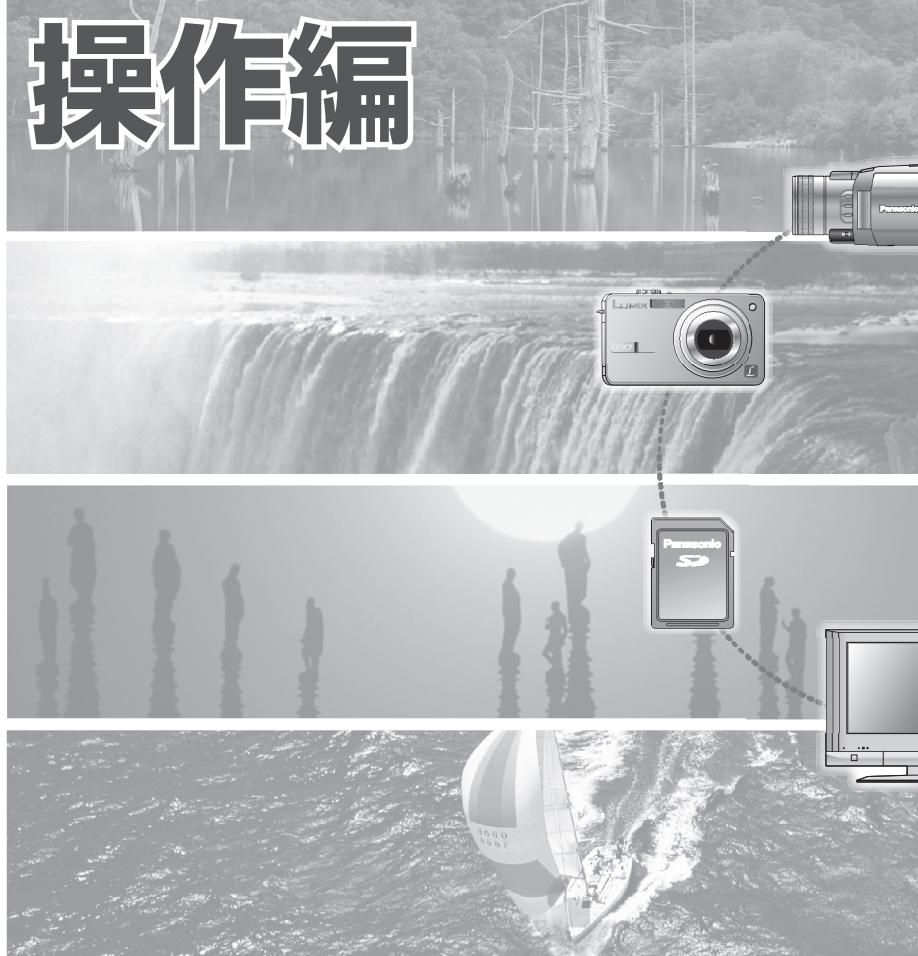


取扱説明書

DVDレコーダー

品番 DMR-XW40V

操作編



DVD
VIDEO
RAM/RW

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

SD
HC

RAM
COMPATIBLE
RECORDER

VHS

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

gracenote®

G-GUIDE®

G-CODE®

DVD関連情報（動作確認情報など）は、パナソニックホームページをご覧ください。

<http://panasonic.jp/support/dvd/>

詳しい使い方説明は、「ディーガ使い方ナビゲーション」をご覧ください。

<http://panasonic.jp/support/mpi/dvd/>

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。ホームページでユーザー登録ができます。

<http://www.mps.panasonic.co.jp/>

このたびは、パナソニックDVDレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(→140~141ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

RQT8709-3S

ディーガ かんたん!使いこなし術

ハードディスク と
番組を HDD に録りためて、DVD に残してみよう!

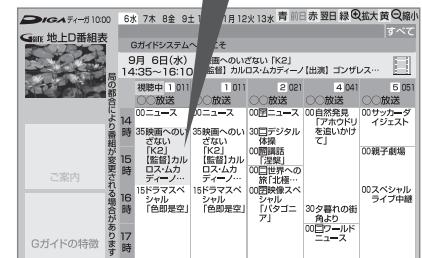
録画 予約する



- 番組表
- 番組表を表示する

- 選び
- 決定する

予約したい番組を選ぶ



放送を変更するときは → 放送
(入力切換)

詳しい操作方法は→44ページ

見る 再生する



- 再生ナビ
- 番組一覧を表示する

- 選び
- 決定する

再生したい番組を選ぶ



選んだ番組が再生されます

詳しい操作方法は→52ページ

残す ダビングする



- 開/閉
- (本体の開閉ボタン)
ディスクを入れる
- 操作一覧
- 操作一覧画面を表示する

- 選び
- 決定する

「ダビングする」を選択



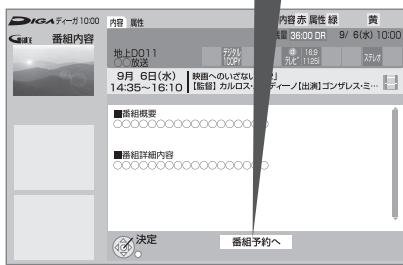
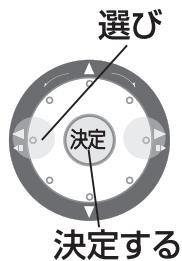
詳しい操作方法は→74ページ

詳しい操作方法は、それぞれの
ページをご覧ください。

操作ガイドも
見てね! (→22)

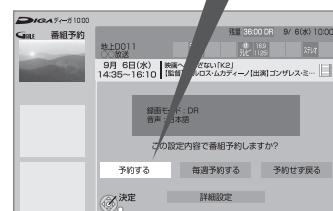
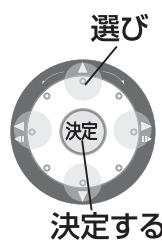
3

「番組予約へ」を選ぶ



4

「予約する」を選ぶ



録画モード「DR」だと、デジタル放送をハイビジョン画質で録画できます



- ☞ 予約内容を確認し、変更が必要なときは
「詳細設定」を選び (→45「詳細設定画面」)
- ☞ 同じ番組を毎週録画したいときは
「毎週予約する」を選ぶ

消す 消去する

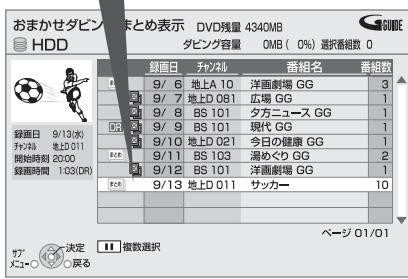
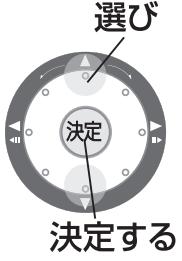
消去ナビを使うと
かんたんに番組を
消すことができます。

不要な番組を
消去したい!

詳しい操作方法は→102ページ

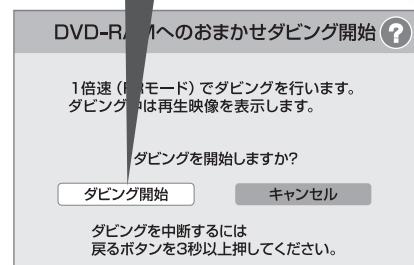
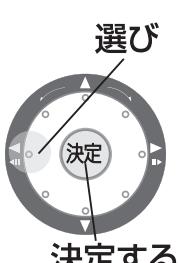
4

ダビングしたい番組を選ぶ



5

「ダビング開始」を選ぶ



ダビングを開始します

本機の特長



デジタル放送を見る

→26ページ

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル、地上アナログのチューナーを搭載しています。



アンテナをつなげば、高画質なデジタル放送を見られるんだね。



見たい番組もすぐ見つかる

→52ページ

HDDやディスクに記録されている映像は、再生ナビ画面で、見たい番組を探せて便利です。



カセットのように早送りや巻き戻しをして番組を探す必要はないのね。



どっちも録り

→34ページ

デジタル放送の番組を2番組同時に録画できます。

デジタル放送とアナログ放送の番組を2番組同時に録画することもできます。



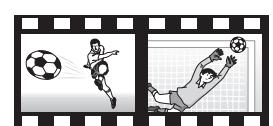
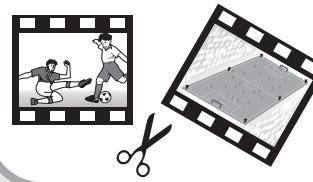
見たい番組が重なっても両方録れる!



番組を編集する

→64ページ

録画した番組の不要な場面を削除することができます。



ハイビジョン画質をそのまま録画

→35ページ

デジタル放送そのままの高画質・高音質をHDDへ録画して楽しめます。



ハイビジョンのきれいな映像のまま録画できるんだね。



好きな番組をDVDへダビングする

→74ページ

おまかせダビングなら音声ガイドに従って操作するだけで、簡単にダビングができます。



難しい設定なしに、HDDまたはVHSにある番組をDVDにダビングできます。



番組表から録画予約する

→44ページ

番組表から、録画したい番組を選んで予約ができます。



番組表から選ぶだけだからカンタンね。

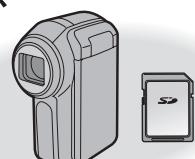


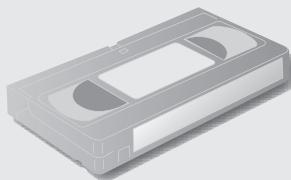
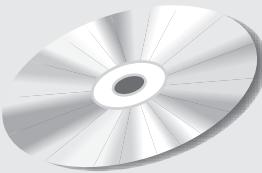
SDカードのMPEG2動画をダビングする

→78ページ

SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を見るには、まずHDDなどにダビングしてください。

●SDカードから直接再生することはできません。





外部機器へハイビジョン画質のままダビングする

→82ページ

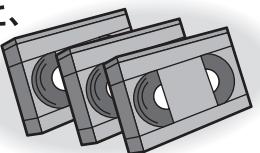
i.LINK(TS)対応の機器と接続すると、ハイビジョン画質のままダビングができます。



カセットを整理して大切な映像だけを残す

→66ページ

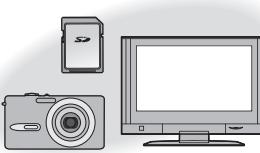
昔に録画した複数のカセットをまとめてHDDにダビングし、整理してDVDにダビングすると、大切な映像だけを保存することができます。



デジカメで撮った写真を見る

→86ページ

デジタルカメラなどで撮影した写真をテレビで見たり、HDDやDVD-RAMに残すことができます。



好きな音楽を録りためる

→92ページ

音楽CDをHDDに録りためたり、SDカードに持ち出すことができます。



携帯電話やパソコンから録画予約する

→準備編45ページ
→108ページ

携帯電話やパソコンから、録画予約などの操作を行うことができます。



予約し忘れても安心ね!



HDMIケーブルでVIERAとつなぐと…

→24ページ

ビエラのリモコンで、本機の操作を行なうこともできます。



●VIERA Linkに対応した機器と接続してください。



使いかたに迷ったときは…

→22ページ

テレビ画面で本機の操作ガイドを見ることができます。



もくじ



音声ガイドについて

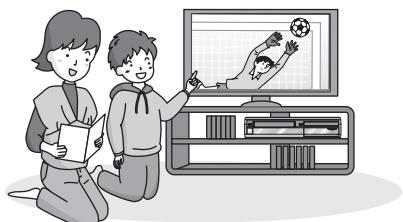
音声ガイドは音声で操作を案内する機能です。

音声ガイドは本書中の左記マークのある箇所で働きます。

もくじに○が付いている
項目は音声ガイドが働き
ます。

ます

お知らせとご確認



- ディーガかんたん！使いこなし術…2

- 本機の特長……………4

大事なお知らせ

- 使えるディスク・カードについて…8

- HDDの取り扱い ……………… 14

- ディスク・カードの取り扱い…… 15

さあ

使ってみよう

番組

視聴

- テレビ放送を見る…………… 26

- 番組表（Gガイド）から見る …… 30

- データ放送/有料番組を見る …… 32

録る

- 録画について…………… 34

- 音声多重放送の録画について…… 37

- 録画する…………… 38

- 録画中のいろいろな操作…………… 39

- 録画しながら再生する(追っかけ再生、同時録画再生) …… 40

- ディスク容量にぴったり合うように録画する …… 41

- 予約録画について…………… 42

写真

- 写真（JPEG）を再生する …… 86

音楽

- 音楽を楽しむ前に ……………… 92

- 音楽CDを再生する ……………… 94

- 音楽CDをHDDに録音する …… 94

その他

便利機能

- 番組・写真・音楽を消去する○ …… 102

- フォーマット/ディスク名入力/
ディスクプロテクト/全番組消去○ …… 104

もし

困ったとき



必要なとき

- Q & A（よくあるご質問） …… 118

- こんな表示が出たら…………… 119

- 故障かな!?…………… 122

- 修理診断カルテ…………… 132

「安全上のご注意」を必ずお読みください。 (→140~141ページ)

ご安全
注意上
の

- カセットについて 15
- 使用上のお願い 16
- 受信できるテレビ放送について 17

確認

自分で設置される方は...
別冊「準備編」をご覧になり、必要な設定を行ってください。

- 予約録画する 44
 - 番組表 (Gガイド) を使って予約録画する 44
 - Gコード®入力を使って予約録画する 46
 - 録画時間を指定して予約録画する (時間指定予約) 47
 - 録画中の予約録画を止める 49
 - 予約内容の確認や取り消し、修正などをする 49
 - 番組表 (Gガイド) の便利な機能 50

見る

- HDD・ディスクを再生する 51
- VHSを再生する 58
- 操作の状態を表示する(情報表示) 62
- 音声を切り換える 63

- 写真 (JPEG) を編集する 88

- HDDの曲をSDカードに転送する 95
- HDDやSDカードの音楽を再生する 96

- 他の機器で再生できるようにする
(ファイナライズ) 106
- 文字入力 107
- 自宅にあるパソコンで操作する 108

- 用語解説 133
- アイコン一覧 136
- 仕様 138
- 保証とアフターサービス (よくお読みください) 142
- さくいん 144

- 各部のはたらき 18
- ディスク・カセット・SDカードを入れる 21
- 操作ガイドについて (O) 22
- 操作一覧画面について 23
- VIERA Linkを使う 24

お大事
らせ

確認

視聴

録る

番組

編集

残す

編集

- 番組を編集する 64

残す

- 番組のダビングについて 66
- 番組をダビングする 73
 - 再生中番組のDVD保存 73
 - おまかせダビング (O) 74
 - ダビングリストを作成してダビングする (O) 76
 - SDカードのMPEG2動画をダビングする (O) 78
 - 詳細ダビングの便利な機能 79
 - 録画時間を指定してダビングする (O) 80
- i.LINK(TS)対応機器との間でダビングする 82
- 他のビデオやビデオカメラからダビングする 84

- SDカードなどの写真をダビングする (O) 90

- アルバム名や曲名などを編集する 98
- バックアップする 100

写真

音楽

便利機能

必要などき

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(→○○)、別冊の取扱説明書 準備編で参照していただくページを(→準備編 ○○)で示しています。
- 内蔵ハードディスクの操作部分を「HDD」、ディスクの操作部分を「DVD」、カードの操作部分を「SD」、カセットの操作部分を「VHS」として、主に説明しています。

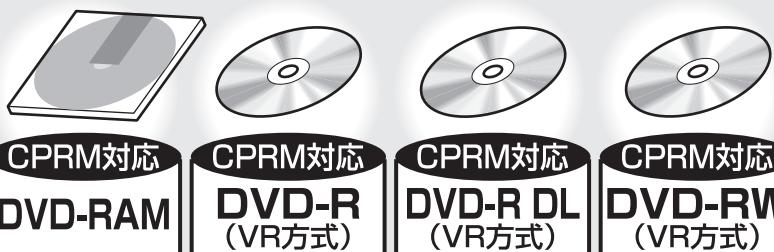
使えるディスク・カードについて

使用するディスクによって、さまざまな特徴があります。目的に合わせてディスクをご使用ください。

デジタル放送を記録できるディスクは?



内蔵HDD以外はハイビジョン画質のまま記録することはできません。



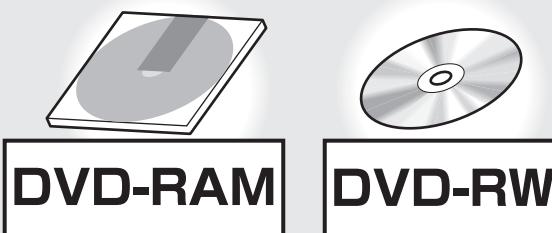
に記録できます。

直接録画はできません。HDDからのダビング時のみ使用できます。

記録するには…

ディスクに記録する前に、フォーマットが必要です。(→105)

何度でも繰り返し記録できるディスクは?

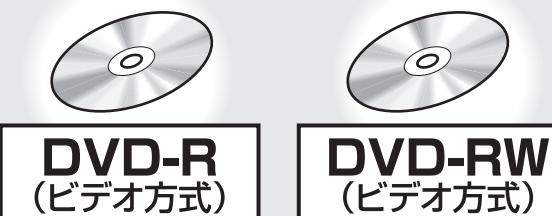


が繰り返し記録できます。

ディスクの残量が少なくなった場合は…

不要な番組を消去してください。(→102)

記録した番組の入ったディスクを他の機器で再生したい場合は?



に記録することをおすすめします。

これらのディスクに記録したあと

ファイナライズを行うと…

市販のDVDビデオと同じようなディスクができることがあります。



DVDプレーヤーなどの対応機器で再生することができるようになります。

- ファイナライズを行っていない場合や、その他のディスクの場合は、その機器がそれぞれのディスク(記録方式)の再生に対応している必要があります。
- 本機で記録した「1回だけ録画可能」の番組を他の機器で再生する場合、その機器がCPRMに対応している必要があります。またそれぞれのディスクの再生に対応している必要があります。

ファイナライズとは

記録したディスクを他のDVD機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。
記録や編集はできなくなります。(操作方法は→106)

フォーマットとは

記録前や他機器で使用したディスクを本機で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。(操作方法は→105)

デジタル放送を記録したい場合はこちら

他のDVD機器でも再生したい場合はこちら

VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) テレビ放送などを記録・編集するために作られた記録方式です		ビデオ方式 (DVDビデオ規格) 市販されているDVDビデオと同じ記録方式です
●デジタル放送などの「1回だけ録画可能」の番組を記録できます。(CPRM対応ディスクのみ) ●番組の不要な部分を消すなどの編集ができます。	特長	●本機で記録したディスクをファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できるようになります。
●他のDVD機器で再生するには、そのディスクのVR方式の再生に対応している必要があります。	制限事項	●デジタル放送などの「1回だけ録画可能」の番組を記録することはできません。 ●番組の不要な部分を消すなどの編集はできません。
DVD-RAM DVD-R DVD-R DL DVD-RW に、この方式で記録できます。	対応ディスク	DVD-R DVD-R DL DVD-RW に、この方式で記録できます。

**DVD-R** **DVD-R DL** **DVD-RW**

両方の記録方式で記録できるディスクは、どうすれば記録方式を分けることができるの?

本機ではフォーマットするとVR方式で、フォーマットしないで記録するとビデオ方式で記録します。

いったん記録またはフォーマットすると、あとから記録方式を変更することはできません。

DVD-R**DVD-R DL**

の場合

VR方式
で記録します

フォーマットすると

フォーマットしないで
記録するとビデオ方式
で記録します

フォーマット方法については(→105)

DVD-RW

の場合

VR方式
で記録しますフォーマットで
VR方式を選ぶとフォーマットで
ビデオ方式を選ぶとビデオ方式
で記録します

フォーマット方法については(→105)

使えるディスク・カードについて(つづき)

記録・再生ができるディスク

ディスクの種類	ロゴ	記録方式	本書での表示	特徴		
				フォーマット (初期化)が必要か?	記録できるもの	繰り返し記録
ハードディスク 内蔵HDD	—	—	HDD	—	ビデオ(通常の録画番組) 写真 音楽	○
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	VR方式	RAM	必要※1	ビデオ(通常の録画番組) 写真	○
DVD-R	DVD R 4.7	VR方式	-R(VR)	必要	ビデオ(通常の録画番組)	×
		ビデオ方式	-R(V) DVD-V ファイナライズ前 ファイナライズ後	不要	ビデオ(通常の録画番組)	×
DVD-R DL (片面2層)	DVD R DL	VR方式	-R DL(VR)	必要	ビデオ(通常の録画番組)	×
		ビデオ方式	-R DL(V) DVD-V ファイナライズ前 ファイナライズ後	不要	ビデオ(通常の録画番組)	×
DVD-RW	DVD R W	VR方式	-RW(VR)	必要	ビデオ(通常の録画番組)	○
		ビデオ方式	-RW(V) DVD-V ファイナライズ前 ファイナライズ後	必要	ビデオ(通常の録画番組)	○

●ディスクの対応バージョンや速度については、138ページ「仕様」をご覧ください。

●ディスクに記録できる時間は、35ページ「録画の画質と時間について(録画モード)」をご覧ください。



繰り返し記録ができないディスクでは、番組を消去してもディスク残量は増えません。詳しくは、102ページ「消去後のディスク・SDカードの残量について」をご覧ください。

●ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

※1 市販のディスクには録画用にフォーマット済みのものがあります。その場合はフォーマットの必要はありません。

※2 **RAM**:当社製DVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。(2006年8月現在)

-R(VR):2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーでは再生できます。(2006年8月現在)

※3 本機では、ディスクに直接録画できません。

一度HDDに録画してからダビングして記録してください。

記録できる方法は?	本機でできること			互換性※2
	「1回だけ録画可能」のデジタル放送を記録	デジタル放送の画質や音声をそのまま記録	二重放送の主/副音声を両方記録	
録画ダビング	録画モード DR ○	○	○	—
	録画モード XP~EP、FR ○	×	○	—
ダビングのみ※3	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	DVD-RAM対応機器でのみ可能 (ファイナライズは不要です)
ダビングのみ※3	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	DVD-R(VR方式)対応機器でのみ可能 (ファイナライズが必要な場合があります)
ダビングのみ※3	×	×	×	ファイナライズが必要
ダビングのみ※3	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	DVD-R DL(VR方式)対応機器でのみ可能 (ファイナライズが必要な場合があります)
ダビングのみ※3	×	×	×	ファイナライズ後にDVD-R DL(ビデオ方式) 対応機器でのみ可能
ダビングのみ※3	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	DVD-RW(VR方式)対応機器でのみ可能 (ファイナライズが必要な場合があります)
ダビングのみ※3	×	×	×	ファイナライズが必要

詳しくは、35ページ
「録画の画質と時間について(録画モード)」
をご覧ください。

詳しくは、37ページ「音声多重放送の録画について」をご覧ください。

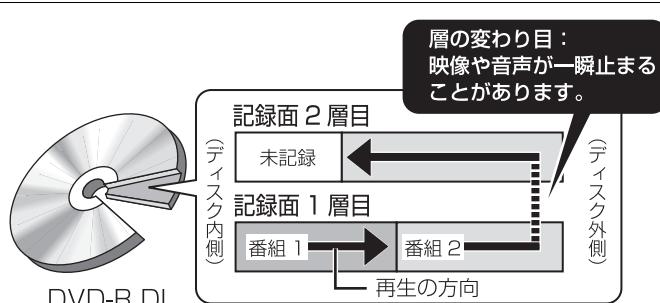


8 cmディスクについて

本機では、DVD-RAM、DVD-R、DVD-RWの8 cmディスクに記録や編集はできません。再生やHDDまたはカセットへのダビングのみ可能です。

DVD-R DL(片面2層)ディスクを再生するとき

DVD-R DL(片面2層)ディスクは、右図のように記録面が片面に2層あります。1層目に収まりきらなかった番組は、引き続き2層目に記録され、2つの層にまたがって記録されます。(→右図「番組2」)このような番組を再生する場合、層の切り換えは本機が自動的に行いますので、通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。



使えるディスク・カードについて(つづき)

再生のみできるディスク

ディスクの種類

本書での表示

ロゴ

特徴

DVDビデオ

DVD-V



映画や音楽など、高画質の市販ソフト

•本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。

「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの
例)

•番号は国により違います。

CD CD



•音楽や音声が記録された市販ソフト(CD-DA形式で記録したCD-RやCD-RWを含む*)

•写真(JPEG)が記録されたCD-RやCD-RW*

+R DVD-V

—

他のDVDレコーダーで録画された+R*

•録画した機器でファイナライズ(→133)を行ったディスクのみ再生できます。

+R DL(片面2層) DVD-V

—

他のDVDレコーダーで録画された+R DL(片面2層)*

•録画した機器でファイナライズ(→133)を行ったディスクのみ再生できます。

+RW DVD-V

—

他のDVDレコーダーで録画された+RW*

•録画した機器でファイナライズ(→133)を行ったディスクのみ再生できます。

※記録状態によって再生できない場合があります。

- ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
- CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

本機で使えないディスク

- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM(12 cm)
- 3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(→133)されていないDVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、DVD-RW(ビデオ方式)
- PAL方式で記録されたディスク
- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- DVDオーディオ
- ビデオCD
- ブルーレイディスク
- HD DVD
- DVD-ROM
- +R(8 cm)
- CD-ROM
- CDV
- CD-R
- SACD
- CD-RW
- Photo-CD
- CVD
- SVCD
- MP3
- MV-Disc
- PD など

本機ではDVDオーディオや
ビデオCDの再生はできません。
CD-RやCD-RWに入ったMP3の
再生もできません。



本機で使えるカード

カードの種類

本書での表示

SDメモリーカード SDHCメモリーカード miniSDカード*

SD

特徴

- デジタルカメラなどで撮影した写真の再生(→86)やダビング(→90)ができます。
- 当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)、DVD-RW(VR方式)にダビングできます。(→78)
 - MPEG2動画をSDカードから直接再生することはできません。
- HDDにある音楽データを転送して、SDオーディオプレーヤーなどで再生できます。(→95)

* miniSDカードは、必ず専用のminiSDアダプターを装着してご使用ください。

■カードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。

カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

使用可能なSDカードについて

本機では以下のSDカードが使用できます。

- SDメモリーカード(8 MB~2 GB)
- SDHCメモリーカード(4 GB)
- miniSDカード(miniSDカードをお使いになるには、miniSDカードアダプターが必要です)

本書では上記カードのことを「SDカード」と記載しています。

- 4 GB以上のメモリーカードは、SDHCメモリーカードのみ使用できます。
- SDHCロゴのない4 GB(以上)のメモリーカードは、SD規格に準拠していません。
- 使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dvd/>

SDカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。

また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。

このようなときは本機でフォーマットしてください。(→105)

- 本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。
- 本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。

本機で再生できる音楽や写真(JPEG)について

音楽

再生可能ディスク・カード	HDD
	CD CD-DA形式
	SD SDオーディオ規格(AACのみ)

写真

JPEG

*1

再生可能ディスク・カード	HDD RAM CD SD
ファイル形式	JPEG • ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
画素数	34 × 34 ~ 6144 × 4096 (サブサンプリングは、4:2:2または4:2:0)
フォルダ数*2	CD ディスク上にルートを含む最大99フォルダ HDD RAM SD 上位フォルダを含む最大300フォルダ
ファイル数*2	CD ディスク上の最大999ファイル HDD RAM SD 最大3000ファイル
Motion JPEG	対応していません

*1 表示する動作に時間がかかることがあります。

*2 最大フォルダ数や最大ファイル数を超えると、一部のフォルダやファイルが表示されなくなる場合があります。

CD

- ISO9660 level 1とlevel 2(拡張フォーマットは除く)、Jolietのフォーマットが使用できます。
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。
- ファイル数(トラック数)やフォルダ数(グループ数)が多い場合、動作に時間がかかりたり、対応できないことがあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。
- 本機画面とパソコン画面では表示が異なることがあります。
- ディスクの作りかた(書き込みソフト)によっては、再生順が変わることがあります。
- パケットライト方式には対応していません。
- 記録状態によっては再生できないものがあります。

HDD RAM SD

- DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。
- DCF:Design rule for Camera File system [電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

RAM CD SD

写真(JPEG)のフォルダ構成については(→134)

ハードディスク HDDの取り扱い

HDDは記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。取り扱いにお気をつけください。

HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。



HDDは一時的な保管場所です

HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やDVDディスクあるいはカセットにダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。*



*ハイビジョン画質で録画したデジタル放送の番組を、そのままの画質や音質でダビングすることはできません。

HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング（バックアップ）を…



HDD内に不具合個所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにDVDディスクあるいはカセットにダビングし、修理をご依頼ください。

- HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

本機からHDDの動作音が聞こえます。故障かな？

故障ではありません。

本機では、HDDの品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

- HDDが休止状態になるとき
- 電源切/入時
- 番組表(Gガイド)データを受信中
- 毎の12時ごろに時刻の誤差を自動修正中
- 予約録画終了時または午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を自動的に再起動しているとき
- 音楽データをAACに音楽圧縮しているとき



HDDは自動的に休止状態になります。

通電中、HDDは高速で回転しています。省電力のため、ディスクやカセットが入っていない状態で約30分以上操作しないとHDDの回転を止め、休止します。HDDを休止状態にするために、お使いにならないときは、ディスクやカセットを取り出しておくことをおすすめします。



- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。
[初期設定「クイックスタート」(→113)が「入」になっていても同様です]

重要なお願い

設置するとき

- 背面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない
- 水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する
- ビデオなどの熱源となるものの上に置かない
- 温度変化が起こりやすい場所に設置しない
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する
(つゆつきについて→16)



たばこの煙など

たばこの煙、くん煙殺虫剤(煙をたくタイプの殺虫剤)などが機器内部に入ると故障の原因になります。

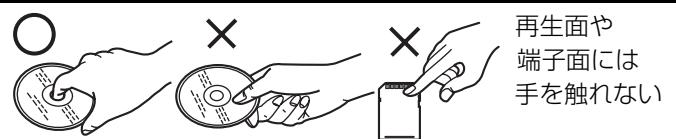
移動するとき

- ①電源を切る(本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ)
- ②電源プラグをコンセントから抜く
- ③HDDの回転が完全に止まってから(2分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)

ディスク・カードの取り扱い

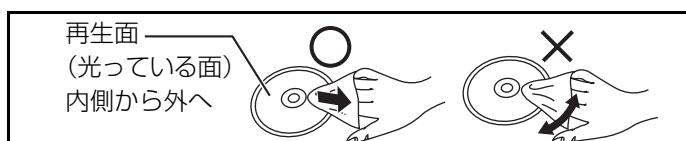
使用上のお願い

■持ちかた



■汚れたときや、つゆが付いたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



■カートリッジ付きDVD-RAMの取り扱いについて

ディスクを損傷から保護し、性能を維持するため、シャッターを無理に開けないでください。

取り扱い上のお願い

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- ディスクを落としたり、重ねたり、物を載せたり、衝撃を与えない。
- 以下のディスクを使わない。
 - ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - ・そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ・ハート型など、特殊な形のディスク



- 次のような場所に置かない。
 - ・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
 - ・湿気やほこりの多いところ
 - ・温度差の激しいところ(結露が発生します)
 - ・静電気や電磁波の発生するところ
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める。

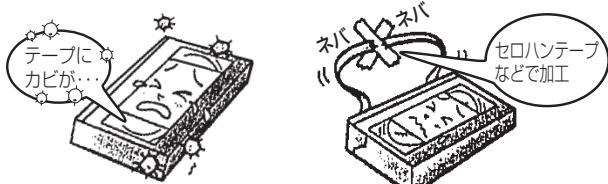
カセットについて

使用上のお願い

■品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに記録・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
- 品質の悪いカセット(テープ)の例
 - ・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
 - ・テープが波打ったりクシャクシャになっている
 - ・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
 - ・テープがたるんでいる



本機では、カセットに直接録画できません。
一度 HDD に録画してからダビングして記録してください。



取り扱い上のお願い

落としたり、激しい振動を与えることなくしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

- ・ほこりの多いところ
- ・高温になるところ(推奨温度: 15 °C ~ 25 °C)
- ・温度差が激しいところ
- ・湿度の高いところ(推奨湿度: 40 % ~ 60 %)
- ・湯気や油煙の出るところ
- ・冷暖房機器に近いところ
- ・自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近づけない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な記録内容が消えてしまったりすることがあります。

使用上のお願い

本機は、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

使用するとき

ディスクトレイにディスク以外のものを置かない

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

●本体が変形したり、塗装がはげる恐れがあります。

前面パネルについて

●本体の前面パネルは、ハーフミラーを採用しています。

このため、設置場所の明るさや光の反射の具合によっては本体表示窓の文字(録画経過時間など)が見にくことがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近づけない

●映像・音声に悪影響を与えたり、記録内容が消えたりする恐れがあります。

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかつた場合の内容の補償、録画・編集された内容(データ)の損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

(下記のような操作を行うと不具合が生じる可能性があります)

●本機で記録・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる

●上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる

●他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気をつける

●本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。

DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

本機を廃棄/譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が記録されています。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、**放送設定「個人情報リセット」**を実行し、記録された情報を消去してください。(→112)

●本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

ディスクとカセットを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

●引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

お手入れについて

本体が汚れているとき

●電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

汚れがひどいとき

●中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。

その後、乾いた布で仕上げてください。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●本体が変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

録画/再生用レンズが汚れたとき

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。

使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー(別売)(→準備編 51)でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

「つゆつき」について

「つゆつき」とは

●冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。

このような現象を「つゆつき」といいます。



●本機やカセットに「つゆつき」が起こると、テープがシリンドラーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンドーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

●暖かい状態のHDDが冷たい空気に触れると、HDD内部に「つゆつき」が発生し、ヘッドなどを傷つける可能性があります。

●「つゆつき」が起こりやすいとき

・梅雨の時期

・本機やカセットを暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき、またはその逆

・寒い部屋を急に暖房で暖めるなど、急激な冷暖房をしたとき

・本機やカセットに冷房の風が直接あたっていたとき

・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき

●「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度にじむまで(約2~3時間程度)、電源を切ったまま放置してください。

受信できるテレビ放送について

B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。

放送の種類 本書での表示	特徴	本機で利用できる サービス (用語については →133)
地上デジタル (地上デジタル)	UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。 高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(2006年8月現在) 本機では、ワンセグ放送(携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送)は受信できません。	テレビ番組ガイド (EPG) 字幕放送 双向方向サービス
BSデジタル (BS デジタル)	放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 ●BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。 ●WOWOWなどの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。 ●本機では、BSアナログ放送はご覧いただけませんが、より多くのチャンネルをご覧いただけるBSデジタル放送をお楽しみいただけます。	テレビ番組ガイド (EPG) 字幕放送 双向方向サービス
110度CS デジタル (CS デジタル)	通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。 ●110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！110」への加入申し込みと契約が必要です。 「スカパー！110」には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあります。	テレビ番組ガイド (EPG) 字幕放送 双向方向サービス
地上アナログ (地上アナログ)	従来からのVHF/UHF放送のことです。(2006年8月現在) 地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。 地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。 本機では、地上アナログ放送の電波のすきまで送られてくる文字放送(字幕)は、ご覧いただけません。	テレビ番組ガイド (EPG) ●BSデジタル放送受信の環境が必要です。(→準備編 32)

BSアナログ放送のWOWOWはBSデジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー！」は「スカパー！110」として110度CSデジタル放送で、お楽しみいただけます。すでにお契約されていた場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。(放送内容は異なりますので、再契約をされる場合は内容をご確認ください)

デジタル放送には、3種類の放送があります。

■テレビ放送 	■ラジオ放送  静止画像など 音楽など音声を主とした放送です。	■データ放送  テレビ放送が表示されることもあります お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送です。(天気予報やニュースなど)
------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ラジオ放送は、BSデジタルの一部でのみ、実施されています。(2006年8月現在)

大事なお知らせ

各部のはたらき

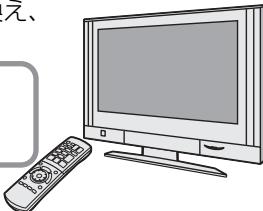
リモコン(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

本機のリモコンでテレビの操作をする

テレビの電源の入/切やチャンネルの切り換え、音量の調節、入力切換ができます。



操作できない場合は、準備編36ページでリモコンの設定を変更してください。



ふたを開けると

操作ガイドを表示する(→22)

テレビ画面で本機の基本的な操作のほか、困ったときの解決法を見ることができます。



使いかたに迷ったときに見ると便利ね！



番組表(Gガイド)を表示する(→30,44)

番組表から見たい番組や録画予約したい番組を選ぶことができます。



番組表から選ぶだけなのでカンタンね！



再生ナビ/ディスクメニューを表示する(→51,55,86,96) HDD DVD SD



再生ナビ画面から、見たい番組などを探すことができます。

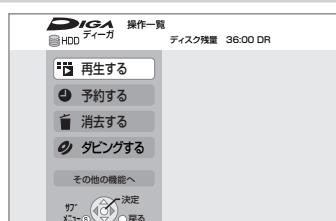


操作一覧を表示する(→23)

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。



「他の機能へ」を選択すると、他の操作一覧を表示します。

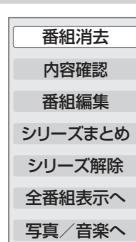


サブメニューを表示する

現在表示している画面での便利機能を表示します。



例えば
再生ナビ画面
表示中だと



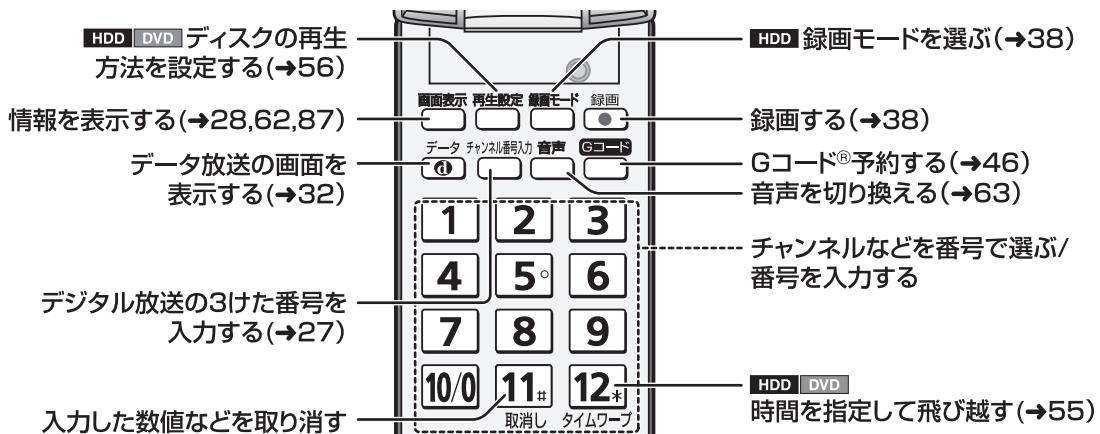
が表示されて
編集などを行なう
ことができます。

市販のDVDビデオで使用するボタンについて

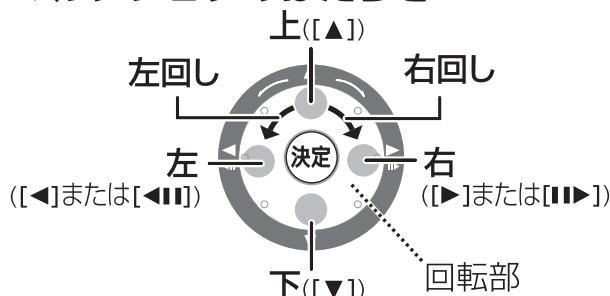
「リターン」は[戻る]、
「トップメニュー」は[再生ナビ]、
「メニュー」は[サブメニュー]
ボタンで操作します。
(詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください)

○○ お知らせ ○○

・本書では、ボタン名を[再生▶]などで示し、「ボタン」を省略しています。



マルチジョグのはたらき



•コマ送り/コマ戻し：

(一時停止中) 左右([◀][▶])を押す
[VHS] はコマ送り([▶])のみ

•早送り/早戻し：

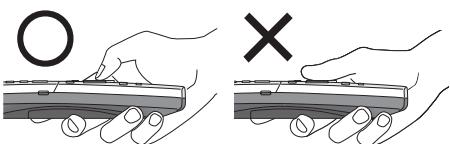
(再生中) 右(送り)または左(戻し)に回す※1

•スロー再生：

(一時停止中) 右(送り)または左(戻し)に回す※2

※1 1クリック回すごとに速度が速くなります。
反対方向に回すと、再生に戻ります。

※2 1クリック回すごとに速度が速くなります。
反対方向に回すと、一時停止に戻ります。



お願い

誤操作を避けるために、以下のことをお気をつけください。

- マルチジョグを回すときは、あまり強く押さないでください。
- 決定** を押すときは、周囲の回転部をいっしょに押さないように、指を立てて軽く押してください。(→右図)

画面上での選択と決定について

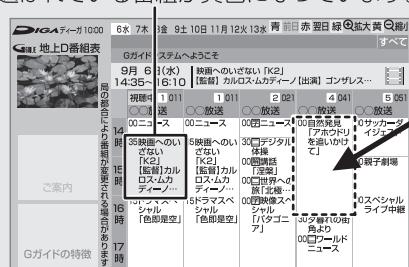
選択方法は



上下左右([▲][▼][◀][▶])を押して、選ぶ
(左右に回して選ぶこともできます)

【例えば】

今選ばれている番組が黄色になっています。



上下左右([▲][▼][◀][▶])を押して、選びたい番組が黄色になるようにします。

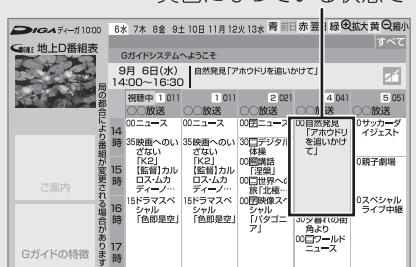
決定方法は



決定 を押す

選ばれた項目が実行されます。

黄色になっている状態で…



決定 を押します。

本書内で右記の記載があるときは、上記の操作を行ってください。



または

基本操作

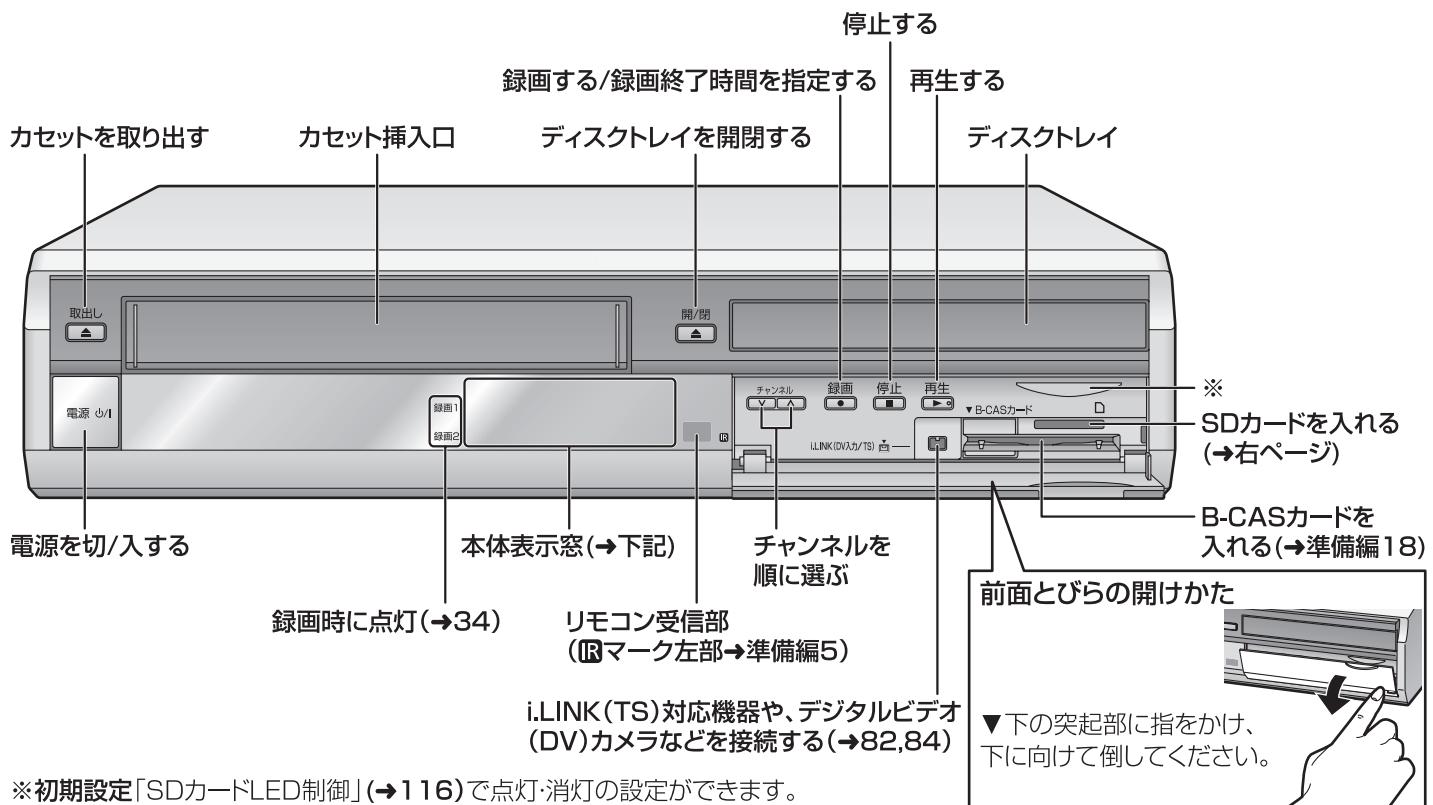


または

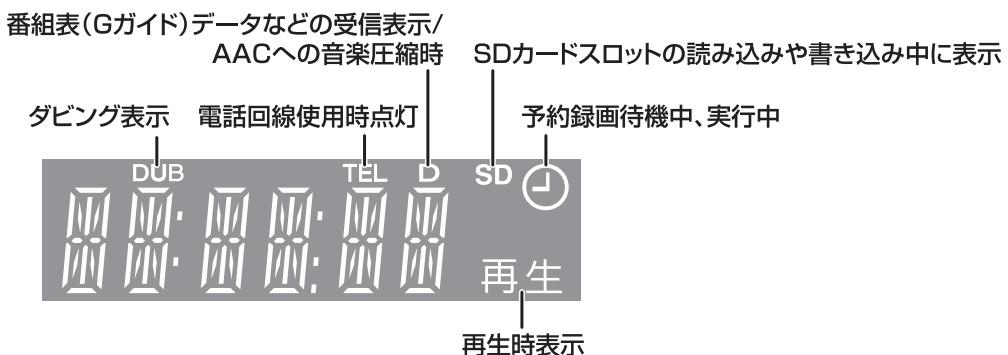
[▲][▼][◀][▶]で
「○○○○」を選び、
決定 を押す

各部のはたらき(つづき)

本体(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)



本体表示窓



ディスク・カセット・SDカードを入れる

自動ドライブ選択機能

- **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)** **SD**

停止中、ディスクを入れる、またはSDカードをスロットに入れると、「DVDディスクの操作」または「SDカードの操作」画面が表示されます。そのとき項目を選び【決定】を押すと、DVDまたはSDドライブに切り換わります。(詳しくは→121)
ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉める、またはSDカードを取り出すると、自動的にHDDドライブが選ばれます。

- **DVD-V** **CD**

停止中、ディスクを入れると、自動的にDVDドライブに切り換わります。

ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めると、自動的にHDDドライブが選ばれます。

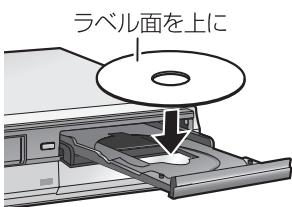
- **VHS** 停止中またはHDD録画中、カセットを入れると、自動的にVHSドライブに切り換わります。
カセットを取り出すと、自動的にHDDドライブが選ばれます。

ディスクを入れる

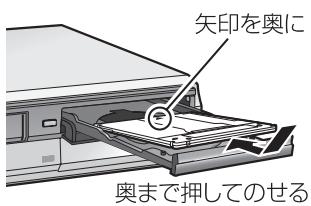
本体の を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度【開/閉▲】を押すと、トレイが閉まります。
- 電源が切れていても取り出せます。ただし、ディスクを取り出した場合は電源「入」になります。

カートリッジなし



カートリッジあり



○○○お知らせ○○○

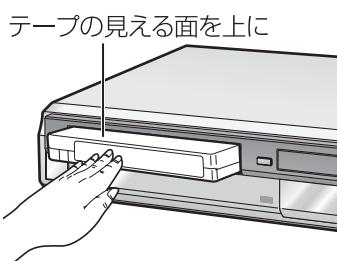
• 8cmのDVD-RAMやDVD-Rの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクをトレイにのせてください。

• 両面ディスクの場合、記録または再生したい側のラベル面を上にして入れてください。両面にまたがって記録または再生することはできません。もう一方の面を使用するときは、いったんディスクを取り出し、裏返してください。

カセットを入れる

テープが見える面を上にして、ゆっくり入れる

- 自動的に電源が入ります。



☞ カセットを取り出すには

【本体】 取出しを押す

【リモコン】 電源「入」状態で「VHS」選択中、
 を約3秒以上押す

• HDDまたはDVDとVHSのダビング中などは働きません。

確認

各部のはたらき(つづき) / ディスク・カセット・SDカードを入れる

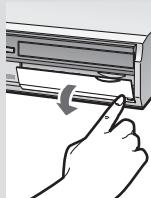
SDカードを入れる

本体表示窓の“SD”(→左ページ)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

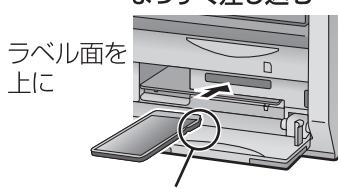
• miniSDカードは、必ず専用のminiSDアダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。



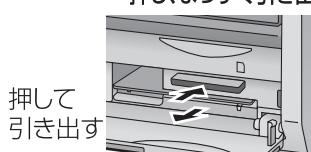
① 本体前面のとびらを開ける



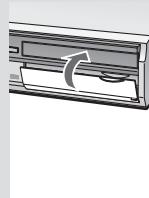
② 入れかた カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む



出しかた カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す



③ 本体前面のとびらを閉じる

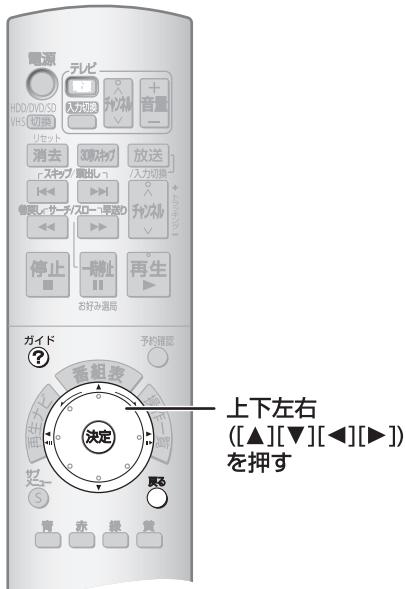


• カードを出し入れしたあとは、必ず本体前面のとびらを閉じてください。



操作ガイドについて

本機のHDDでの基本的な操作のほか、困ったときの解決法をテレビ画面でご覧になれます。録画や再生中に見ることはできません。



1 停止中に、ガイドを押す

2 知りたい項目を選び、決定を押す

•この操作を繰り返して、知りたい情報を選んでください。



操作ガイドをお使いになる
前にお読みください。



音声ガイドを止める場合

☞ 前の画面に戻るには

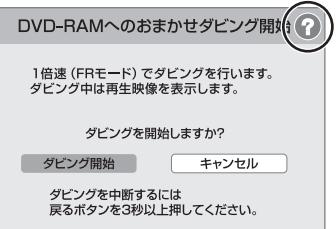
戻る
を押す

☞ 画面を消すには

ガイド
? を押す

☞ 下記のような ? マークが付いた画面が表示されたとき

例)



ガイド
? を押すと、操作に対する補足説明を表示します。

操作一覧画面について

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。



前の画面に戻るには



画面を消すには



上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

1 停止中に、 を押す

●操作一覧画面が表示されます。

●選択中のドライブやディスクの種類によって、選択できる項目は異なります。

例) **HDD**



 が表示されたときは
(→109「放送メール」へ)

-  再生する → 52「再生ナビから再生する」)*1
-  予約する → 44「番組表(Gガイド)を使って予約録画する」)
-  消去する → 102「消去ナビを使って消去する」)
-  ダビングする → 74「おまかせダビング」)
- その他の機能へ → 下記の画面が表示されます

-  番組表の検索 → 50「検索機能を使う」)
-  予約確認 → 49「予約内容を確認する」)
-  詳細ダビング → 76,78,80,90「詳細ダビング」)
-  ぴったり録画 → 41「ディスク容量にぴったり合うように録画する」)*2
-  DVおまかせ取込 → 84「DVおまかせ取込機能を使ってダビングする」)*2
-  i.LINK(TS)ダビング → 82「i.LINK(TS)ダビングをする」)*2
-  放送設定 → 110「放送設定を変える(放送設定)」)
-  初期設定 → 113「本機の設定を変える(初期設定)」)
-  メール/情報 → 109「いろいろな情報を見る(メール/情報)」)
-  HDD管理 → 104「フォーマット/ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去」)*3

*1 DVD-V のときは「トップメニュー」や「メニュー」が表示されます。

CD のときは「メニュー」が表示されます。

VHS のときはカセットを再生します。(一覧は表示されません)(→58)

*2 RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) のときは「プレイリスト」が表示されます。(→53)

SD のときは「写真(JPEG)一括取込」が表示されます。(→90)

*3 ディスクのときは「DVD管理」、SDのときは「カード管理」が表示されます。(→104)

2 操作したい項目を選び、 を押す

① 選び

② 決定する

確認

操作ガイドについて / 操作一覧画面について

ビエラリンクを使う

VIERA Linkとは

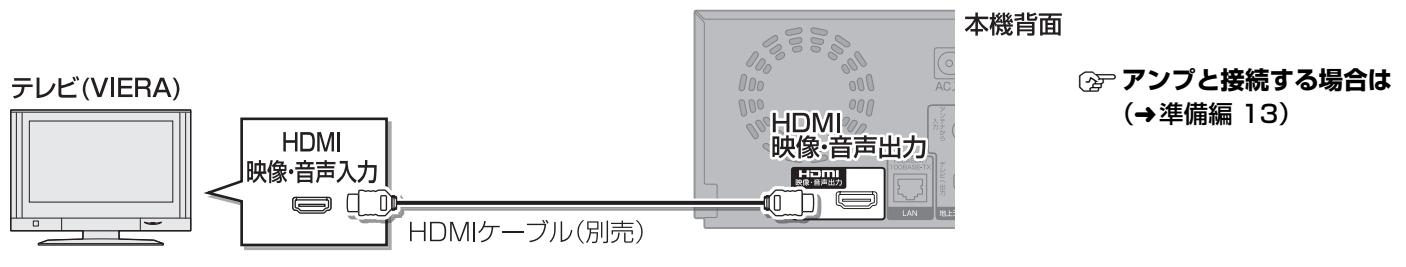
VIERA Link(HDAVI Control™)機能に対応した当社製テレビ(VIERA)、レコーダー(DIGA)、アンプをHDMIケーブルで接続することにより、テレビやアンプとの連動操作が可能になる便利な機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

接続

本機とVIERA Linkに対応した当社製テレビ(VIERA)をHDMIケーブルで接続する(→準備編 10)

- 当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

品番: RP-CDHG10(1.0 m)、RP-CDHG15(1.5 m)、RP-CDHG20(2.0 m)、RP-CDHG30(3.0 m)など



設定

- 初期設定「VIERA Link制御」(→116)を「入」にする(お買い上げ時の設定は「入」です)
 - 接続した機器側(テレビなど)で、VIERA Linkが働くように設定する
 - すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)
- 初期設定「クイックスタート」(→113)を「入」にすると、本機の電源「入」に伴う連動操作をすばやく行うことができます。

VIERA Link Q & A

Q(質問)

A(回答)

お使いのテレビやアンプがVIERA Link対応かわからないときは?

接続した当社製機器にVIERA Linkのロゴマーク(→下記)が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

VIERA Linkが働かなくなったときは?

- 本機の初期設定「VIERA Link制御」が「入」になっているか確認してください。(→116)
- 接続した機器側のVIERA Linkの設定を確認してください。
- HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにVIERA Linkが動作しなくなる場合があります。
このときは、以下の操作をしてください。
 - HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ(VIERA)の電源を入れ直す
 - テレビ(VIERA)の「VIERA Link制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する(詳しくはVIERAの取扱説明書をご覧ください)
 - VIERAの入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、VIERA Linkが動作するか確認する

VIERA側から録画(「見ている番組を録画」など)や録画予約をしたとき

録画の設定はどうなりますか?

- VIERA側からの録画(「見ている番組を録画」など)の場合
 - 本機であらかじめ設定された録画モードでHDDに録画します。
- VIERA側からの録画予約の場合
 - デジタル放送を録画するときは、HDDに録画モード「DR」で録画します。
 - アナログ放送を録画するときは、HDDに録画モード「SP」で録画します。

録画予約が登録できたか確認するには?

- 本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。
- 予約内容を確認するには、本機の予約一覧画面で確認してください。

録画ができないときは?

- 本機に契約されたB-CASカードが挿入されているか確認してください。

自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える	下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。						
	本機電源入時						
・テレビの電源が待機状態のときのみ	本機電源切時						
自動的に本機の電源を切る	リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。 (ダビング中、ファイナライズ中、消去中、音楽の録音中や転送中、[録画●]を押して録画中などの操作中は切れません) ・VIERA Linkに対応したアンプとHDMIケーブルで接続している場合は、アンプの電源も切れます。						
テレビのリモコンで本機を操作する	テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。						
<p>1 テレビのリモコンを使って、ディーガの「操作一覧」を表示させる</p> <p>例) テレビによって画面は異なります。</p> <p>「ディーガを操作する」を選び、—— 決定する</p>							
再生中の番組などを操作する	<p>●本機の電源が「切」のときは、自動的に電源が入ります。</p> <p>☞ 操作一覧画面について(→23)</p> <p>例) 番組再生時</p> <p>この再生操作パネルはサブメニューから表示できます。</p>						
	<p>2 テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定]を押す</p> <p>☞ テレビのリモコンで操作できるボタンは [▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブメニュー]と色ボタンで本機の操作ができます。 数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用して操作してください。</p>						

その他の機能については、接続した機器(テレビなど)の取扱説明書をご覧ください。

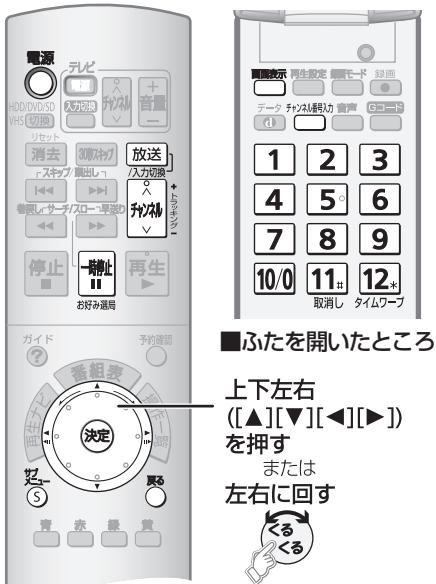
☞ **VIERA Linkを使わない場合は**

初期設定「VIERA Link制御」(→116)を「切」にする

テレビ放送を見る

準備

- ・テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)



○○ お知らせ ○○

BS デジタル CS デジタル

- ・雨や雷、雪などの天候のときは、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。

☞ 前の画面に戻るには

戻る
を押す

☞ 暗証番号の入力画面が表示されたら
(→112)

☞ 番組購入の画面が表示されたら
(→32)

1 電源 を押して、本機の電源を入れる

2 放送 を押して、放送を選ぶ

- ・押すごとに、放送が切り換わります。([▲][▼]では選べません)

放送／入力切換

地上D	地上デジタル放送
BS	BSデジタル放送
CS1	CSデジタル放送
CS2	
地上A	地上アナログ放送
L1	外部入力(→84)
DV	DV入力(→84)
i.LINK(TS)	i.LINK(TS)入力(→82)

- ・表示が消えると、選ばれた放送に切り換わります。
- ・「かんたん設置設定」の「地上デジタル放送チャンネルの設定」(→準備編 23)を「いいえ」にした場合、「地上D」は選べません。

☞ 録画中に放送/入力やチャンネルを切り換えるには(→39)

☞ 受信しない放送をとばして切り換えるには

放送設定「スキップ設定」で「スキップする」を選択(→110)

- ・地上デジタル放送は設定できません。

3 チャンネルを選ぶ

- ・右ページの中から、選局方法を選んで行ってください。

地上デジタル放送について

•3けたチャンネル番号

デジタル技術により、1つの物理チャンネルの中に、複数のチャンネルをのせることができます。例えば、○○放送は、物理チャンネルの25chを使って、「101」「102」「103」の3つの放送を提供します。この「101」「102」「103」を3けたチャンネル番号と呼びます。この内、下位1けたが「1」の放送が、その放送局の代表チャンネルと呼ばれます。(この場合「101」)

代表チャンネル以外の選局は、[チャンネル△, □] や3けた番号入力により、選局できます。(→右ページ)

•リモコンのチャンネルボタン

テレビ放送の場合、3けたチャンネル番号の上位2けた(上記の場合は「10」)は、リモコンの同じ番号のボタンに割り当てられます。(本機は基本的に自動でこの割り当てを行います)

すなわち、この場合であれば[10/0]を押すと、3けたチャンネル番号の「101」(その放送局の代表チャンネル)が選局されるように設定されます。この割り当てはお住まいの地域により異なります。(→準備編 56)

本体表示窓でのチャンネル表示について

本体表示窓では、現在選んでいるチャンネルが下記のように表示されます。

地上デジタル放送
例)011

011

地上アナログ放送
例)1

1

BSデジタル放送
例)101

101

外部入力

11

CS1
例)001

001

DV入力

111

CS2
例)100

100

i.LINK(TS)入力

111

テレビ放送の選局方法

数字ボタンで選局する

(地上アナログ) (地上デジタル)
 (BS デジタル) (CS デジタル)

1 ~ 12* を押して、チャンネルを選ぶ

☞ リモコンのボタンに割り当てられた放送局(→29)

☞ それぞれのボタンで選べる放送局を変更するには(→準備編 46, 準備編 48, 準備編 50)

番組表から選局する

(地上アナログ) (地上デジタル)
 (BS デジタル) (CS デジタル)

[→30「番組表(Gガイド)から見る」]

お好み選局表から選局する

(地上デジタル) (BS デジタル)
 (CS デジタル)

テレビ画面に表示される放送局のリストから選局できます。

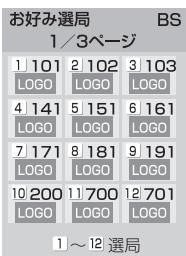
•録画中は、お好み選局はできません。

1 停止中に、 を押す

お好み選局

2 [▲][▼][◀][▶]で放送局を選び、 を押す

•[お好み選局/一時停止]を押すごとに、ページが切り換わります。



☞ お好み選局表で選べる放送局を変更するには

① 登録したい放送局を受信中に

[お好み選局/一時停止]を3秒以上押して、「お好み設定」画面を表示させる

② [▲][▼][◀][▶]で設定したい位置を選び、[決定]を押す

•受信中のチャンネルが、「お好み選局」の設定した位置に登録されます。

•すでに登録されている位置に放送局を登録すると、以前の放送局は消去されます。

•登録したチャンネルを削除するには、削除したい放送局を選び、[お好み選局/一時停止]を1秒以上押してください。

順送りで選局する

(地上アナログ) (地上デジタル)
 (BS デジタル) (CS デジタル)

を押す

☞ 順送りで選べる放送局を変更するには

(地上アナログ) (→準備編 46)

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル) (→112 放送設定「選局対象」)

3けたチャンネル番号を入力して選局する

(地上デジタル) (BS デジタル)
 (CS デジタル)

1 チャンネル番号入力 (ふた内部) を押す

•押すごとに選局対象の放送が切り換わります。CS1とCS2は「CS」で選んでください。

2 1 ~ 10/0 を押して、チャンネルを入力する

例) 103の場合…[1] → [10/0] → [3]

•入力画面が表示されている間に入力してください。

☞ リモコンのボタンに割り当てられた放送局(→29)

枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に3けたチャンネル番号に追加される番号のことです。(例:「011-0」、「011-1」、「011-2」) 3けたチャンネル番号を入力して選局する(→上記)と下記の画面でチェックマークの入った放送局が選局されます。以下の手順で、違う枝番号の放送局を選局することができます。

枝番号の異なる放送を選局するには

(地上デジタル)

1 地上デジタル放送受信中に、 を押す

2 [▲][▼]で「デジタル放送メニュー」を選び、 を押す

3 [▲][▼]で「枝番選局」を選び、 を押す

4 [▲][▼]で放送局を選び、 を押す

☞ 3けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには

上記手順4で、[決定]を押す前に[チャンネル番号入力](ふた内部)を押す

•選んだ放送局にチェックマークが付き、選局時にその放送局が選ばれます。



テレビ放送を見る(つづき)

番組視聴中の便利な機能

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

1 サブメニューを押す

2 [▲][▼]で「画面モード切換」を選び、決定を押す

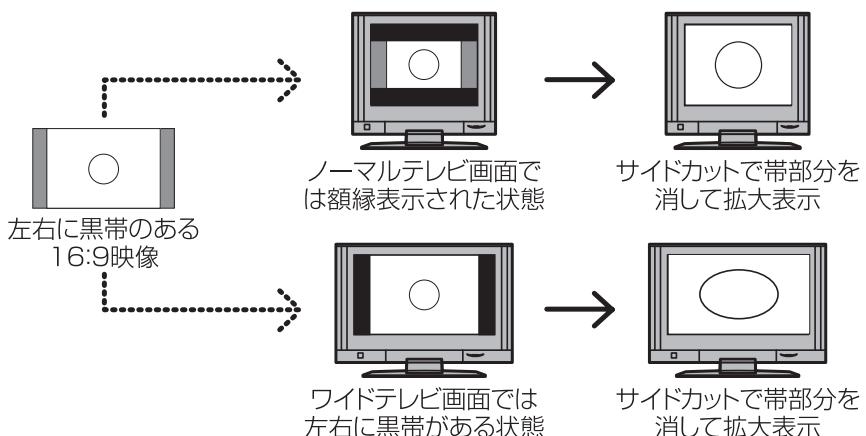
3 [◀][▶]で画面モードを選ぶ

ノーマル：通常の出力となります。

サイドカット：16:9映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、左右の映像がカットされますので、お気をつけください。

VIERA Link対応の
テレビとHDMIケー
ブルで接続している
ときのみ

再生操作パネル
画面モード切換
デジタル放送メニュー
ドライブ切換
サブメニュー・決定
戻る

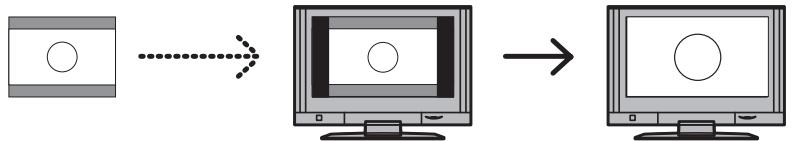


上下左右の黒帯を
消して拡大する

画面モード切換

ズーム

：4:3映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、上下の映像がカットされますので、お気をつけください。



○○お知らせ○○

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
 - 他のチャンネルを選局したとき
 - 番組の再生を始めたとき、または終了したとき
(再生ナビ画面上で番組の再生を行い、再生を終了したあと、続けて別の番組を再生した場合は「ノーマル」には戻りません。「ノーマル」に戻すには、もう一度上記操作を行い、手順3で「ノーマル」を選んでください。)
 - 電源を切/入したとき
 - DVDビデオの映像の場合、「サイドカット」は効果がありません。
- 初期設定「TVアスペクト」(→116)を「4:3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。

画面表示(ふた内部)を押す

例)「HDD」選択中、地上デジタル放送を見ているとき

放送開始時刻と終了時刻



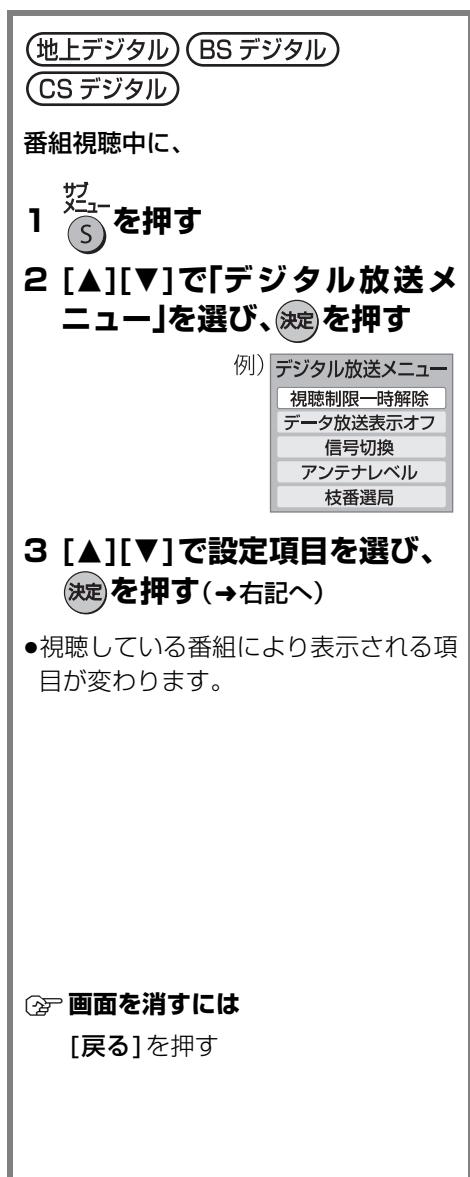
情報表示を消すには

[画面表示](ふた内部)を数回押す

見ている番組の
情報を表示する
(情報表示)

音声を切り換える

受信中のテレビ番組の音声を切り替えます。(→63)



信号切換	<p>暗証番号(→112)を入力して視聴制限を一時解除します。</p> <p>データ放送表示オフ</p> <p>デジタル放送の番組で、映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。</p> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">信号切換</td></tr> <tr><td>マルチビュー</td><td>主番組</td></tr> <tr><td>映像</td><td>映像1</td></tr> <tr><td>音声</td><td>日本語</td></tr> <tr><td>二重音声</td><td>主</td></tr> <tr><td>データ</td><td>データ1</td></tr> <tr><td>字幕</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>字幕言語</td><td>日本語 英語</td></tr> </table> <p>[▲][▼]で設定する項目を選び、[◀][▶]で設定する</p> <p>マルチビュー :マルチビュー放送の番組を選択 映像 :映像の種類を選択 音声 :音声の種類を選択 二重音声 :二重放送の音声を選択 データ :データを選択 字幕 :字幕の表示/非表示 字幕言語 :字幕の言語を選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 番組により、選べる項目が変わります。 ● マルチビュー放送では、1つの放送の中に複数の映像があります。 ● 1つしかないときは切り換えできません。 ● 録画モード「DR」以外で録画した場合、設定した内容(「データ」を除く)のみがそのまま録画されます。再生時にはその設定内容で再生されます。 <p>アンテナレベル</p> <p>アンテナ設置方向の最適値を確認するためのやすです。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。</p> <p>枝番選局</p> <p>地上デジタル放送の枝番号を選びます。(→27)</p>	信号切換		マルチビュー	主番組	映像	映像1	音声	日本語	二重音声	主	データ	データ1	字幕	オン オフ	字幕言語	日本語 英語
信号切換																	
マルチビュー	主番組																
映像	映像1																
音声	日本語																
二重音声	主																
データ	データ1																
字幕	オン オフ																
字幕言語	日本語 英語																

リモコンのボタンに割り当てられた放送局(2006年8月現在)

- 地上アナログ放送(→準備編 54)
- 地上デジタル放送(→準備編 56)
- BSデジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHKハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-i
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	700	NHKデータ1
12	701	NHKデータ2

● CS1(スカパー!110)

番号	チャンネル	放送局名
1	001	スカパー!110メイト
2	990	生活スタイルTV
3	025	BBC JAPAN
4	991	SHOP & TV5
5	055	ep055チャンネル
6	027	
7		
8		
9	091	Act On TV
10	888	スター・チャンネルHV
11		
12	092	Bloomberg

● CS2(スカパー!110)

番号	チャンネル	放送局名
1	100	スカパー!110プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS映画
4	147	ベルーナお買い物テレビ
5	250	アクティブ!スポーツ
6	160	C-TBSウェルカム
7	177	ショッピングチャンネル
8	258	フジテレビ739
9	194	AQステーション
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	宝塚スカイ・ステージ
12	232	スター・クラシック

● 放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

番組表(Gガイド)から見る

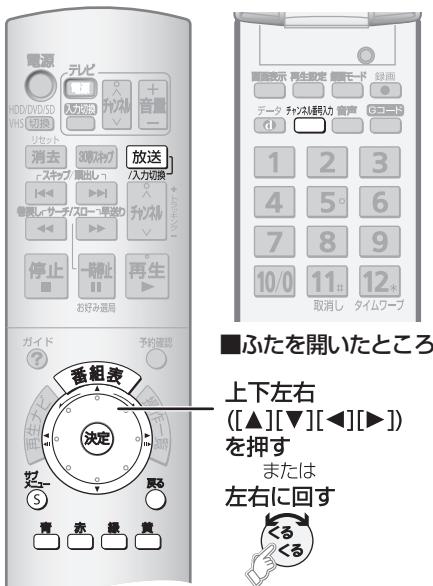
新聞のテレビ欄のような一覧表から見たい番組を選ぶことができます。

この機能を使うにはまず、番組表(Gガイド)の受信が必要です。

地上アナログ放送の番組表(Gガイド)を受信する場合、BSデジタル放送を受信できる衛星アンテナの接続が必要です。

準備

- ・番組表(Gガイド)を受信する。
(→準備編 32)



 前の画面に戻るには

 戻る を押す

番組表(Gガイド)について

地上アナログ

- Gガイド地域一覧表(→準備編 58)に登録されていない放送局は、放送を見ることはできても番組表(Gガイド)には表示されません。

地上デジタル

- 番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、[決定]を押すと表示されます。(数分かかることもあります)
 - 地上デジタル放送のGガイドのロゴと広告は、BSデジタル放送が受信可能であれば表示されます。

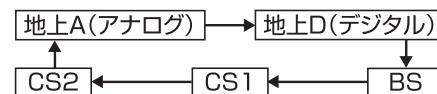
1 番組表を押す



☞ 別の放送の番組表(Gガイド)を見たいときは

「放送/入力切換」を押す

- 押すごとに、下記のように番組表(Gガイド)が切り換わります。



2 見たい番組を選び、**決定**を押す



アイコン表示については (→136)



地上デジタル BS デジタル CS デジタル

- 【チャンネル番号入力】を押して、3けたのチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルを含む番組表(Gガイド)を表示させることができます。

3 「今すぐ見る」を選び、決定を押す



番組表（Gガイド）の見かた

現在時刻：放送の種類
日付：放送局からのお知らせ
選択中の番組紹介：リモコンのボタンの働き
(別の日の番組表を見たり、番組表を拡大/縮小するとき)

現在視聴中の放送局の映像
現在視聴中の放送局
番組の種類
リモコンの
チャンネルボタン番号
放送局の3けたチャンネル番号
放送局名
短い番組は青の線で表示されます。
選ぶと、番組情報が表示されます。

パネル広告
選ぶと、詳細を表示します。選んだときに番組情報があると、予約設定できます。

選択中の番組
■：録画予約している番組
(Gコード®予約や時間指定予約の場合は、予約した番組の放送時間が番組表の放送時間を含んでいるときのみ表示されます)

- Gガイドのロゴと広告は表示されない場合があります。
- 機器ごとに広告のデータ取得タイミングが異なるため、表示される内容が異なることがあります。
- 現在視聴中の放送局は、一番左に追加表示されます。そのため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。

番組表（Gガイド）での便利機能

別日の番組表（Gガイド）を見るには	翌日：赤 を押す	前日：青 を押す
1画面に表示するチャンネル数を変更する	拡大：緑 を押す	縮小：黄 を押す

●押すごとに、右記のように表示チャンネル数が切り換わります。

3チャンネル表示 → 拡大 → 5チャンネル表示 → 拡大 → 7チャンネル表示 → 拡大 → 9チャンネル表示

番組表（Gガイド）表示中に、
1 サブメニュー を押す
2 [▲][▼]で項目を選ぶ
(→右記へ)

●表示される内容は放送によって異なります。

視聴制限一時解除	(デジタル放送の番組表のみ) [決定]を押す ●暗証番号(→112)を入力して視聴制限を一時解除します。
番組データ取得	(地上デジタル放送の番組表のみ) [決定]を押す ●選択した局の番組情報を受信します。
表示内容	(デジタル放送の番組表のみ) 番組表（Gガイド）で表示させる内容を変更します。 [◀][▶]で表示させたい放送の種類を選び、[決定]を押す お好み：リモコンの[1]～[12*]に設定されているチャンネルとデジタル放送のチャンネルで設定した13～36までのチャンネル テレビ：テレビ放送(映像+音声)のチャンネルのみの番組表（Gガイド） ラジオ：ラジオ放送(音声のみ)の番組表（Gガイド） データ：データ放送の番組表（Gガイド） すべて：受信できるすべての番組表（Gガイド）
パネル広告へ	[決定]を押す
テキスト広告へ	●パネル広告欄またはテキスト広告欄に移動します。
番組表へ	(パネル広告、テキスト広告選択中のみ) [決定]を押す ●元の番組表（Gガイド）の表示に戻します。
放送切換	別の放送の番組表（Gガイド）を表示させます。 [◀][▶]で表示させたい放送を選び、[決定]を押す

データ放送/有料番組を見る

データ放送は

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。データ放送が含まれるテレビ番組の場合、録画が始まるとデータ画面が消えます。

準備

- 電話回線を接続する。(→準備編 17)
(データ放送の場合、サービスの種類によっては電話回線を使うときがあります)

有料番組は

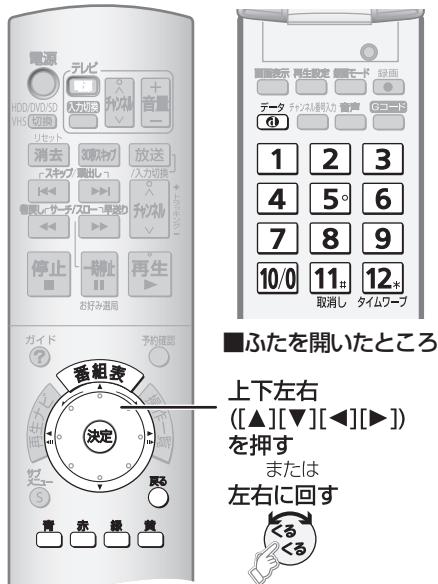
(BS デジタル) (CS デジタル)

衛星デジタル放送には、無料と有料のものがあります。

- 有料番組を見るには、放送会社との契約と電話回線の接続が必要です。
- ペイ・パー・ビュー(番組単位で購入)を視聴・録画するには、右記の購入操作が必要です。
(2006年8月現在、ペイ・パー・ビューの番組は放送されていません)

準備

- 電話回線を接続する。(→準備編 17)



☞ 前の画面に戻るには

戻る
を押す

データ放送を見る

1 データ放送のある番組を選局し、**データ** (ふた内部) を押す

- 情報が多いときは、表示が出るまで 例) に時間がかかる場合があります。



2 見たい項目を選び、**決定** を押す



- 番組により、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や**数字ボタン**を使った選択画面が表示されますので、その指示に従ってください。

- お好みページへの登録案内が出たときは、画面の指示に従ってください。

☞ お好みページを使うには(→109)

データ画面を消すには

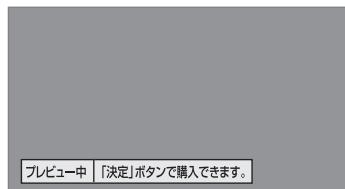
[データ①] (ふた内部) を押す

- データ画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。(→29)

有料番組を見る

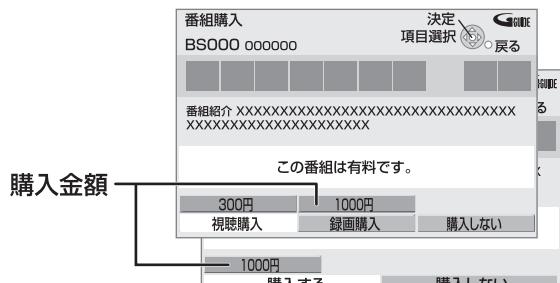
1 ペイ・パー・ビューの番組を選局し、**決定** を押す

- 番組によってはプレビュー(有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービス)画面が表示されます。



2 項目を選び、**決定** を押す

- 番組により、選べる項目が変わります。



購入する : 番組を購入したことになり、視聴できます。

「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。

購入しない : 番組を購入しません。

視聴購入 : 料金を払うと視聴できますが、「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。

録画購入 : 料金を払うと視聴と録画ができます。

☞ 購入した有料番組の確認/送信結果を確認するには(→109)

データ放送／ 有料番組の 確認をする

データ放送や有料番組の確認は、番組表(Gガイド)から確認することができます。

1 番組表を押す

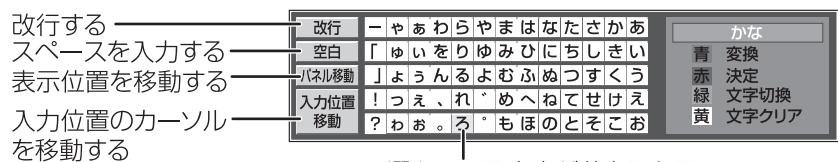
2 [▲][▼][◀][▶]で番組を選び、決定を押す



データ放送では
+d ラジオ テレビ ラジオ
有料放送では
有料
が表示されます。
(→136)
●アイコンが表示されない番組もあります。

データ放送を表示中、画面に説明された操作をしたときに、下記のような文字入力画面(キーボード表示)が表示される場合があります。

例) 入力モードが「かな」のとき



選んでいる文字が黄色になる

この文字入力画面は、プロキシアドレスの設定(→準備編 44)でも表示されます。

[▲][▼][◀][▶]で入力する文字を選び、決定を押す

☞ 文字の種類を選ぶには

[緑](文字切換)を押す

- 押すごとに右記のように切り換わります。
- 漢字を入力するときは、「かな」を選びます。
- 英数のみが入力できる項目のときは、「英数」に固定されます。



☞ 文字を消すには

[黄](文字クリア)を押す

☞ 文字を確定するには

[赤](決定)を押す

☞ ひらがなを漢字変換するには

[青](変換)を押して[▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す

☞ 記号を入力するには

① “きごう”と入力する

② [青](変換)を押す

• 画面上のキーボードが消え、記号を表示します。

• 他の記号に変換したいときは、[▼]を押し、候補の中から選び、[決定]を押します。

データ放送画面 での文字入力

○○お知らせ○○

• 電話回線での通信中は、本体表示窓に“TEL”が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがあります、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。“TEL”が消えるまでしばらくお待ちください。

• 電話回線の使用時には、回線接続料がかかります。

有料番組について

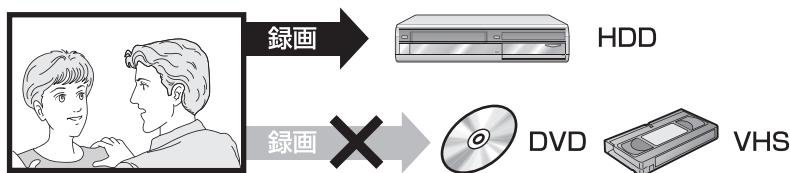
• 「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているため、本機へ録画することはできません。

• 購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。

• 一度視聴購入をした番組は、録画購入できません。

録画について

HDDにのみ
録画できます



DVDまたはVHSに記録したい場合は、HDDからダビングしてください。

カセットのように
録画部分を気にする
必要はありません

カセットだと



録画前に、早送りや巻き戻しで記録する
ところを探さないといけないけれど…

HDDだと



新しく録画

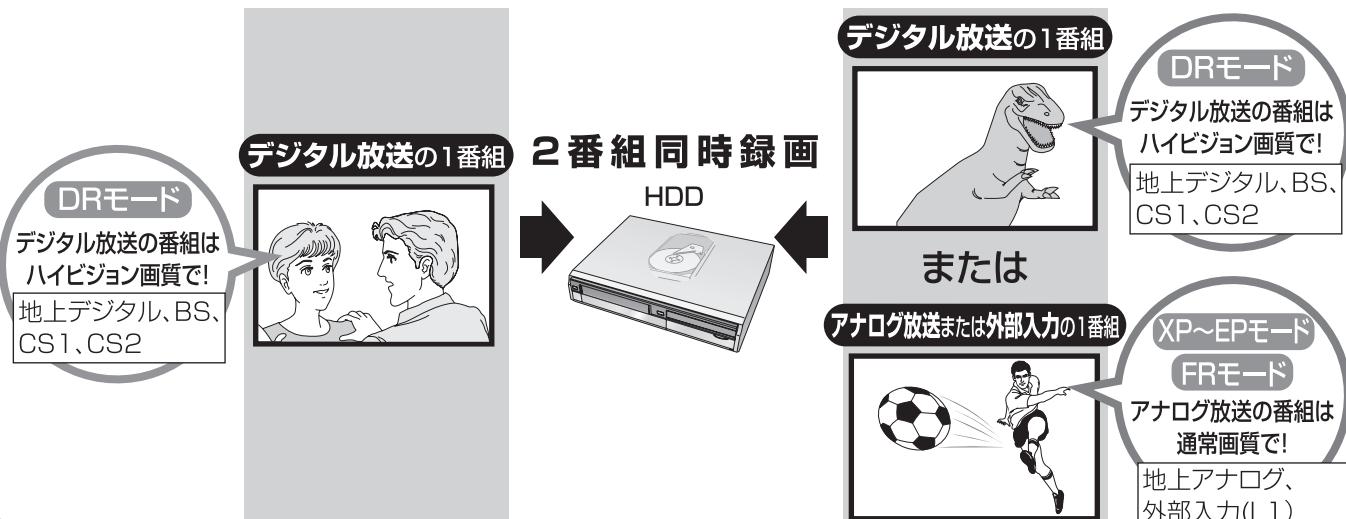
記録済 未記録 未記録

自動的に記録してくれます。

どっちも録りについて

本機では、デジタル放送の2番組、またはデジタル放送の1番組とアナログ放送の1番組を同時に録画することができます。

同一放送時間帯で



どっちも録りを
するには…

デジタル放送は、録画モード「DR」で録画してください。

- アナログ放送の2番組を同時に録画することはできません。
- DV入力やi.LINK (TS) 入力から録画中は、2番組を同時に録画することはできません。
- 本機の外部入力に接続したホームターミナルやセットトップボックスなどからデジタル放送の番組を録画する場合、「アナログ録画」として録画されます。

操作方法については(→39)

○○○お知らせ○○○

- 高速ダビング中には、2番組同時に録画できません。
- デジタル放送を録画モード「DR」以外で録画する場合
・ 2番組同時に録画することはできません。
・ 追っかけ再生、同時録画再生はできません。
・ 放送/入力やチャンネルの切り換えはできません。

■ 本体表示部の見かた

録画が開始されたときに点灯

本体前面



0:00:01

「録画1」点灯中に、別の録画が開始されたときに点灯

- 録画の一時停止中は、「録画」ランプが点滅します。

録画の画質と時間について(録画モード)

DR (ダイレクト レコーディング)

デジタル放送をデジタル信号のまま録画しますので、ハイビジョン画質やサラウンド音声などもそのままの状態で記録できます。(データ放送は録画されません)
複数の映像や音声を含む番組を録画した場合、再生時に映像や音声を切り換えることができます。

XP (高画質録画)

♪

EP (長時間録画)

録画モードを高画質にするほど、録画番組の画質は向上しますが、ディスクの容量を多く使い、記録できる時間は少なくなります。

FR (フレキシブル レコーディング)

ディスクの残量に合わせてXP～EP(8時間)の間で画質を自動調整します。HDD録画時に選ぶと、4.7 GBのディスクにぴったりダビングができるように調整します。
ぴったり録画(→41)や予約録画、ダビング時にのみ設定できます。



デジタル放送をハイビジョン画質のまま記録したいときは、録画モード「DR」を選べばいいのね。

ハイビジョン画質の映像は?

サラウンドの番組の音声は?

複数の音声が含まれている番組は?

複数の映像が含まれている番組は?

字幕情報が含まれている番組は?

録画モード「DR」で録画した場合

そのままの画質で記録

そのままの音声で記録

複数の音声をすべて記録

複数の映像をすべて記録

再生時、字幕表示の入/切ができる

録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した場合

アナログ放送の録画画質に変換されて記録

ステレオ音声で記録

音声は1つだけ記録*

映像は1つだけ記録*

再生時、字幕表示の入/切はできない*

* 記録したい映像や音声、字幕表示の入/切などの内容を、「信号切換」(→29)または、「信号設定」(→45)で選んでください。

●CATVデジタルセットトップボックスなどを本機の外部入力に接続した場合、ハイビジョン画質での録画はできません。アナログ放送と同等の画質での録画となります。

録画モード	ディスク	内蔵HDD ^{*1} (400 GB)	DVD-RAM ^{*2}		DVD-R ^{*2} DVD-RW ^{*2} (4.7 GB)	DVD-R DL (片面2層) ^{*2} (8.5 GB)
			片面(4.7 GB)	両面 ^{*3} (9.4 GB)		
DR ^{*4}	BS デジタル	HD放送 ^{*5} (<24 Mbps)	約36時間			
		SD放送 ^{*5} (<12 Mbps)	約72時間			
	地上 デジタル	HD放送 ^{*5} (<17 Mbps)	約50時間30分			
XP(高画質)			約89時間	約1時間	約2時間	約1時間45分
SP(標準)			約177時間	約2時間	約4時間	約3時間35分
LP(長時間)			約355時間	約4時間	約8時間	約7時間10分
EP(長時間)		約709時間 (約532時間 ^{*6})	約8時間 (約6時間 ^{*6})	約16時間 (約12時間 ^{*6})	約8時間 (約6時間 ^{*6})	約14時間20分 (約10時間45分 ^{*6})

*1 音楽や写真を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。

*2 直接録画することはできません。表はダビングでの記録時間です。

*3 両面の連続記録・再生はできません。

*4 録画時間は放送(転送レート)により異なります。また、本機での残量表示は、BSデジタルHD放送(24 Mbps時)として計算されています。そのため、実際の残量と異なる場合があります。

*5 (→133「デジタルハイビジョン」)

*6 初期設定「EP時の記録時間」(→114)を「6時間」に設定した場合。

●EPモードの音質は「6時間」の方が高音質です。

●RAM EP(8時間)モードで記録した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6時間)モードで記録してください。

上記の表の数値はめやすです。記録する内容によっては変化することがあります。

本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。(HDDと-R DL(VR) -R DL(V)では、特にその差が著しくなります)残量に余裕がある状態で記録してください。

録画について(つづき)

アナログ放送や外部入力*からの録画にかかる制限

*DV入力を含む

ワイド放送などの
16:9映像を
録画する場合

初期設定「高速ダビング用録画」(→114)が「入」のときに録画すると、初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」(→114)の設定に従って、画面サイズを記録します。

二重音声放送を
録画する場合

4:3映像で記録された場合、初期設定「TVアスペクト」(→116)を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になります。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

デジタル放送の録画について

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「1回だけ録画可能」*のコピー制御信号が加えられています。
※「デジタル1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。

(2004年4月から)

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

社団法人 地上デジタル放送推進協会 <http://www.d-pa.org/>
社団法人 BSデジタル放送推進協会 <http://www.bpa.or.jp/>

CPRMとは

1回だけ録画が許可された番組を記録することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

録画時には、次のことに
お気をつけください

下図のように録画された番組は、録画制限のない番組でも録画制限のある番組として扱われます。そのため、ダビング時、移動するなどの制限がかかります。

- 番組分割(→64)などの編集を行っても、録画制限のある番組として扱われます。

録画制限のある番組 録画制限のない番組

続けて1つの番組として録画すると…

録画制限のある番組

データ放送とラジオ放送を録画することはできません。



1枚のディスクに記録できる番組数

• HDD 最大500番組

(長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)

• RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

最大99番組

(直接録画はできません。ダビングしたときの番組数です。)

録画したあとに

番組を選びたいときは、[再生ナビ]を押して番組を選んで再生してください。(→52)

音声多重放送の録画について

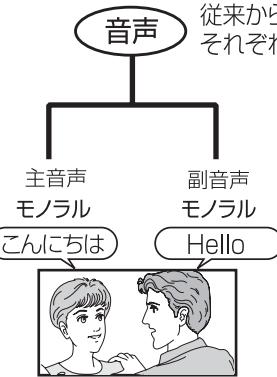
海外ドラマやスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。

このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

以下の内容を参考にして正しく記録してください。

従来からの音声多重放送

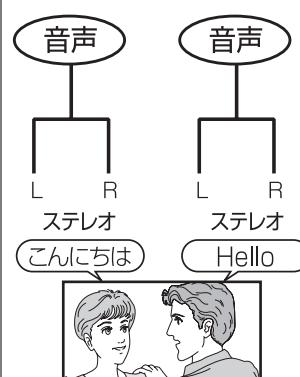
二重放送 (主音声と副音声)



- デジタル放送の二重放送の番組は、番組表の番組内容画面で以下のアイコンが表示されます。

デジタル放送の音声多重放送

マルチ音声放送 (複数の音声)



- デジタル放送のマルチ音声放送の番組は、番組表の番組内容画面で以下のアイコンが表示されます。

放送される番組によっては、音声の種類などは上記の限りではありません。

Q

どのような音声の番組を録画しますか?

Q

録画モードは?

Q

初期設定
「高速ダビング用録画」
(→114)の設定は?

デジタル放送のマルチ音声放送

デジタル放送の二重音声放送

アナログ放送や外部入力^{※1}からの二重音声放送

「DR」で録画

「XP」~「EP」、「FR」で録画

録画モードに
かかわらず^{※2}

録画モードに
かかわらず^{※2}

「入」「切」に
かかわらず

「入」「切」に
かかわらず

「入」「切」に
かかわらず

「切」
「入」
(お買い上げ時)

記録される音声は
こうなります。

複数の音声を
すべて記録します。

どれか1つだけ
音声を記録します。

主音声・副音声を
両方記録します。

主音声か副音声
どちらか一方
のみ記録します。

[録画●]を押して録画する場合

視聴している音声が記録されます。録画する前に「信号切換」の「音声」で記録したい音声を選んで録画してください。(→29)

番組表を使って録画する場合

番組予約の「信号設定」の「音声」で記録したい音声を選んでください。(→45)

録画前に、初期設定「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。(→115)

※1 外部入力から二重音声放送を録画する場合

外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力するように設定してください。

録画前に、初期設定「外部入力の音声」で「二重音声」を選んでください。(→115)

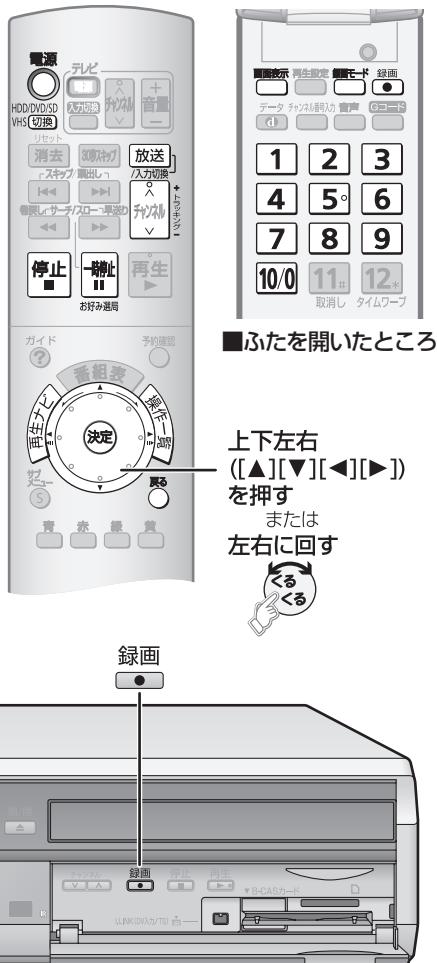
※2 初期設定「XP時の記録音声モード」(→115)を「LPCM」にし、録画モード「XP」で録画すると、主音声か副音声のどちらか一方のみ記録します。録画前に、初期設定「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。(→115)

録画する

HDD

準備

- ・テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- ・[電源]を押して、本機の電源を入れる。



お知らせ

- ・デジタル放送を録画モード「DR」以外で録画しているときは、HDDまたはDVDの再生はできません。
また、どの放送/入力にかかわらず、録画モード「DR」以外での録画中は、VHSの再生もできません。

1

HDD/DVD/SD VHS 切換を押して、「HDD」を選ぶ

- ・押すごとに、ドライブが切り換わります。

ドライブ切換
HDD
DVD
SD
VHS

- ・表示が消えると、選ばれたドライブに切り換わります。

2

放送/入力切換を押して、録画したい放送を選ぶ

放送／入力切換
地上D
BS
CS1
CS2
地上A
L1
DV
i.LINK(TS)

外部入力(CATVセットトップボックスなど)から録画するときに選んでください。

- ・接続した機器側で、録画したいチャンネルをあらかじめ選んでおいてください。
(→手順4へ)

3

録画したいチャンネルを選ぶ(詳しくは→27)

4

録画モード(ふた内部)を押して、録画モード(→35)を選ぶ

- ・押すごとに、録画モードが切り換わります。

デジタル放送を視聴中 またはi.LINK(TS)入力中のみ	録画モード
DR 残量 36:00	
XP 残量 89:00	
SP 残量 177:00	
LP 残量 355:00	
EP 残量 709:00	

- ・表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

- ・録画モードを「XP」で録画する場合は、記録する音声の設定を変更できます。(→115 初期設定「XP時の記録音声モード」)

5

録画(ふた内部)を押して、録画を始める



- ・本体表示窓に録画経過時間が表示されます。
- ・録画中に録画モードを変えることはできません。
- ・番組表(Gガイド)(→30)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。

録画中のいろいろな操作

録画を
一時停止する・
止める

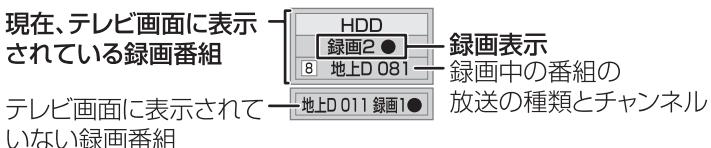
**1 ドライブを切り換えていた場合は:
HDD/DVD/SD
VHS 切換** を押して、「HDD」を選ぶ

2 録画中の番組と異なる番組を見ていた場合は:



- 情報表示画面(→62)で録画表示が表示されている番組が現在録画中の番組です。
現在テレビ画面に表示されている録画番組が、録画を一時停止したい、または止めたい番組であるか確認してください。

例)2番組同時録画中



3 録画を一時停止するには:



- 本体表示窓の録画経過時間が止まります。
- もう一度押すと録画を再開します。[録画●]を押しても再開できます。(番組は分割されません)
- 録画モード「DR」で録画中に一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になります。

録画を止めるには:



- 録画開始した位置から停止した位置までを1番組として記録します。
- HDD長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます。

予約録画を止めるには(→49)

放送/入力を
切り換える



- デジタル放送を録画モード「DR」以外で録画中は、放送/入力の切り換えはできません。

他のチャンネルに
切り換える

デジタル放送を録画モード「DR」で録画しているときは、他のチャンネルに切り換えることができます。
(アナログ放送を録画中は切り換えできません)

選局方法について(→27)

- お好み選局表から選局することはできません。

左ページの手順1～5で別の番組を録画する

どっちも録りの状態

本体前面



**どっちも録りを
する**

テレビ画面



現在、テレビ画面に表示されている
録画番組

テレビ画面に表示されていない
録画番組

([放送/入力切換] や [チャンネルへ, ▲] を押して、録画中の番組を選ぶと、テレビ
画面に映像が表示されます)

- デジタル放送は録画モード「DR」で録画してください。
- 2番組同時に録画しているときでも、以下の再生をお楽しみいただけます。(写真の再生はできません)
 - ・HDDの追っかけ再生、同時録画再生
 - ・DVDの再生
 - ・VHSの再生(デジタル放送の番組を2番組同時に録画しているときのみ)

どっちも録りについて(→34)

録画する(つづき)

録画中のいろいろな操作(つづき)

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます。

1 ドライブを切り換えていた場合は:
HDD/DVD/SD
VHS[切換]を押して、「HDD」を選ぶ

2 録画中の番組と異なる番組を見ていた場合は:



- 情報表示画面(→62)で録画表示が表示されている番組が現在録画中の番組です。
現在テレビ画面に表示されている録画番組が、録画の終了時刻を指定したい番組であるか確認してください。
(詳しくは→39「録画を一時停止する・止める」手順2)

3 本体の録画を押す

- 押すごとに本体表示窓の録画終了時間が変わります。
録画経過時間→30分後→1時間後→1時間30分後
↑—4時間後←3時間後←2時間後←
- 本体表示窓は下図のようになります。



☞ 終了時間の設定を取り消すには

本体の【録画●】を数回押し、「録画経過時間」を選ぶ
(録画は続けられます)

○○ お知らせ ○○

- リモコンの【録画●】では働きません。
- ぴったり録画中(→右ページ)や予約録画中は指定できません。
- 録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源も切れます。

録画の終了時間を指定する
(終了時間予約録画)

録画しながら再生する(追っかけ再生、同時録画再生)

本機では、録画を続けながら、録画中の番組を先頭から再生する追っかけ再生や、録画済みの番組を再生する同時録画再生を行うことができます。

1 HDD/DVD/SD
VHS[切換]を押して、再生するドライブ(「HDD」または「DVD」)を選ぶ

2 録画中に、再生メニューボタンを押す

☞ 再生ナビ画面の便利な機能について(→53)

3 [▲][▼]で再生したい番組を選び、決定を押す

例) HDD



録画中の番組
(●が表示されます)

☞ 再生ナビ画面を消すには

[再生ナビ]を押す

☞ 再生を止めるには

停止ボタンを押す

☞ 録画を止めるには

再生停止後、約2秒以上待って
(→39「録画を一時停止する・止める」へ)

☞ 予約録画を止めるには(→49)

○○ お知らせ ○○

- デジタル放送を録画モード「DR」以外で録画しているときは、再生できません。

ディスク容量にぴったり合うように録画する

ぴったり録画

4.7 GBのディスクにダビングしたときに、ディスクの容量にぴったり合うように録画します。
録画時に、設定した時間に合わせて自動的に最適な画質 [→35「FR(フレキシブルレコーディング)」]になります。

38ページ手順1~3のあと、

1 停止中に、 を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、 を押す

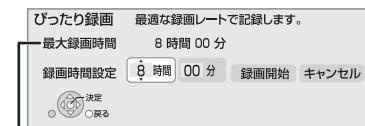
3 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、 を押す

4 [<◀][▶]で「時間」または「分」を選び、[▲][▼]で録画時間を設定する

- [1]~[10/0]も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

5 [<◀][▶]で「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で を押す

- 録画が始まります。



最大録画時間
EP(8時間)モードで計算した残量時間です。

☞ 録画せずに画面を消すには

[戻る]を数回押す

☞ 録画の残り時間を確認するには

- ① (ドライブを切り換えていた場合)
[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「HDD」を選ぶ
- ② (録画中の番組と異なる番組を見ていた場合)
[放送/入力切換]や[チャンネル△,▽]を押して、録画中の番組を選び
- ③ [画面表示](ふた内部)を押す



録画の残り時間

予約録画について

- ・本機では1ヶ月以内の番組を、32番組まで予約できます。[毎日・毎週予約(→下記)は1番組として数えます]
- ・本機では、同一時間帯の番組を2番組同時に録画することができます。(詳しくは→34)
- ・録画先はHDDになります。(DVD、VHSに録画はできません)

予約方法には、以下の3つの方法があります。

番組表(Gガイド)を使って予約(→44)



Gコード®入力を使って予約(→46)

新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字を入力して予約を行う方法です。

地上アナログ放送のみ



録画時間を指定して予約(→47)



iリシステムを使って予約録画する(→48)

予約録画の便利な機能

連続ドラマを毎日・毎週予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。



録画を毎日・毎週予約する

まとめ表示について

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、再生ナビ画面(→52)で1つにまとめて表示されるため、再生するときに録画した番組を探しやすくなります。
([「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く])

前回の番組を消去し新たに録画するには(自動更新)

自動更新(オートリニューアル)録画を設定しておくと、前回の放送分は消去され、新たに番組を録画しますので、HDDの容量を効率よく使えます。
・番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)
・HDDの残量が少ないと、番組の最後まで更新されないことがあります。

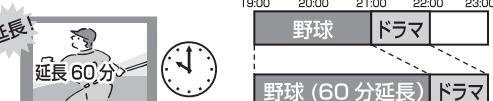
番組追従機能

- ・番組表(Gガイド)から予約した番組のみ働きます。

野球中継などの番組延長に対応

- ・デジタル放送のみ

予約登録後に番組の放送時間が変わっても、番組表が更新されれば、番組追従機能が働き、録画時間を自動的に変更します。

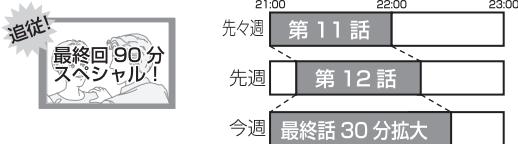


- ・放送時間が変更された場合、3時間の変更まで追従します。
- ・野球延長などで延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
(番組は分割されます)
- ・アナログ放送には働きません。

毎日・毎週予約したドラマなどの時間変更に対応

- ・毎日・毎週予約時のみ

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送予定に時間変更があった。または最終回だけ30分拡大版だった。」などの場合に対応します。



- ・番組が以下のように変更された場合は追従できません。
 - ・番組表データの更新によって、番組名が変更されたとき
(番組名が変更されない場合でも、番組名によっては追従できない場合があります)
 - ・放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があったとき
このような場合は、最初の予約内容のまま登録します。

- ・番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- ・番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

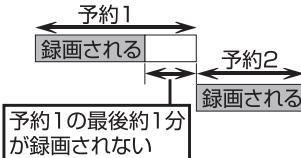
番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(→47)

予約録画 Q & A

Q(質問)

A(回答)

予約録画待機中に録画や再生はできますか？	できます。 ただし、以下の場合は、予約時刻になると予約録画が実行され、録画や再生は中断されます。 ●録画中 :どっちも録り(→34)ができない状態のとき ●HDD/DVD再生中:録画モード「DR」以外で予約したデジタル放送の予約時刻になったとき ●VHS再生中 :録画モード「DR」以外で予約した番組の予約時刻になったとき
電源を入れたままでも予約録画は実行されますか？	実行されます。 電源の切/入にかかわらず、予約録画は実行されます。
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合、どうなりますか？	どっちも録り(→34)ができない状態のときは、前の予約の終わりの約1分が録画されません。
	
他の操作を実行中に予約録画が実行されなくなるのはどんな場合ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ●編集中 ●おまかせダビング中 ●1倍速でダビング中 ●写真をダビング中 ●音楽を録音中、転送中 ●フォーマット実行中 ●ファイナライズ実行中 <p>などを実行中は、予約録画が開始されません。各作業の実行前の画面に予約録画に関するメッセージが表示されますので、ご確認ください。</p>
電源を入れたまま予約録画が始まつた場合、録画終了後、自動的に電源は切れますか？	切れません。 終了後も電源は入ったままになります。予約録画中に電源を切ることはできます。(予約録画に影響はありません)
予約時刻が重なっている番組はどうなりますか？	同じ時間帯に予約が重複した場合、予約内容によって録画できる番組と録画できない番組があります。(→45「予約の重複について」) (予約一覧画面で「重複」アイコンが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません)

録る

予約録画について

正しく予約録画するためには



- 予約画面には、HDDの残量も表示されます。(選んでいる録画モードで計算されます)
録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。
- 予約設定画面で「予約を登録する」または「修正を反映する」が選べないとときは、設定が間違っています。
もう一度設定を確認してください。

予約録画する

HDD

番組表(Gガイド)はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表(Gガイド)のデータを受信する必要があります。

(詳しくは→準備編 32)

準備

- ・テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- ・[電源]を押して、本機の電源を入れる。
- ・本機の時刻が正しいことを確かめる。
(→準備編 36「時刻合わせ」)



☞ 前の画面に戻るには

戻る
戻る

☞ 番組表(Gガイド)を消すには

番組表

☞ 予約録画を止めるには(→49)

☞ 予約一覧画面から予約の確認や取り消し、修正をするには(→49)

☞ 暗証番号に関する表示が出たときは(→46)

番組表(Gガイド)上で予約を取り消す・修正するには

☞ 予約取り消し

- ① [▲][▼][◀][▶]で「予」が表示されている番組を選び、[決定]を押す
- ② [▶]で「予約取り消し」を選び、[決定]を押す
・「予」が消えます。
●予約録画実行中の番組は、取り消しきできません。

☞ 予約修正

- ① [▲][▼][◀][▶]で「予」が表示されている番組を選び、[決定]を押す
- ② [▶]で「予約修正」を選び、[決定]を押す
(「番組予約」の場合は→右ページ「詳細設定画面」へ)
(「時間指定予約」の場合は→47「時間指定予約画面」へ)

番組表(Gガイド)を使って予約録画する

予約したい番組を、番組表(Gガイド)から選ぶだけで予約できます。また、毎週予約もワンタッチで設定することができます。

1

番組表 を押す

☞ 別の放送の番組表(Gガイド)を見るには

[放送/入力切換]を押す

- ・押すごとに、番組表(Gガイド)が切り替わります。

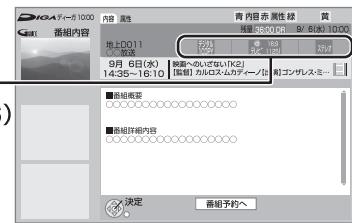


2

予約したい番組を選び、[決定]を押す



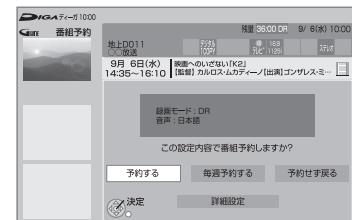
アイコン
(詳しくは→136)



3

「番組予約へ」が選ばれている状態で、[決定]を押す

- ・予約内容を確認してください。
- ・録画モードは、デジタル放送を録画するときは「DR」、アナログ放送を録画するときは操作前に選ばれていた録画モードに設定されます。



☞ アナログ放送の番組が重なっているときは
確認画面が表示されます。

[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す

このまま予約する :手順4へ

地上デジタルで探す :地上デジタル放送の番組表(Gガイド)を表示します。(→手順2へ)

4

項目を選び、[決定]を押す



②決定する

予約する :予約を登録します。

毎週予約する :毎週予約を登録します。(→42)

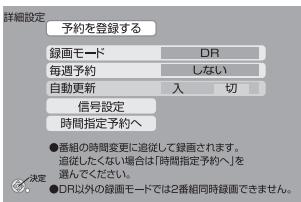
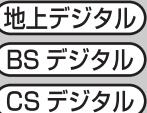
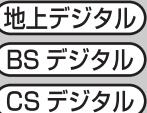
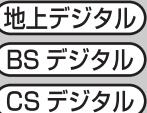
詳細設定 :「詳細設定」画面に移り、予約内容を変更します。

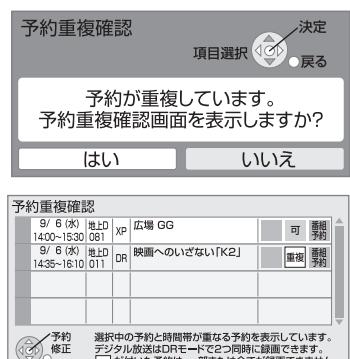
(→右ページ「詳細設定画面」)

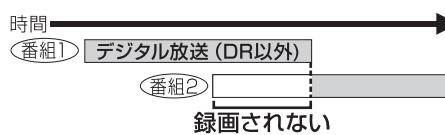
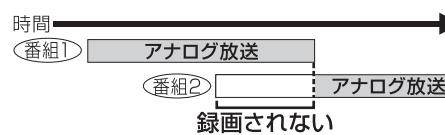
☞ 予約番組が重なっているときは(→右ページへ)

- ・番組表(Gガイド)上で、予約した番組に「予」が表示され、予約待機状態になります。「[時間指定予約へ](→右ページ)」で予約時間を変更した場合、「予」は表示されないときがあります



<p>詳細設定画面</p> <p>左ページ手順4で「詳細設定」を選んだあと、</p>  <p>[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する (→右記へ)</p> <p>設定が終了したら、 [▲][▼]で「予約を登録する」を選び、[決定]を押す</p> <p>●予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定]を押してください。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>録画モード</th> <th>録画モードを設定します。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="430 231 699 489"> 毎週予約 </td><td data-bbox="699 231 1474 489"> <p>[◀]または[▶]を押すごとに、以下のように変わります。</p> <pre> +-----+ しない <--> 每週同じ曜日 <--> 毎週(月)～(金) +-----+ +-----+ <--> 每日 +-----+ <--> 每週(月)～(土) +-----+ </pre> <p>録画する曜日によって表示内容は変わります。 ●ペイ・パー・ビューの番組にはできません。</p> </td></tr> <tr> <td data-bbox="430 489 699 676"> 自動更新 ●毎日・毎週予約を設定したときのみ </td><td data-bbox="699 489 1474 676"> <p>毎日・毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画しますので、HDD容量を効率よく使って録画できます。</p> </td></tr> <tr> <td data-bbox="430 676 699 1192"> 信号設定  </td><td data-bbox="699 676 1474 1192"> <p>複数の音声や映像の信号があるときや、番組の追加購入が必要なときに設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [▲][▼]で選んだあと、[決定]を押す [▲][▼]で変更する項目を選び、[◀][▶]で設定する <ul style="list-style-type: none"> ●録画モードを「DR」以外にして録画する場合、複数の映像や音声、字幕情報を含む番組は、録画したあと、再生中に映像・音声や字幕の入/切の切り換えを行うことはできません。録画する前に設定項目を選択してください。(番組によっては、設定が無効になる場合があります) ●番組の中に購入が必要な信号があるときに、「追加購入選択」で料金を払うと録画ができます。(毎週予約では録画できません) ●選べる設定項目は番組によって変わります。1つしかない場合は、切り替えられません。 ●有料放送の番組を予約するときは、その放送会社と契約したB-CASカードを挿入してください。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="430 1192 699 1318"></td><td data-bbox="699 1192 1474 1318"> 時間指定予約へ <p>録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> [▲][▼]で選んだあと、[決定]を押す [◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す(→47「時間指定予約画面」へ) <ul style="list-style-type: none"> ●番組追従(→42)は行えません。 ●「信号設定」は反映されません。 </td></tr> </tbody> </table>	録画モード	録画モードを設定します。	毎週予約	<p>[◀]または[▶]を押すごとに、以下のように変わります。</p> <pre> +-----+ しない <--> 每週同じ曜日 <--> 毎週(月)～(金) +-----+ +-----+ <--> 每日 +-----+ <--> 每週(月)～(土) +-----+ </pre> <p>録画する曜日によって表示内容は変わります。 ●ペイ・パー・ビューの番組にはできません。</p>	自動更新 ●毎日・毎週予約を設定したときのみ	<p>毎日・毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画しますので、HDD容量を効率よく使って録画できます。</p>	信号設定 	<p>複数の音声や映像の信号があるときや、番組の追加購入が必要なときに設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [▲][▼]で選んだあと、[決定]を押す [▲][▼]で変更する項目を選び、[◀][▶]で設定する <ul style="list-style-type: none"> ●録画モードを「DR」以外にして録画する場合、複数の映像や音声、字幕情報を含む番組は、録画したあと、再生中に映像・音声や字幕の入/切の切り換えを行うことはできません。録画する前に設定項目を選択してください。(番組によっては、設定が無効になる場合があります) ●番組の中に購入が必要な信号があるときに、「追加購入選択」で料金を払うと録画ができます。(毎週予約では録画できません) ●選べる設定項目は番組によって変わります。1つしかない場合は、切り替えられません。 ●有料放送の番組を予約するときは、その放送会社と契約したB-CASカードを挿入してください。 		時間指定予約へ <p>録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> [▲][▼]で選んだあと、[決定]を押す [◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す(→47「時間指定予約画面」へ) <ul style="list-style-type: none"> ●番組追従(→42)は行えません。 ●「信号設定」は反映されません。
録画モード	録画モードを設定します。										
毎週予約	<p>[◀]または[▶]を押すごとに、以下のように変わります。</p> <pre> +-----+ しない <--> 每週同じ曜日 <--> 毎週(月)～(金) +-----+ +-----+ <--> 每日 +-----+ <--> 每週(月)～(土) +-----+ </pre> <p>録画する曜日によって表示内容は変わります。 ●ペイ・パー・ビューの番組にはできません。</p>										
自動更新 ●毎日・毎週予約を設定したときのみ	<p>毎日・毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画しますので、HDD容量を効率よく使って録画できます。</p>										
信号設定 	<p>複数の音声や映像の信号があるときや、番組の追加購入が必要なときに設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [▲][▼]で選んだあと、[決定]を押す [▲][▼]で変更する項目を選び、[◀][▶]で設定する <ul style="list-style-type: none"> ●録画モードを「DR」以外にして録画する場合、複数の映像や音声、字幕情報を含む番組は、録画したあと、再生中に映像・音声や字幕の入/切の切り換えを行うことはできません。録画する前に設定項目を選択してください。(番組によっては、設定が無効になる場合があります) ●番組の中に購入が必要な信号があるときに、「追加購入選択」で料金を払うと録画ができます。(毎週予約では録画できません) ●選べる設定項目は番組によって変わります。1つしかない場合は、切り替えられません。 ●有料放送の番組を予約するときは、その放送会社と契約したB-CASカードを挿入してください。 										
	時間指定予約へ <p>録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> [▲][▼]で選んだあと、[決定]を押す [◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す(→47「時間指定予約画面」へ) <ul style="list-style-type: none"> ●番組追従(→42)は行えません。 ●「信号設定」は反映されません。 										

<p>予約番組が重なっているとき (左ページ手順4などのあと)</p>	<p>以前に予約している番組と時間が重なっていて、録画が正しく行われない場合、右記の画面が表示されます。</p> <p>●重複している予約を確認するには、「はい」が選ばれている状態で、[決定]を押してください。「予約重複確認」画面(→下記)が表示されます。</p> <p>☞ 予約の重複を修正するには</p> <ol style="list-style-type: none"> [▲][▼]で修正したい番組を選び、[決定]を押す [◀][▶]で修正方法を選び、[決定]を押す <p>修正 : 予約時間などを修正します。 (「番組予約」の場合は→上記「詳細設定画面」へ) (「時間指定予約」の場合は→47「時間指定予約画面」へ)</p> <p>取り消し : 予約を取り消します。</p> <p>予約実行切 : 予約の実行をやめます。</p> 
------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

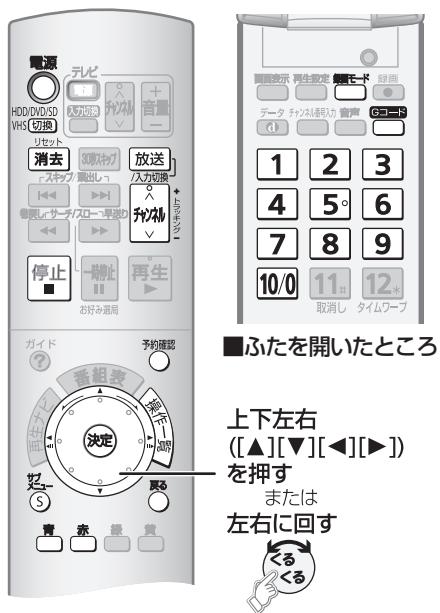
<p>予約の重複について</p> <p>同じ時間帯に予約が重複した場合、予約内容によって録画できる番組と録画できない番組があります。 「重複」アイコンが表示されている場合は、番組の一部またはすべてが録画されません。</p> <p>例) デジタル放送を録画モード「DR」で予約した番組が重複している場合</p>  <p>開始時刻の早い2番組が録画されます。一方の録画が終わり次第、3番組目が途中から録画されます。</p>	<p>例) デジタル放送を録画モード「DR」以外で予約した番組が重複している場合</p>  <p>開始時刻の早い1番組のみ録画されます。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。</p>	<p>例) アナログ放送を予約した番組が重複している場合</p>  <p>開始時刻の早い1番組のみ録画されます。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

予約録画する(つづき)

HDD

準備

- ・テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- ・[電源]を押して、本機の電源を入れる。
- ・本機の時刻が正しいことを確かめる。
(→準備編 36「時刻合わせ」)



☞ 前の画面に戻るには



☞ 画面を消すには



☞ 予約録画を止めるには(→49)

☞ 予約の確認や取り消し、修正をするには
(→49)

暗証番号に関する表示が出たとき

視聴制限のある番組を録画するには暗証番号の入力が必要です。視聴制限のない番組は入力の必要はありません。

・番組の視聴制限(→112)を登録していない場合には

「暗証番号登録」画面になります。画面の指示に従ってください。(登録すると「無制限」になります)

・暗証番号は視聴制限を変更するときに必要です。忘れないでください。

・視聴可能年齢に制限をかけている場合は(→112)

設定した暗証番号を入力しないと制限のある番組は録画できません。

Gコード®入力を使って予約録画する

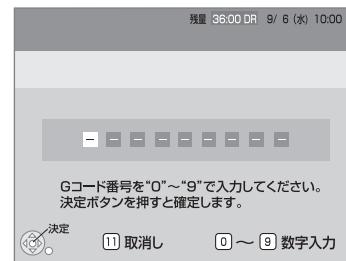
地上アナログ

Gコード®を入力するだけで地上アナログ放送の番組が予約できます。

予約を正しく行うために、別冊の取扱説明書 準備編をご覧になり、ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。

・Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。

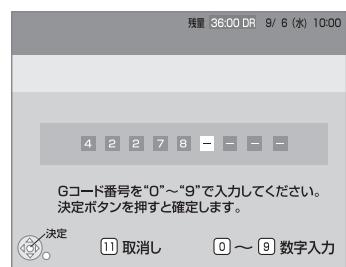
1 Gコード(ふた内部)を押す



2 1～10/0(ふた内部)でGコード番号を入力する

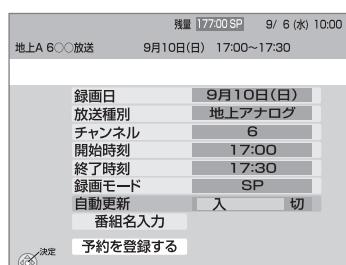
- ・[▲][▼]で数字を選び、[▶]を押しても入力できます。

☞ Gコード番号を間違えたときは
[◀]で戻り、再度入力する



3 決定を押す

- ・予約内容を確認してください。
- ・録画モードは操作前に選ばれていたモードに設定されます。



☞ 予約内容を変更するには(→右ページ「時間指定予約画面」)

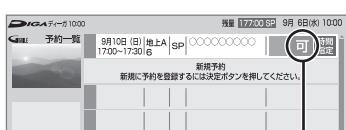
☞ 「チャンネル」の項目が「G—」になっているときは

ガイドチャンネルが正しく設定されていません。「チャンネル」が選択されている状態で、[◀][▶]で予約したいチャンネルに合わせてください。(→準備編 47)

- ・予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。

4 「予約を登録する」を選び、決定を押す

- ① 選び
- ② 決定する



「不可」が表示されているときは、HDDの残量などを確認してください。

- ・予約待機状態になります。

点灯



☞ 予約一覧画面のアイコン表示については(→137)

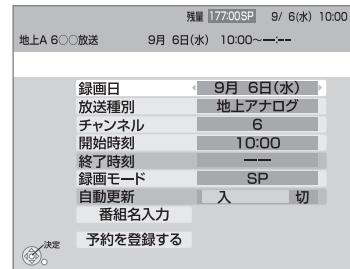
録画時間を指定して予約録画する(時間指定予約)

予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などを自分で設定する予約方法です。

1 予約確認を押す



2 「新規予約」が選ばれている状態で、決定を押す



3 予約内容を設定する

(→下記「時間指定予約画面」へ)

4 「予約を登録する」を選び、決定を押す

- ① 選び
- ② 決定する

「不可」が表示されているときは、HDDの残量などを確認してください。

●予約待機状態になります。

☞ 暗証番号に関する表示が出たときは(→左ページ)

☞ 予約番組が重なっているときは(→45へ)

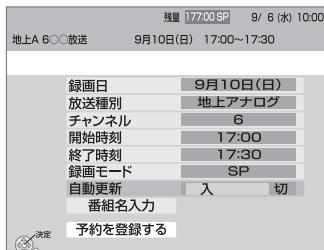
☞ 予約一覧画面のアイコン表示については(→137)



本体表示窓



時間指定予約画面



[▲][▼]で項目を選び、
[◀][▶]で設定する
(→右記へ)

設定が終了したら、
上記手順4へ

●予約修正の場合、「修正を反映する」を選び、[決定]を押してください。

録画日	[◀]または[▶]を押すごとに、以下のように変わります。
放送種別	録画する放送を設定します。
チャンネル	録画するチャンネルを設定します。 ●[1]～[10/0]でも選べます。
開始時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀]または[▶]を押したままにすると15分単位で変更できます。
終了時刻	●[決定]を押すと、[1]～[10/0]でも選べます。
録画モード	録画モードを設定します。
自動更新	毎日・毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画しますので、HDD容量を効率よく使って録画できます。 ●毎日・毎週予約を設定したときのみ
番組名入力	[▲][▼]で選んだあと、[決定]を押し、文字入力します ●文字入力について(→107) ●入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。

予約録画する(つづき)

アイアル

Ir システムを使って予約録画する

本機は、当社製CATV用セットトップボックスなどのIrシステム(→135)に対応しています。Irシステムを使えば、接続機器側で受信している放送を本機で予約録画(連動予約またはタイマー予約)することができます。

- セットトップボックスなどのIrシステムを利用する場合は、本機で設定したリモコンモード(→準備編 36)に、Irシステムのリモコン種別を合わせてください。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。
- Irシステムの設置・設定・操作は、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。

1 本機の外部入力端子(L1)とセットトップボックスなどの出力端子を接続し、Irシステムケーブルを接続する(→準備編 20)

2 セットトップボックス側でIrシステムの設定と予約の設定を行う

- リモコン種別を「DVDレコーダー(1,2….)」に設定してください。
- その他の設定やリモコン種別の詳細については、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。

3 予約方法に合わせて、本機の操作と確認を行う

⌚連動予約のとき

- ① [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「HDD」を選ぶ
- ② [放送/入力切換]を押して、接続した外部入力端子(L1)を選ぶ
- ③ [録画モード](ふた内部)を押して、録画モードを選ぶ(→35)
- ④ 本機の電源を切る

⌚タイマー予約のとき

- 予約待機状態であることを確認する。(本体表示窓の“(○)”点灯)
- 予約内容の確認や変更をするには(→右ページ)

予約時刻になると、録画が実行されます。

○○(お知らせ)○○

- セットトップボックスなどのIrシステムがDVDレコーダーに対応していることをご確認ください。
- Irシステムのリモコン種別「1,2…」は、本機のリモコンモード番号に合わせても機器が動作しない場合、動作する番号に合わせてください。
- 本機が動作中に予約登録を行うと、正しく登録されない場合があります。予約登録後は、予約内容を確認されることをおすすめします。
- 連動予約実行中に、本機で録画モード「DR」以外に設定した予約録画開始時刻になると、本機の予約録画が実行され、連動予約は中断されます。
連動予約を行うときは、本機で設定した予約の待機状態をすべて解除(本体表示窓の“(○)”消灯)しておくことをおすすめします。
(→右ページ)
- 連動予約の場合、セットトップボックスなどから連動予約の信号を受けて本機が起動するまでに時間がかかるため、番組の先頭部分が録画されない場合があります。セットトップボックス側で予約を設定する際に、録画開始時刻を多少早めに設定しておくことをおすすめします。

録画中の予約録画を止める

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、「HDD」を選ぶ

2 録画中の番組と異なる番組を見ていた場合は:

 を押して、録画中の番組を選ぶ

- 情報表示画面(→62)で録画表示が表示されている番組が現在録画中の番組です。現在テレビ画面に表示されている録画番組が、録画を止めたい番組であるか確認してください。(詳しくは→39「録画を一時停止する・止める」手順2)

3 停止 を押す

4 [◀]で「はい」を選び、決定 を押す

☞ 予約一覧画面から予約録画を止めるには [→下記「予約の実行をやめる(一時解除)」]

○○ お知らせ ○○

- 予約録画を止めると、予約一覧画面に「一部未実行」アイコンが表示されます。
毎日・毎週予約を設定している場合は、次回からの予約を新たに追加登録します。
- 予約登録がない場合やすべての予約が「予約実行切」になっている場合は、本体表示窓の“(○)”が消灯します。

予約内容の確認や取り消し、修正などをする

予約確認
 を押す

- 予約状況がアイコンで表示されます。(→137)
- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。

「予約を取り消す」や「予約の実行をやめる」などを行いたい場合は、以下に進んでください。



[▲][▼]で予約内容を選び、[消去/リセット]を押す

- 予約一覧から予約内容が消えます。
- 予約登録がない場合やすべての予約が「予約実行切」の場合は、本体表示窓の“(○)”が消灯します。

視聴制限一時解除
予約取り消し
予約実行切
履歴一覧表示

予約を取り消す

- ① [▲][▼]で予約内容を選び、[サブメニュー]を押す
- ② [▲][▼]で「予約実行切」を選び、[決定]を押す

- 予約内容に「予約実行切」アイコンが表示されます。
- もう一度[サブメニュー]を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。

- 「予約実行入」にしておかないと、予約録画は実行されません。
- すべての予約を「予約実行切」にすると、本体表示窓の“(○)”が消灯します。
- 予約録画実行中の番組を選んで上記の操作行った場合、録画が停止します。予約時間内であれば、もう一度[サブメニュー]を押して「予約実行入」を選ぶと、予約録画が再開されます。(ただし、別番組として録画されます)

暗証番号(→112)を入力して視聴制限を一時解除します。

- ① [▲][▼]で予約内容を選び、[サブメニュー]を押す
- ② 「視聴制限一時解除」が選ばれている状態で、[決定]を押す
- ③ 暗証番号を入力する

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

- ① [▲][▼]で予約内容を選び、[サブメニュー]を押す
- ② [▲][▼]で「履歴削除」を選び、[決定]を押す
- ③ [◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す

- ① [▲][▼]で予約内容を選び、[決定]を押す

- ② 「修正」が選ばれている状態で、[決定]を押す
(番組予約の場合は→45「詳細設定画面」へ)
(時間指定予約の場合は→47「時間指定予約画面」へ)

- 時間指定予約の場合、予約録画実行中の番組でも、録画モードが「FR」以外なら予約終了時刻の変更ができます。

予約内容を確認する

- 本体の電源が「切」の状態でも操作できます。

☞ 前の画面に戻るには

戻る
 を押す

☞ 画面を消すには

戻る
 を数回押す

予約録画する(つづき)

番組表(Gガイド)の便利な機能

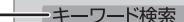
「ジャンル」や「キーワード」などから、録画したい番組を検索して予約録画をすることができます。

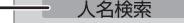
1 停止中に、を押す

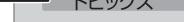
2 [▲][▼]で「他の機能へ」を選び、を押す

3 「番組表の検索」が選ばれている状態で、を押す

「ドラマ」「スポーツ」などのジャンルから番組を検索します。

「キーワード」から番組を検索します。

出演者から番組を検索します。

今夜の見どころなど、番組に関する情報を見ます。

トピックスから番組予約はできません。

検索機能を使う

4 [▲][▼]で検索方法を選び、を押す

5 [▲][▼]で検索したい項目を選び、を押す

- この操作を繰り返し、検索項目を絞り込みます。

 検索する放送を変更するには

[放送/入力切換]を押す

 別日の検索結果を表示するには

[赤](翌日)または[青](前日)を押す

例)「ジャンル検索」を選んだ場合の最初の画面



6 [▲][▼]で予約したい番組を選び、を押す(→44手順3へ)

○○  ○○

- 検索結果は、各放送の番組表(Gガイド)データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。

HDD・ディスクを再生する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V)
-RW(VR) -RW(V) DVD-V

準備

- ・テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- ・[電源]を押して、本機の電源を入れる。
- ・DVDを再生する場合は、再生可能なディスクを入れる。(→21)

記録済みのディスクを挿入すると、下記の画面が自動的に表示されます。



「再生ナビを表示」が選ばれている状態で、[決定]を押すと、52ページ手順3に進むことができます。

1 HDD/DVD/SD
VHS 切換 を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

2 再生 を押して、再生を始める

HDD:

最後に停止した位置から再生します。

RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V):

最初に記録された番組から再生します。

DVD-V:

ディスクが指定した位置から再生します。

- ・ただし、続き再生メモリー機能(→54「停止」)が働いている場合は、停止した位置から再生します。

メニュー画面が表示されたとき DVD-V

市販のDVDディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

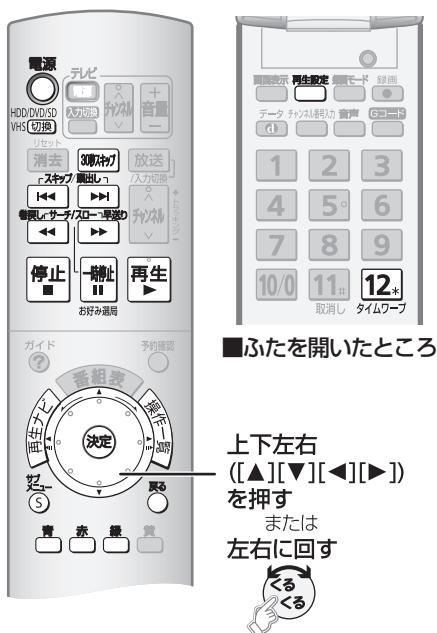


[▲][▼][◀][▶]で項目を選び、決定 を押す

☞ 再生の途中でメニュー画面を表示させるには

[再生ナビ]を押す

([サブメニュー]を押して、「メニュー」を選んで表示させることもできます)



☞ 録画しながら再生するには(→40)

○○ お知らせ ○○

- ・ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
- ・-R DL(VR) -R DL(V) は、層の変わり目で映像や音声が一瞬止まることがあります。(詳しくは→11)
- ・DRモードの番組の再生時、番組の切り替わり部分や、編集を行った部分、録画中に一時停止した部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。
- ・メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[停止■]を押して停止させてください。

SDカードのMPEG2動画の再生について

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を見るには、まずHDDなどにダビングしてください。(→78)

- ・SDカードから直接再生することはできません。

☞ 映像が縦に引き伸ばされているとき(4:3映像で記録されているとき)

初期設定「TVアスペクト」(→116)を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になります。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

録る
見る

予約録画する (つづき) / HDD・ディスクを再生する

HDD・ディスクを再生する(つづき)

再生ナビから再生する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

再生ナビを使うと、一覧表の中から見たい番組を選んで再生できます。

1 HDD/DVD/SD
VHS 切換 を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

2 メモリ を押す

☞ HDD RAM 「番組一覧」を表示するには

[青](ビデオ)を押す

3 番組を選び、決定 を押す



☞ まとめ アイコンの番組を選んだときは(HDDのみ)

まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

[▲][▼]で再生したい番組を選び、[決定]を押す

☞ 前後のページを表示するには

[◀◀] (前ページ)または[▶▶] (次ページ)を押す

●選んだ番組の再生が始まります。

ただし、続き再生メモリー機能(→54「停止」)が働いている場合は、停止した位置から再生します。

☞ 再生ナビ画面を消すには



まとめ表示と全番組表示について(HDDのみ)

再生ナビ画面などの番組一覧では、毎日・毎週予約で録画した番組をシリーズとして1つにまとめて表示する「まとめ表示」と、録画したすべての番組を一覧表示する「全番組表示」があります。

まとめ表示



S を押して
「全番組表示へ」
「まとめ表示へ」
を選び、決定 を押す

まとめ アイコンの
番組を選び、
決定 を押す

まとめ 番組内の番組を一覧表示します。



全番組表示



まとめ表示について

毎日・毎週予約で録画した番組は、番組一覧(まとめ表示)ではまとめて表示されます。連続ドラマなどの番組がまとめて表示されるので番組の検索に便利です。

まとめ番組のまとめを解除するには/番組を1つにまとめるには

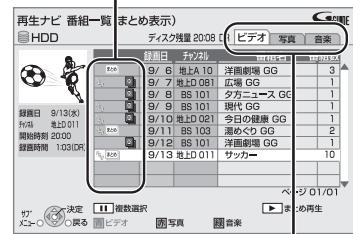
番組一覧のまとめ表示中に、「シリーズ解除」または「シリーズまとめ」を行ってください。(→右ページ)

まとめ再生について

まとめ アイコンの番組を選んで[再生▶]を押すと、まとめ 番組内の番組を連続再生します。

アイコン(詳しくは→136)

例) HDD



番組・写真・音楽の切り換え表示

再生ナビ画面では、番組・写真・音楽を別々に管理しています。それぞれを再生するには、切り換えが必要です。

[青]、[赤]、[緑]を押すと、切り換わります。

HDD ビデオ 写真 音楽

RAM ビデオ 写真

SD 写真 音楽

・ビデオ : 録画・記録した番組

・写真 : SDカードなどからダビングした写真

・音楽 : CDから録音した音楽

再生ナビ画面の便利な機能

再生ナビ画面では、サブメニューを使用して、番組の並び替えや他の画像への切り替えなどの操作が行えます。

再生ナビ画面上で、

1 サブメニューを押す

例) HDD のサブメニュー



2 [▲][▼]で項目を選び、決定を押す

(→右記へ)

- 「シリーズまとめ」を行う場合は、[一時停止II]を押して、まとめたい番組を2つ以上選んでから[サブメニュー]を押してください。

番組消去	番組を消去します。(→64)
内容確認	番組の内容を確認できます。(→64)
番組編集	番組の編集ができます。(→64)
シリーズまとめ HDD ●まとめ表示時のみ	[一時停止II]で選んだ番組を、[まとめ]番組として1つにまとめます。 [◀]で「シリーズまとめ作成」を選び、[決定]を押す
シリーズ解除 HDD ●まとめ表示時のみ	[まとめ]番組のまとめを解除します。 [◀]で「シリーズまとめ解除」を選び、[決定]を押す
並び替え HDD ●全番組表示時のみ	番組の表示順を項目ごとに並び替えます。 たくさんの番組の中から再生したい番組を探すときなどに便利です。 [▲][▼]で並び替えたい項目を選び、[決定]を押す ●再生ナビ画面を消すと、並び替えの情報は取り消されます。
全番組表示へ HDD	全番組表示とまとめ表示を切り替えます。
まとめ表示へ HDD	
写真／音楽へ HDD	「番組一覧」(ビデオ)、「アルバム一覧」(写真)、「音楽メニュー」(音楽)に画面を切り替えます。
写真へ RAM	(「写真／音楽へ」、「ビデオ／音楽へ」または「ビデオ／写真へ」を選んだ場合)
ビデオ／音楽へ HDD	[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す
ビデオへ RAM	●[青]、[赤]、[緑]を押して画面を切り換えることもできます。
ビデオ／写真へ HDD	

☞ 再生ナビ画面表示時に、右記の画面が表示されたとき

連続ドラマなどの毎日・毎週予約していた番組が終了し、新番組が開始されます。

毎日・毎週予約を続けると、再生ナビ画面上で以前の番組と新しい番組とが同じ[まとめ]番組になります。

予約一覧画面で「シリーズ終了」アイコンの表示がある番組を削除し、予約を登録し直すことをおすすめします。

予約番組のシリーズ終了のお知らせ

毎週予約で録画された番組名に“■”がありました。
次回以降の番組名が変わり番組追従できないことがあります。新番組の予約に登録し直すことをお勧めします。



プレイリストの再生

RAM [-R(VR)] [-R DL(VR)] [-RW(VR)]

他のDVDレコーダーなどで作成したプレイリストを再生することができます。本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

- 準備**
- 再生可能なディスクを入れる。(→21)
 - [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「DVD」を選ぶ。

1 停止中に、を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「プレイリスト」を選び、決定を押す

4 [▲][▼][◀][▶]で再生したいプレイリストを選び、決定を押す

- 選んだプレイリストの再生が始まります。

☞ 前後のページを表示するには

[◀◀] (前ページ) または [▶▶] (次ページ) を押す

●[▲][▼][◀][▶]で「前ページ」または「次ページ」を選び、[決定]を押してもページの切り替えができます。

☞ 前の画面に戻るには

戻る

☞ 画面を消すには

戻る

見る

HDD・ディスクを再生する (つづき)

HDD・ディスクを再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V

停止	 停止■を押す	続き再生メモリー機能	[停止■]を押すと、止めた位置を一時的に記憶します。	[再生▶]を押すと、止めた位置から再生します。	<ul style="list-style-type: none">●HDD: 番組ごとに止めた位置を記憶します。再生ナビから再生すると、番組の止めた位置から再生が始まります。●その他のディスク: ディスク全体で1か所のみ止めた位置を記憶します。●記憶した位置は、トレイを開けてディスクを取り出した場合解除されます。(HDDは除く)●電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合、記憶されません。
一時停止(静止画)	 一時停止■を押す お好み選局		<ul style="list-style-type: none">もう一度押す、または[再生▶]を押すと、再生を再開します。		
早送り・早戻し (サーチ)	 または  を押す		押すごとに、または押し続けると速度が速くなります(5段階)。	<ul style="list-style-type: none">マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。<ul style="list-style-type: none">1クリック回すごとに速度が速くなります(5段階)。速度を遅くすることはできません。[再生▶]で通常再生に戻ります。 (マルチジョグを反対方向に回しても戻ります)早送り1速時のみ音声が出ます。ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。	
スキップ	 または  を押す		押した回数だけ番組や場面を飛び越して再生します。	<ul style="list-style-type: none">HDD以下の場合以外では、[スキップ▶▶]を押しても飛び越して再生することはできません。([スキップ◀◀]のみ有効)<ul style="list-style-type: none">まとめ再生(→52)番組本編の音声がステレオ以外の番組(DRモードの番組を除く)	
早見再生 (1.3倍速)	 再生▶を約1秒以上押す		通常よりも速い速度で再生します。	<ul style="list-style-type: none">もう一度[再生▶]を押すと、通常再生に戻ります。RW(VR) -RW(V)ではできません。(ファイナライズしたあとでも、できません)DRモードの番組の場合、録画した放送の内容によっては部分的に早見再生が働かないときがあります。	
スロー再生	 または  を押す		押すごとに速度が速くなります(5段階)。	<ul style="list-style-type: none">マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。<ul style="list-style-type: none">1クリック回すごとに速度が速くなります(5段階)。速度を遅くすることはできません。マルチジョグを反対方向に回すと、一時停止に戻ります。[再生▶]で通常再生に戻ります。スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。 (DVD-Vは除く)	
コマ送り/コマ戻し	 または  を押す		押すごとに1コマずつ送り(戻し)します。	<ul style="list-style-type: none">押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。[再生▶]で通常再生に戻ります。	

<p>時間を指定して飛び越す (タイムワープ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • DVD-V は除く 	<p>1 [12*] (ふた内部)を押す タイムワープ</p> <p>2 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、[決定]を押す</p> <ul style="list-style-type: none"> •飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度 [タイムワープ/12*] を押してください。 •[▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。 <p>飛び越し時間表示 約5秒たつと 自動的に消えます。</p> 
<p>30秒先へスキップする</p> <ul style="list-style-type: none"> • DVD-V は除く 	<p>[30秒スキップ]を押す</p> <p>押すごとに、約30秒飛び越して再生します。</p>
<p>操作の状態を表示する (情報表示)</p>	<p>本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。</p> <p>☞ 操作方法については(→62)</p>
<p>画面モードを切り換える</p>	<p>上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。</p> <p>☞ 操作方法については(→28)</p>

HDD・ディスクを再生する(つづき)

再生設定

1 HDD/DVD/SD
VHS 切換 を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

2 再生設定 (ふた内部)を押す

•ディスクにより設定項目は異なります。

3 [▲][▼]で設定したいメニューを選び、
[▶]を押す

4 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す

5 [▲][▼]で設定を変える

•[決定]を押して設定変更を実行するものもあります。

設定を終了するには

[再生設定] (ふた内部)を押す

例) DVD-V

メニュー	設定項目	設定内容
ディスク	音声情報	1日 LPCM 48k 16b
再生	字幕情報	入 1日
映像	アングル	1
音声		

設定の基本操作

- マルチジョグの左回し/右回しで選ぶことはできません。

ディスク独自の機能を設定する(ディスク)

音声情報※

- DVD-V 音声や言語を選びます。(→下記「音声属性/言語」)
- HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
音声属性表示のみ

信号切換

- HDD (DRモードの番組のみ)
映像や音声などを切り替えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

- マルチビュー
- 映像
- 音声
- 二重音声
- 字幕(オン/オフ)
- 字幕言語(日本語/英語)

字幕情報※

- DVD-V 字幕表示の入/切や、言語を選びます。(→下記「言語」)
- HDD (DRモード以外の番組のみ)
RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
入/切のみ

[他機で録画したディスクなど、字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ切り換えられます。本機では、アナログ放送の字幕情報は記録されません。デジタル放送の字幕情報は、録画モード「DR」でHDDに録画する場合を除き、録画時の「字幕」の設定(→29,45)のまま記録され、再生時に入/切を切り換えることはできません。]

音声チャンネル

- HDD (DRモード以外の番組のみ)
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
音声(L/R)を切り替えます。

アングル※

- DVD-V アングルを選びます。

- ※ディスクに収録されているメニュー画面(→51)でのみ切り換えできるものもあります。
- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法を設定する(再生)

- リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
- 繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

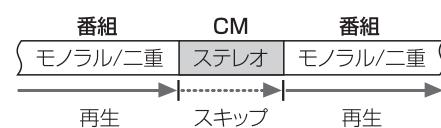
- 番組 : 番組全体
- タイトル : タイトル全体(DVDビデオなど)
- チャプター : チャプター
- プレイリスト : プレイリスト
- 全曲 : ディスク全体(選んだアルバムの全曲)
- 1曲 : 選んだ曲のみ

ランダム

- 順不同に再生します。(音楽の再生時のみ)
- 切
- 入

自動CM早送り

- HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) (音声が下記の場合のみ)
CMを自動的に飛ばして再生します。
・録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例: 下図のCM部分が5分以上の場合など



- 以下の場合は働きません。
- DRモードの番組
- 外部入力から録画した番組
- 設定した内容は電源を切っても保持されます。

〈音声属性〉

LPCM/□ Digital/DTS/MPEG/AAC:信号タイプ

ch:チャンネル数

k:サンプリング周波数(kHz)

b:ビット数(bit)

〈言語〉

日:日本語

英:英語

仏:フランス語

独:ドイツ語

伊:イタリア語

西:スペイン語

蘭:オランダ語

中:中国語

露:ロシア語

韓:韓国語

*:その他

好みの画質を設定する(映像)

画質選択

- **HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V**

映像ディスク再生時の画質を選びます。

DRモードの番組には、「シネマ」の設定は効果がありません。

- ▶ **ノーマル** :標準
- ▶ **ソフト** :ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン** :輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ** :映画鑑賞向け
- ▶ **ユーザー** :さらに画質を調整
 - [▶]で「詳細画質設定」を選び、[決定]を押す
 - ・コントラスト(白黒の強弱)
 - ・ブライトネス(画面全体の明るさ)
 - ・シャープネス(鮮やかさ)
 - ・カラー(色の濃さ)
 - ・ガンマ(暗くて見えにくい映像の輪郭)

HDオプティマイザー

- **HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V**

「入」を選ぶと、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ(→134)

プログレッシブ[525p(480p)]出力するかしないかを設定します。

- **初期設定**「D端子出力解像度」で「D2」～「D4」を選んでいる場合(→117)

プログレッシブ[525p(480p)]出力を入/切します。

- **初期設定**「HDMI映像優先モード」で「入」を選んでいる場合(→116)

プログレッシブ[525p(480p)]出力は「入」固定になります。

映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード[「プログレッシブ」(→上記)が「入」の場合のみ]

- プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- ▶ **Auto**(標準) :フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換します。

- ▶ **Video** :Autoでぶれが生じるとき

好みの音声効果を設定する(音声)

音質効果

- **HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V CD SD**

リマスター

(サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ)
記録時に失われた周波数信号を再現し、記録前の音声に近づけます。

- ・音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- ・再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。

サラウンド(2チャンネル以上の音声のみ)

フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。
・音声がひずむ場合、「切」にしてください。
・接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
・本機で録音した二重音声には働きません。
・**HDD CD SD** 音楽には働きません。

- ▶ **リマスター標準**
- ▶ **リマスター強**
- ▶ **サラウンド標準**
- ▶ **サラウンド強**
- ▶ **切**

シネマボイス

- **HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V**

(ドルビーデジタル、DTS、AACでセンターちゃんネルを含むディスクのみ)

セリフを聞き取りやすくします。

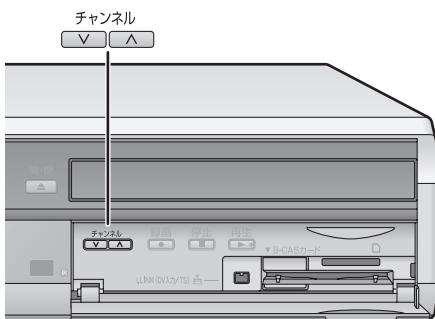
VHSを再生する

準備

- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- [電源]を押して、本機の電源を入れる。
- 記録済みのカセットを入れる。(→21)



■ふたを開いたところ



○○○お知らせ○○○

- 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“OFF”になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。(停止中、または録画モード「DR」でHDD録画中)
- カセットが入っているときは、電源が切れていても、[再生▶]を押すだけで再生を始めます。(電源を切る前に、VHS ドライブを選んでいたときのみ)
- 本機以外の機器で5倍モード(→72「VHS の録画モードについて」)で記録されたカセットは、再生できません。
- 5倍モードでダビングされたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。また、カセットによっては自動調整できないこともあります。このときは、手動でトラッキングを調整してください。(→61)

1

HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、「VHS」を選ぶ

- 押すごとに、ドライブが切り換わります。



- 表示が消えると、選ばれたドライブに切り換わります。

2

再生 を押して、再生を始める

録画モード「DR」以外での
HDD録画中は、再生できません。
早送り、巻き戻しの操作は可能です。



SQPB(S-VHS 簡易再生)機能

(SQPB= エスブイエッチエス クワジ プレイバック)

- S-VHS方式で録画されたSVHSカセットも再生することができます。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
- デジタル(D-VHS)方式で録画されたDVHSカセットは再生できません。

○○○お知らせ○○○

本機背面のD端子(D4まで)(→準備編 9)またはHDMI映像・音声出力端子(→準備編 10)と接続している場合、VHSの再生時も、プログレッシブ対応テレビで高画質の映像をお楽しみいただけます。(プログレッシブ→134)

○○○お知らせ○○○

- D端子(D4まで)と接続している場合で、初期設定「D端子出力解像度」を「D3」または「D4」に設定しているときでも、VHSの再生映像は「D2」で出力されます。(→準備編 28)

再生中のいろいろな操作

停止	 を押す
一時停止(静止画)	 を短く押す <small>お好み選局</small> <ul style="list-style-type: none"> もう一度押すと、再生を再開します。 音声は出ません。 5倍モードでダビングされた部分では画面が乱れます。 静止画再生を約5分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。
早送り/巻き戻し	停止中に、  または  を押す <ul style="list-style-type: none"> テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。 早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。 また、[停止■]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
早送り/ 巻き戻し再生	短く押すごとに速度が切り換わります。 標準のとき : 約9倍速↔約13倍速 3倍・5倍のとき : 約27倍速↔約43倍速 <ul style="list-style-type: none"> マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります(3段階)。速度を遅くすることはできません。 再生速度は、録画モード(→72[VHSの録画モードについて])によって異なります。 [再生▶]で通常再生に戻ります。 (マルチジョグを反対方向に回しても戻ります) [巻戻し◀◀][早送り▶▶]を押し続けるときは、指を離すと通常再生に戻ります。 音声は出ません。 13倍速(43倍速)にすると映像が乱れることがあります。 5倍モードでダビングされた部分は、43倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。 テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。 約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。
スロー再生	 を約2秒以上 <small>お好み選局</small> 押し続ける <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に、マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります。速度を遅くすることはできません。 右回し:スロー再生(3段階) 左回し:逆再生(逆スロー再生はできません) マルチジョグを反対方向に回すと、一時停止に戻ります。 [再生▶]で通常再生に戻ります。 音声は出ません。 5倍モードでダビングされた部分では画面が乱れます。 スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

VHSを再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作(つづき)

「**スキップ/頭出し**」
または
を押す

本機でカセットにダビングすると、ダビングの開始点で自動的に頭出しする信号が記録されます。これを使ってダビングを始めたところを頭出しちゃうことができます。

早送り(巻き戻し)を始め、押した回数だけ先の(前の)番組を再生します。

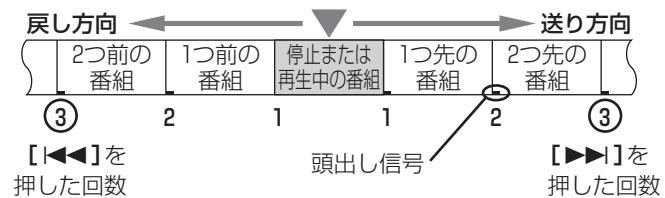
早送り方向…[**▶▶▶**]
巻戻し方向…[**◀◀◀**]



頭出し

○○ お知らせ ○○

- 最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 以下の場合に、頭出し信号が記録されます。
 - ・ダビングを始めたとき
 - ・複数番組のダビング時は、番組が切り替わったとき
- 頭出し信号どうしの間隔が短い場合は、正しく探せないことがあります。記録は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。
- 録画モード「DR」以外でのHDD録画中は、頭出しができません。



操作の状態を表示する(情報表示)

本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

☞ **操作方法については(→62)**

画面モードを切り換える

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

☞ **操作方法については(→28)**

きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るときは、次の3つの要素が考えられます。

① TRACKING(トラッキング)がずれている

(白い帯状のノイズが出るときなど)

② VIDEO HEAD(ビデオヘッド)が汚れている

(画面全体にノイズが出るときなど)

③ TAPE(テープ)がいたんでいる

ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となる恐れがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。



① TRACKING(トラッキング)を調整する

再生中に、
 ([へ]または[▽])
を押し続ける

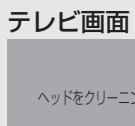
- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- [チャンネルへ,▽]を同時に押すと、自動調整に戻ります。
- 通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別の機器で録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でTRACKING調整を行ってください。
- 本体の[チャンネル▽,へ]でも調整できます。

② VIDEO HEAD(ビデオヘッド)をクリーニングする

乾式のVIDEO HEADクリーナー(別売)(→準備編 51)を入れ、
 を押して約10秒間
再生する

再生中、本体表示窓に“U11”が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。



ヘッドをクリーニングしてください

- 約10秒後に[停止■]を押してください。(テープカウンターは動きません。約10秒程度をめやすに、再生を停止させてください。)
- このあと、記録済みのカセットを入れて再生してみてください。
- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるとき

静止画再生中に、
 ([へ]または[▽])
を押し続ける

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- [チャンネルへ,▽]を同時に押すと、元の状態に戻ります。



- 本体の[チャンネル▽,へ]でも調整できます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)

操作の状態を表示する(情報表示)

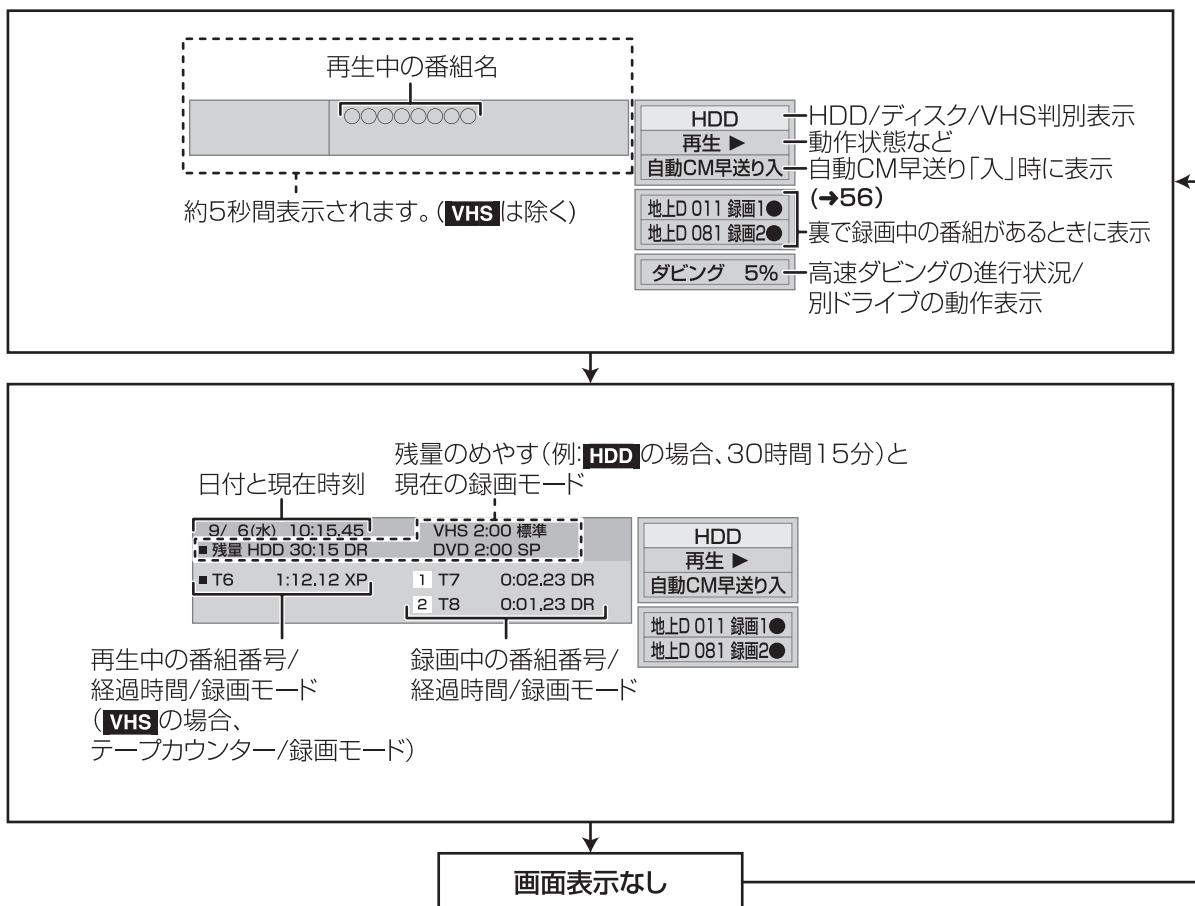
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V VHS

本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示(ふた内部)を押す

●押すごとに切り換わります。

例) HDD



●HDDまたはディスクの残量表示について

・記録する入力信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。

●VHSの残量表示について

・テープ残量は、再生などの操作をしたあとに計算されます。カセットを入れた直後などは表示されません。また、多少時間がかかることがあります。

・次の場合は、正しい表示になりません。

- 初期設定「テープ長さ」(→114)を正しく合わせていないとき

- 品質の悪いカセットを使ったとき

●VHSの再生時は、[リセット/消去]を押すと、テープカウンターの値が「0:00.00」になります。

音声を切り換える

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) DVD-V VHS

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

- デジタル放送で切り換えることのできる音声の種類と数は、番組により異なります。
- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

2カ国語オート再生機能について

- 次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。

- [音声]を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります。)
- HDD 初期設定**「外部入力の音声」(→115)を「ステレオ」にして外部入力から録画した番組を再生中
- VHS** 本機または当社製の同機能付きビデオで記録していない番組を再生中
- VHS** 番組の途中から再生を始めたとき

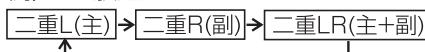
この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは[音声]で音声を選んでください。

放送受信時

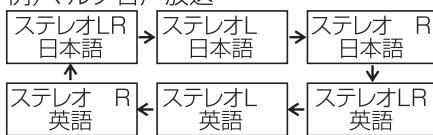
音声 (ふた内部) を押す

- 押すごとに、放送の内容によって切り换わります。

例) 二重放送



例) マルチ音声放送



- デジタル放送のマルチ音声の場合、「信号切換」(→29)で音声を切り換えることもできます。

○○ お知らせ ○○

- 初期設定**「高速ダビング用録画」(→114)が「切」になつていないと、アナログ放送の音声を切り換えることができません。(お買い上げ時の設定は「入」です)
- 録画中に[音声]を押しても、記録される音声に影響はありません。
- 録画モードが「XP」で、**初期設定**「XP時の記録音声モード」(→115)が「LPCM」になっているとき、音声を切り換えることはできません。

再生時

音声 (ふた内部) を押す

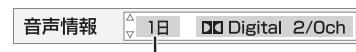
- HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) DVD-V**:

押すごとに、収録されている内容によって切り換わります。

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)



DVD-V



- VHS**: 記録した番組の音声が切り換わります。

ステレオの番組:



二重放送:



モノラルの番組:



- HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) VHS**

二重放送の主、副両音声を録画・ダビングした場合は、主音声が「L」、副音声が「R」に記録されています。
押すごとに切り換わります。

○○ お知らせ ○○

- DVD-V** ディスクに複数の言語が収録されていない場合や、ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

番組を編集する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

(ファイナライズしたディスクでは編集できません。ただし、-R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) は、ファイナライズ後でも「内容確認」のみできます。)

- ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。お気をつけください。
- 録画やダビング中に「部分消去」、「サムネイル変更」、「番組分割」はできません。
- カセットに記録された番組は表示されません。



-R(VR) -R DL(VR)

編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、その後 -R(VR) -R DL(VR) にダビングすることをおすすめします。

- 準備**
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい映像が入っているドライブ（「HDD」または「DVD」）を選ぶ。
 - ディスクやカートリッジの誤消去防止設定（プロテクト）を解除しておく。（→105）

1 再生中または停止中に、 を押す

☞ HDD RAM

「番組一覧」を表示するには

[青]（ビデオ）を押す

例) HDD



2 編集する番組を選び、 を押す

☞ まとめ

番組内の番組を編集するには

- ① [▲][▼]で編集する番組のある「まとめ」アイコンの番組を選び、[決定]を押す
- ② [▲][▼]で編集する番組を選び、「サブメニュー」を押す

☞ 前後のページを表示するには

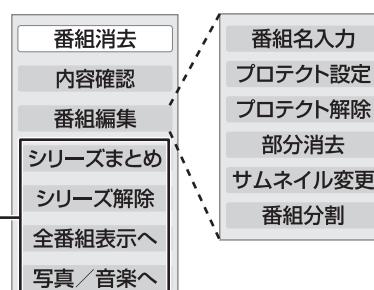
[◀◀]（前ページ）または[▶▶]（次ページ）を押す

☞ 複数の番組をまとめて編集するには

[▲][▼]で番組を選び、[一時停止II]を押す操作を繰り返す

- が表示されます。もう一度[一時停止II]を押すと解除されます。

例) HDD



操作方法は→53
「再生ナビ画面の
便利な機能」

3 編集する項目を選び、 を押す（→右記へ）

- 「番組編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

☞ 前の画面に戻るには

戻る
を押す

☞ 画面を消すには


を押す

番組を消す

番組消去

内容を確認する

内容確認

番組名を付ける

番組名入力

誤消去防止の
設定/解除

プロテクト設定 / 解除

HDD RAM -R(VR)

-R DL(VR) -RW(VR)

番組の不要な部分を
消す

部分消去

HDD RAM -R(VR)

-R DL(VR) -RW(VR)

トップメニューで
表示される画像
(サムネイル)を
変更する

サムネイル変更

番組を2つに
分割する

番組分割

HDD RAM -R(VR)

-R DL(VR) -RW(VR)

消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、**決定**を押す

☞ 消去後のディスク残量については(→102)

番組名、録画日、チャンネルなどの確認ができます。

☞ 画面を消すには

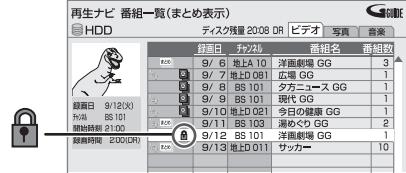
[決定]を押す

☞ 文字入力については(→107)

大切な記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロジェクト)の設定または解除ができます。

[◀]で「プロジェクト設定」または「プロジェクト解除」を選び、**決定**を押す

- プロジェクト設定すると「」が表示されます。(まとめ)アイコンの番組を選んでプロジェクト設定した場合は、(まとめ)番組内の番組を一覧表示した画面に「」が表示されます)



記録した番組の消したい部分を指定して消去します。

1 「イン点」が選ばれている状態で、消去する部分の開始点で**決定**を押す※

2 「アウト点」が選ばれている状態で、消去する部分の終了点で**決定**を押す※

3 [▲][▼]で「終了」を選び、**決定**を押す

☞ 続けて別の不要な部分を消去するには

「次へ」が選ばれている状態で、[決定]を押す(手順4を行ったあと、手順1へ)



4 [◀]で「消去」を選び、**決定**を押す

ファイナライズ後のトップメニュー画面で表示される画像を変更することができます。

1 再生を押して、再生を始める

2 「変更」が選ばれている状態で、お好みの場面で**決定**を押す※

☞ 場面を選び直すには

- ① [▲][▼]で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
- ② お好みの場面で、[決定]を押す



3 「終了」が選ばれている状態で、**決定**を押す

分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

1 「分割」が選ばれている状態で、分割する場面で**決定**を押す※

☞ 分割する場面を確認するには

- 「プレビュー」が選ばれている状態で、[決定]を押す
- 分割する場面の前後10秒間に再生されます。

☞ 分割する場面を選び直すには

- ① [▲][▼]で「分割」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
- 分割する場面で、[決定]を押す



2 [▲][▼]で「終了」を選び、**決定**を押す

3 [◀]で「分割」を選び、**決定**を押す

- 分割した番組は、まとめ表示では(まとめ)アイコンの番組になります。

- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」(→上記)で確認のうえ、実行してください。

- 番組名(→上記)や録画禁止などの情報は、分割した番組の両方に反映されます。

※編集中の便利な機能(編集したい場面を探すのに便利です)

- 早送りやスロー再生、タイムワープなど(→54,55)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。

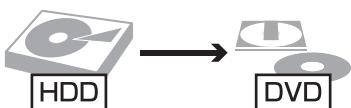
番組のダビングについて

本機では、以下の3種類から番組のダビング方法が選べます。(写真のダビングは→90)

再生中番組のDVD保存

HDDで再生中の番組を、DVDへダビングすることができます。
複数の音声や映像などが含まれるDRモードの番組の場合、ダビングする映像・音声などを選ぶことができます。

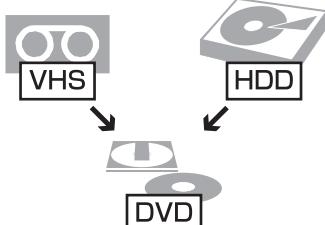
ダビングできる方向



おまかせダビング

ダビングの操作手順を音声ガイドが案内してくれます。音声ガイドに従って操作するだけなので、難しい設定なしに、HDDまたはVHSにある番組を簡単にダビングできます。

ダビングできる方向

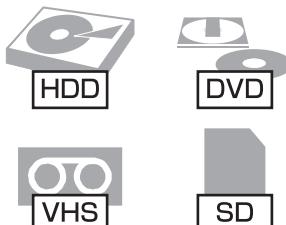


※DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWにダビングする場合、ダビングを終了したあと自動的に、ファイナライズまで行います。

詳細ダビング

お好みの設定で番組のダビングを行うことができます。
リストを作りダビングする方法と、録画時間を指定してダビングする方法があります。

ダビングできる種類



Q 何から何へダビングする?

Q どんなダビングがしたい?

A おすすめのダビング方法は…



マークの見かた

ダビング速度 **高速OK** 高速でダビングすることができます。
(高速でダビングできない場合→69)

1倍速 番組の記録時間またはそれ以上の時間がかかります。

自動CM早送り **CM早送り** 録画モードが「高速」以外のときに、番組のCMを飛ばしてダビングすることができます。

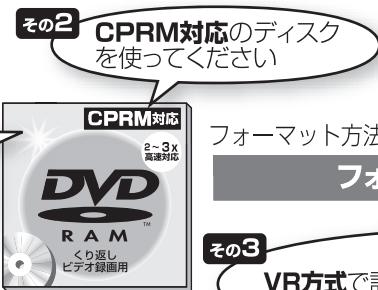
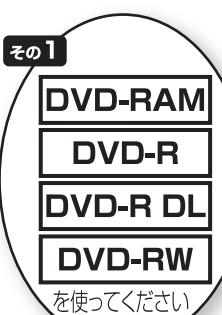
DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWにダビングするとき
ファイナライズの実行 **ファイナライズ 自動** ダビングのあと自動でファイナライズします。
ファイナライズ 選択 ダビングのあとファイナライズを行うか選択できます。

「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」は選べません。背景の色や再生方法を設定したい場合は、ダビングする前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(→106)

ハイビジョン画質のまま
ダビングはできません

録画モード「DR」で録画したハイビジョン画質の番組
をそのままの画質でダビングすることはできません。

? デジタル放送をディスクにダビングするには



フォーマット方法については(→105)

フォーマット

その3 VR方式で記録できるようにしてください

デジタル放送
を記録するには
フォーマットが
必要なんだね。



? ファイナライズとは

記録したディスクを他のDVD機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。※

※再生する機器が、ファイナライズしたディスクの再生に対応している必要があります。

-R(VR) -R(V) -R DL(VR)
-R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

ダビング後、ファイナライズを行うと、
他のDVD機器でも再生できます。※



Q 何から何へダビングする?

Q

どんなダビングがしたい?

A おすすめのダビング方法は…



★いくつかの番組を組み合わせてダビングする

リストを作ってダビング →76

高速OK



ダビングできません

リストを作ってダビング →76

1倍速

CM早送り



★ディスクの内容をすべてダビングする
★指定した時間だけダビングする

時間を指定してダビング →80

1倍速



★MPEG2動画をダビングする

リストを作ってダビング →78

高速OK

★MPEG2動画をダビングする
DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWにVR方式で記録するには、記録前にフォーマットが必要です。(→105)

リストを作ってダビング →78

高速OK

ファイナライズ選択

番組のダビングについて(つづき)

ダビング Q&A

Q(質問)	A(回答)												
こういうときはどのダビングで行けばいいですか?													
ダビング先のディスク残量が気になるとき	<p>詳細ダビングです。</p> <p>録画モードを変更してダビングすれば、ダビング先の容量に合わせてダビングできます。</p> <p>録画モードを「FR」にしてダビングすると、ディスク残量ぴったりに画質を自動で調節して記録します。ただし、何番組かをまとめてダビングする場合、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。(劣化防止にはなります) 												
複数の映像や音声を含んだDRモードの番組をダビングするとき	<p>再生中番組のDVD保存でDVDへダビングしてください。</p> <p>DVDまたはVHSには映像や音声を1つしかダビングできません。「再生中番組のDVD保存」だと、ダビングしたい映像や音声を選んだ状態でDVDへダビングできます。</p>												
カセットの未記録部分を飛ばしてダビングしたいとき	<p>おかげダビングをおすすめします。</p> <p>ディスク残量ぴったりになるように画質を調整しながら、カセットに録画されている部分のみをDVDへ記録できます。</p> <p>HDDにダビングしたいときなどは、「録画時間を指定してダビングする」(詳細ダビング)で、録画モードを「FR」、「時間設定」を「切」にしてダビングしてください。(→80)</p>												
番組のCMを飛ばしてダビングしたいとき	<p>詳細ダビングです。</p> <p>録画モードを「高速」以外に設定したときに実行できます。[DRモードの番組をダビングするとき、またはカセット、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)からダビングするときは働きません]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分以上のCMには働きません。 ・番組の一部をCMとまちがえて、ダビングされない場合があります。 <p>デジタル放送などの移動される番組(→下記)では、元の番組が消されてしまうため、元に戻すことができません。CMを「部分消去」(→64)で消してから、「切」(→76「詳細設定」)でダビングすることをおすすめします。</p>												
デジタル放送の番組をダビングするとき、気をつけることは?													
デジタル放送の番組をHDDからディスクへダビングすると、HDDの番組が消去されるって本当ですか?	<p>HDDの番組は消去されます。</p> <p>「1回だけ録画可能」の番組は、HDDからCPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) へ移動できます。(HDDからは消去されます)複製はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVDディスクからHDDへの移動はできません。 ・RAM -R(VR) -RW(VR) にダビング(移動)する場合は、当社製のCPRM対応のディスクのご使用をおすすめします。 												
デジタル放送の番組は、カセットにもダビングできますか?	<p>ダビング(複製)できます。</p> <p>ただし、「1回だけ録画可能」の番組をカセットへダビングすると、コピー制御信号が合わせて記録されます。再度、HDDやディスクへダビング(複製)するときは、コピー制御信号が記録された部分はダビング(複製)されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カセットにダビングする場合、マクロビジョン(著作権保護技術)信号により正常にダビングできないことがあります。 												
ハイビジョン画質やサラウンド音声をそのままダビングできますか?	<p>画質や音声をそのままダビングすることはできません。以下のようにダビングされます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>DRモードの番組</th> <th>ダビング後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハイビジョン画質の映像</td> <td>アナログ放送の録画画質に変換されてダビング</td> </tr> <tr> <td>サラウンド番組の音声</td> <td>ステレオ音声でダビング</td> </tr> <tr> <td>複数の映像が含まれている番組</td> <td>映像は1つだけダビング</td> </tr> <tr> <td>複数の音声が含まれている番組</td> <td>音声は1つだけダビング</td> </tr> <tr> <td>字幕情報が含まれた番組</td> <td>再生時、字幕表示の入/切はできない</td> </tr> </tbody> </table>	DRモードの番組	ダビング後	ハイビジョン画質の映像	アナログ放送の録画画質に変換されてダビング	サラウンド番組の音声	ステレオ音声でダビング	複数の映像が含まれている番組	映像は1つだけダビング	複数の音声が含まれている番組	音声は1つだけダビング	字幕情報が含まれた番組	再生時、字幕表示の入/切はできない
DRモードの番組	ダビング後												
ハイビジョン画質の映像	アナログ放送の録画画質に変換されてダビング												
サラウンド番組の音声	ステレオ音声でダビング												
複数の映像が含まれている番組	映像は1つだけダビング												
複数の音声が含まれている番組	音声は1つだけダビング												
字幕情報が含まれた番組	再生時、字幕表示の入/切はできない												

Q(質問)	A(回答)									
高速ダビングと1倍速ダビングの違いは?	高速ダビングは… ダビングする番組の記録時間よりも短い時間でダビングします。画質(録画モード)を変えずに、すばやくダビングすることができます。(HDD、DVD間のダビングのみ)									
ダビング中に録画や再生はできますか?	1倍速ダビングは… ダビングする番組の記録時間と同じ時間、またはそれ以上の時間をかけてダビングします。録画モードを選んでダビングすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ●ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。(劣化防止にはなります) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">高速ダビング</th> <th style="text-align: center;">1倍速ダビング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「サムネイル変更」の保持</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="radio"/></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>ダビング中の録画・再生</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="radio"/>*</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table> <p>* HDDの番組のみ可能です。(ただし、おまかせダビング中やファイナライズを含むダビング中、SDカードのMPEG2動画をダビング中はできません) ・追っかけ再生などはできません。 ・写真や音楽の再生はできません。</p>		高速ダビング	1倍速ダビング	「サムネイル変更」の保持	<input checked="" type="radio"/>	×	ダビング中の録画・再生	<input checked="" type="radio"/> *	×
	高速ダビング	1倍速ダビング								
「サムネイル変更」の保持	<input checked="" type="radio"/>	×								
ダビング中の録画・再生	<input checked="" type="radio"/> *	×								
高速でダビングできないのはどんな場合?	下記の場合、1倍速でのダビングになります。 <ul style="list-style-type: none"> ●DRモードの番組をダビングする場合 DRモードの番組は、初期設定「高速ダビング用録画」(→114)を「入」にして録画しても、高速でダビングできません。 <ul style="list-style-type: none"> ●-R(V) -R DL(V) -RW(V) に下記のようにダビングする場合 ●初期設定「高速ダビング用録画」(→114)を「切」にして、HDDに記録した番組を含むダビング ●部分消去を繰り返した番組 ●SDカードのMPEG2動画をHDDにダビングした番組 <ul style="list-style-type: none"> ●詳細ダビングで「録画モード」を「高速」以外にした場合 ●VHSを含んだダビングをする場合 HDD/DVDからVHSへ、またVHSからHDD/DVDへのダビング時は、高速でダビングできません。									

高速でのダビング所要時間のめやす(最高速時/JEITA測定基準によるダビング時間と倍速表示値を示す)

HDD		5X高速記録対応 DVD-RAM		16X高速記録対応 DVD-R ^{※1}		4X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層)		4X高速記録対応 DVD-RW ^{※2}	
録画モード	録画時間	所要時間	倍速	所要時間	倍速	所要時間	倍速	所要時間	倍速
XP		約12分	約5倍	約5分46秒	約10倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍
SP		約6分	約10倍	約2分30秒	約24倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍
LP		約3分	約20倍	約1分17秒	約47倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍
EP(6時間)		約2分	約30倍	約55秒	約66倍	約2分30秒	約24倍	約2分30秒	約24倍
EP(8時間)		約1分30秒	約40倍	約45秒	約80倍	約1分53秒	約32倍	約1分53秒	約32倍
▶ 1時間									

1時間の番組をHDDに録画し、表に記入した高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合のダビング速度の最速値です。
 ディスク上の書き込み位置やディスクの特性などの条件により時間や速度が変わります。

※1 本機では16X高速記録対応DVD-Rを使用しても、最大12Xの速度でダビングします。

※2 本機では6X高速記録対応DVD-RWを使用しても、最大4X高速記録対応DVD-RWの速度でダビングします。

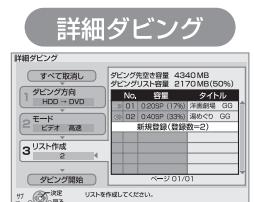
●ダビング中にHDDの録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

高速記録対応ディスク(RAM 5X、-R(VR) -R(V) 8X以上など)に高速ダビングする場合

動作音が気になるときは、初期設定「DVDの高速ダビング速度」(→114)を「静音モード」にしてください。ただし、ダビングにかかる所要時間は長くなります。

番組のダビングについて(つづき)

ダビング Q&A(つづき)

Q(質問)	A(回答)						
<p>-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングできない、VHSからダビングできない、またはダビングに時間がかかるのはなぜ？</p>	<p>●以下の場合、1倍速で番組をHDDに一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速モード以外でダビングする場合 ・VHSからDVDへダビングする場合 <p>ダビング後、一時に複製したHDDの番組は消去されます。以下の場合、上記のダビングはできません。HDDの不要な番組を消去(→102)してからダビングしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HDDの残量が少ないと(使用するディスクによっては、HDDの残量がSPモードで最大4時間必要な場合があります) ・HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超えるとき <p>●-R DL(VR) -R DL(V) 2層にまたがって記録された番組は、再生時に層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。(→11)</p>						
<p>ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？</p>	<p>例) 番組A・B・Cの順にダビングして 番組Cの途中で中止した場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">番組 A</td> <td style="padding: 5px;">番組 B</td> <td style="padding: 5px;">番組 C</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">ダビング完了</td> <td style="padding: 5px;">ダビング完了</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">中止</td> </tr> </table> <p>高速 番組A・Bのみダビングされます。</p> <p>1倍速 番組A・Bと番組Cの途中までがダビングされます。 ただし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HDDからDVDへのダビングで、番組Cが「1回だけ録画可能」の番組の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・番組Cはダビング(移動)されず、HDDに残ります。 ・HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合 <ul style="list-style-type: none"> ・[HDDに一時に複製中(→上記)のとき]番組A・B・Cはダビングされません。 ・[ディスクに高速ダビング中(→上記)のとき]番組Cはダビングされません。 ・VHSからDVDへダビングする場合 <ul style="list-style-type: none"> ・[HDDに一時に複製中(→上記)のとき]番組A・B・CはDVDへダビングされません。 ・HDDに番組A・Bと番組Cの途中までが複製されます。※ ・[ディスクに高速ダビング中(→上記)のとき]番組CはDVDへダビングされません。 ・HDDに番組A・B・Cが複製されます。※(ただし、番組Aが「1回だけ録画可能」の番組の場合は、HDDには番組B・Cのみが残ります) <p>※ HDDからDVDへダビングし直すことができます。 HDDの再生ナビ画面で、チャンネルが「VHS」の番組を選び、内容をご確認のうえ、ダビングすることをおすすめします。</p>	番組 A	番組 B	番組 C	ダビング完了	ダビング完了	中止
番組 A	番組 B	番組 C					
ダビング完了	ダビング完了	中止					
<p>-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) に高速ダビングする場合、番組Cがダビングされていない場合でも、番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、ディスク残量は減ります。</p>							
<p>ダビング中に予約録画の開始時刻になるとどうなる？</p>	<p>高速 予約録画が実行されます。 (ただし、おまかせダビング中、ファイナライズを含むダビング中は実行されません)</p> <p>1倍速 予約録画は実行されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダビング中のため予約録画が実行されなかった場合、ダビング終了後の時間から、予約録画は開始されます。 						
<p>複数の番組を組み合わせてダビングする場合、ダビングされる順番はどうなる？</p>	<p>おまかせダビング</p>  <p>画面の上から順にダビングされます。 (登録した順にダビングはされません)</p> <p>詳細ダビング</p>  <p>画面の上から順にダビングされます。</p> <p>●好みの順にダビングしたい場合は、「詳細ダビング」で1つずつ番組を登録してください。</p>						
<p>HDD/DVDへ複数の番組をダビングしたあと、再生するには？</p>	<p>再生するときは、[再生ナビ] を押して番組を選んで再生してください。(→52)</p>						

ダビングにかかる制限について

本機では、HDDまたはディスクにワイド放送や二重放送の番組をダビングするとき、使用するディスクや設定によって、以下のような制限がかかります。

- **-R(V) -R DL(V) -RW(V)** にダビングする場合
- 初期設定「高速ダビング用録画」(→114)を「入」にして、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)からHDDにダビングする場合
- 初期設定「高速ダビング用録画」(→114)を「入」にして、VHSからHDDにダビングする場合



16:9映像や4:3映像の番組のダビング

初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」(→114)の設定に従って記録されます

- VHSからダビングする場合

設定を「オート」にしているときは、4:3で記録されます。16:9映像を記録したカセットをダビングするときは、「16:9」に設定してダビングすることをおすすめします。
(お買い上げ時の設定は「オート」です)

主・副両音声を記録した番組のダビング



- **-R(V) -R DL(V) -RW(V)** にダビングする場合

- 初期設定「高速ダビング用録画」(→114)を「入」にして、VHSからHDDにダビングする場合

- 初期設定「XP時の記録音声モード」(→115)を「LPCM」にし、XPモードで、1倍速でダビングする場合



どちらか一方のみ記録されます

ダビング前に初期設定「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。(→115)

- VHSからダビングする場合

二重放送の番組の途中からダビングを始めたときは、その二重放送の間は正しく働きません。CMがモノラル放送またはステレオ放送で、次の音声が二重放送に切り換わったときに正しく働きます。



- 当社製の自動CM早送り機能付きビデオで録画していないカセットなどの場合は、そのままでダビングすると、主・副両音声が記録され、再生時に音声が混ざって聞こえます。

ダビング前にVHS側で[音声]を押して、記録したい音声に切り換えておいてください。

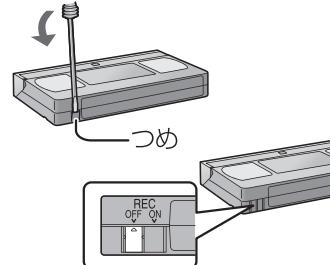
番組のダビングについて(つづき)

VHSを含んだダビングについて

本機では、**VHS**、**SVHS**、**DVHS**マークの付いたカセットにダビングできます。

記録済みの番組を誤って消さないために

- 誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
再び記録できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)
- 誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて“OFF”にしてください。“ON”に戻すと、再び記録できます。
- カセットの説明書もよくご覧ください。



VHSの録画モードについて

標準：カセットに表示されている時間の記録ができます。

3倍：標準に対して3倍の記録ができます。

5倍：標準に対して5倍の記録ができます。

- 本機で5倍モードでダビングしたカセットは、他のビデオでは再生できません。
カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- 5倍モードでダビングした番組を、再びHDDやディスクにダビングすると、ノイズが入る場合があります。
- 他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードでダビングすることをおすすめします。

HDD/DVDからVHSへダビングすると、1つの番組ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます
ダビング後は、番組を頭出し(→60)して探すことができます。

VHSからHDD/DVDへダビングすると、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して記録します

ダビング後は、再生ナビ画面(→52)から番組を探すことができます。

- 約15分(5倍モード時は約25分)以内の番組の場合は、正しく分割されない場合があります。
- 頭出し信号の数によっては、記録時間が実際よりも多少長くなる場合があります。
- 分割動作をする際、テープの巻き戻し画面になる場合があります。

ダビングの種類や設定によって、頭出し信号の書き込み/番組分割しない場合もあります(→下記)

HDDへダビングするときは

HDDへダビングした番組を、あとでHDDから **-R(V)**、**-R DL(V)**、**-RW(V)** に高速モードでダビングしたい場合は、初期設定「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。
(お買い上げ時の設定は「入」です)

VHSを含んだダビング中の動作やダビング中にできる操作には、ダビングの種類、方向などによって以下のような違いがあります。

	おまかせダビング	ダビングリストを作成してダビング	録画時間を指定してダビング	
ダビング方向	VHS → DVD	HDD → VHS DVD → VHS	VHS → HDD VHS → DVD	DVD → VHS
頭出し信号の書き込み/番組分割	○	○	○※ (「時間設定」が「切」の場合のみ)	×
[チャンネルへ、▽]による トラッキング調整(→61)	○	×	○	×

* 番組分割しないでダビングしたいときは、「時間設定」を「入」にしてダビングしてください。(→81「ダビング時間」)

ただし「時間設定」を「入」にした場合は、番組は分割されませんが、頭出し信号を検出するごとに場面が区切られます。ダビング後は、スキップ(→54)を使って場面を飛び越すことができます。

番組をダビングする

再生中番組のDVD保存

HDDに録画した番組を再生中に、ディスクへダビングすることができます。(再生中の番組を1つだけダビングします)

ダビング方向: HDD → RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

準備

- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「HDD」を選ぶ。
- ダビング可能なディスクを入れる。(→21)
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

☞ 前の画面に戻るには

戻る
を押す

☞ ダビング中にHDDの録画や再生をするには(高速でダビング時のみ)

決定を押して確認画面を消したあと、録画・再生の操作をする

- [画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

☞ ダビングを実行中に中止するには

戻る
を3秒以上押す

基本操作



1 ダビングしたい番組を再生する

- [一時停止II]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

☞ 複数の映像や音声、字幕情報を含むDRモードの番組をダビングするとき(→下記)

ディスクには、再生されている内容しかダビングできません。ダビング後は、映像・音声の切り替えや字幕の入/切はできなくなります。

2 サブメニューを押す

3 「再生中番組のDVD保存」を選び、決定を押す

4 「保存開始」を選び、決定を押す

- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

「再生中番組のDVD保存」時のダビング速度と録画モードについて

ダビング速度と録画モードは下記のように設定されます。

ダビング方向	ダビングする番組	DRモードの番組	DRモード以外の番組	
			初期設定「高速ダビング用録画」を「入」で録画した番組	初期設定「高速ダビング用録画」を「切」で録画した番組
HDD → RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	1倍速(録画モードは「FR」)		高速(録画モードはダビング元と同じ)	1倍速(録画モードはダビング元と同じ)
HDD → -R(V) -R DL(V) -RW(V)			高速(録画モードはダビング元と同じ)	1倍速(録画モードはダビング元と同じ)

ダビング先のディスク容量を超える場合は、1倍速(録画モードは「FR」)になります。

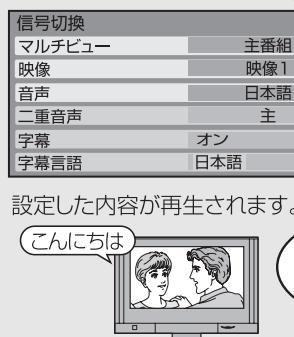
複数の映像や音声、字幕情報を含むDRモードの番組をダビングするとき

☞ ダビングする音声などの内容を変更するには

再生設定「信号切換」(→56)で、ダビングしたい内容を選ぶ



再生設定「信号切換」でダビングしたい内容を選ぶ



設定した内容がダビングされます。



ダビング



映像や音声は1つしかダビングできないんだね。

字幕表示の入/切もできなくなるよ。

番組をダビングする(つづき)

おまかせダビング

ダビング方向: **HDD** → **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)**

HDDに録画された複数の番組を組み合わせて、ディスクにダビングすることができます。

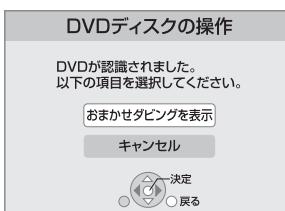
VHS → **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)**

カセットに録画されている部分(未記録部分はダビングしません)だけすべてを、ダビングすることができます。

準備

- ・ダビング可能なディスクを入れる。(→21)
- ・カセットを入れる。(→21)
- ・ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

未記録のディスクを挿入すると、下記の画面が自動的に表示されます。



HDDからDVDへのおまかせダビングを行う場合は、「おまかせダビングを表示」が選ばれている状態で、[決定]を押すと、右記の手順4に進むことができます。

- ・VHSからDVDへのおまかせダビングを行う場合は、[戻る]を押し、右記の手順1から操作してください。

○○ お知らせ ○○

・ダビング容量について

- (ダビング先に記録される容量)
管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
・おまかせダビング中は、録画や再生はできません。

☞ 前の画面に戻るには



☞ ダビングを実行中に中止するには



- ・ファイナライズ中は中止できません。
- ・ダビングを中止した場合は、ファイナライズも実行されません。

☞ 音声ガイドを止めるには

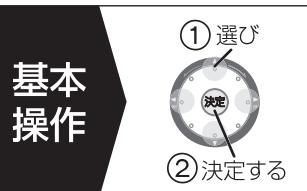
- 初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(→113)

-R(VR) **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)** にダビングする場合、自動的にファイナライズ(→133)を行い、再生専用ディスクを作成します。

他のDVD機器でも再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

新品のディスクなどにダビングする場合、自動的にフォーマット(→133)を行います。(フォーマットされる記録方式については → 右ページ)

-RW(VR) ファイナライズ後のディスクでも、自動的に「ファイナライズ解除」(→106)を行ってダビングします。



1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、「HDD」または「VHS」を選ぶ

- ・HDDからダビングするときは「HDD」を、VHSからダビングするときは「VHS」を選んでください。

2 停止中に、 を押す

3 「ダビングする」を選び、決定を押す

4 HDDからダビングする場合:

ダビングしたい番組を選び、決定を押す

☞ おまかせダビングの便利な機能(→右ページ)

☞ アイコン表示については(→136)

VHSからダビングする場合:

手順 5へ

5 「ダビング開始」を選び、決定を押す

- ・ダビングが開始されます。

・ダビング終了後、引き続きファイナライズを行う場合、ファイナライズに数分から最大約15分(**-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(VR)** 最大約60分)かかります。

・VHSからのダビングの場合、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。(ダビング準備の進行状況を示す画面の背景が黒になりますが、故障ではありません)



おまかせダビングの便利な機能(HDDからダビングする場合のみ)

おまかせダビング画面が表示されているとき 例)まとめ表示



☞ 前後のページを表示するには
[◀◀] (前ページ)または [▶▶] (次ページ)を押す

☞ 複数の番組をまとめて登録するには

- [▲][▼]で番組を選び、
[一時停止II]を押す操作を繰り返す
- が表示されます。
もう一度[一時停止II]を押すと解除されます。

1 [▲][▼]で番組を
選び、
 を押す

例) 全番組表示
内容確認
並び替え
まとめ表示へ

2 [▲][▼]で項目を
選び、
 を押す

まとめ 番組内の 番組を選ぶ

- ① [▲][▼]で アイコンの番組を選び、
[決定]を押す

• 番組内の番組を一覧表示します。

- ② [▲][▼]でダビングしたい番組を選び、[決定]を押す

番組の内容を確認 する

内容確認

並び替えをする

並び替え

•全番組表示時のみ

•選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを表示します。

表示を切り換える

まとめ表示へ

全番組表示へ

•番組の表示順を変更します。表示順はNo.、録画日、曜日、チャンネル、番組名が選べます。(番組に が付いているときはできません) 表示順は、おまかせダビングの画面を消すと、取り消されます。

•まとめ表示と全番組表示を切り替えます。
(番組に が付いているときはできません)

☞ まとめ表示と全番組表示については(→52)

おまかせダビング時の速度と録画モードについて

ダビング速度と録画モードは下記のように設定されます。

ダビング方向	ダビングする番組	DRモードの番組	DRモード以外の番組	
			初期設定「高速ダビング用録画」を「入」で録画した番組	初期設定「高速ダビング用録画」を「切」で録画した番組
HDD → RAM	-R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	1倍速(録画モードは「FR」)	高速※1(録画モードはダビング元と同じ)	
HDD →	-R(V) -R DL(V) -RW(V)		高速※2(録画モードはダビング元と同じ)	1倍速(録画モードは「FR」)
VHS → RAM	-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)			1倍速(録画モードは「FR」)

※1 DRモードの番組とまとめてダビングする場合、1倍速(録画モードは「FR」)になります。

※2 初期設定「高速ダビング用録画」を「切」にして録画した番組とまとめてダビングする場合、1倍速(録画モードは「FR」)になります。

高速モードでダビング先のディスク容量を超える場合は、1倍速(録画モードは「FR」)になります。

新品のディスクなどにダビングする場合のフォーマットについて

新品のディスクなどにダビングする場合、以下のように自動的にフォーマットを行います。

ダビング元	ダビングする番組 / ダビング先のディスク	フォーマット
HDD →	DRモードの番組をダビングするとき	VR方式でフォーマット
	「1回だけ録画可能」の番組をダビングするとき	VR方式でフォーマット
	DRモード以外の番組をダビングするとき	ビデオ方式でフォーマット※1
	初期設定「高速ダビング用録画」を「入」で録画した番組	初期設定「高速ダビング用録画」を「切」で録画した番組
VHS →	新品のDVD-RAMへダビングするとき	VR方式でフォーマット
	新品のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RWへダビングするとき	ビデオ方式でフォーマット※2

※1 初期設定「高速ダビング用録画」を「切」にして録画した番組とまとめてダビングする場合、VR方式でフォーマットします。

※2 「1回だけ録画可能」の番組をダビングする場合は、ダビング前にVR方式でフォーマット(DVD管理 → 105)しておいてください。

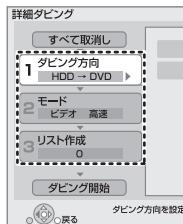
番組をダビングする(つづき)

ダビングリストを作成してダビングする

ダビング方向: **HDD → RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) VHS**
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) → HDD VHS

- 準備**
- ダビング可能なディスクまたはカセットを入れる。(→21)
 - VHSにダビングするときは、ダビング開始点を探しておく。
 - 十分な残量があることを確認しておく。

- 停止中に、を押す
- 「その他の機能へ」を選び、**決定**を押す
- 「詳細ダビング」を選び、**決定**を押す
- 設定したい項目を選び、[▶]を押す(→右記へ)
各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。



- 「ダビング開始」を選び、**決定**を押す

- 「はい」を選び、**決定**を押す

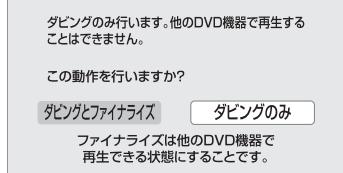
・ダビングが開始されます。

☞ ファイナライズ確認画面が表示されたときは

(**HDD → -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)**の場合)

- 「ダビングとファイナライズ」または
「ダビングのみ」を選び、[決定]を押す
- 「ダビングのみ」を選ぶと、ダビングのみ行います。ダビング終了後に他の機器で再生するには、ディスク(記録方式)または機器によっては、DVD管理でファイナライズを行ってください。(→106)
 - 「ダビングとファイナライズ」を選ぶと、ダビング終了後、引き続きファイナライズ(→133)を行い、再生専用ディスクを作成します。他のDVD機器でも再生できるようになりますが、記録や編集をすることはできなくなります。

例) **-R(V)**



☞ 前の画面に戻るには

戻る
を押す

☞ 音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(→113)

☞ ダビング中にHDDの録画や再生をするには

(高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ)

- 決定**を押して確認画面を消したあと、録画・再生の操作をする
・[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

☞ ダビングを実行中に中止するには

戻る
を3秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを中止した場合はファイナライズも実行されません。

何から何にダビング?

1 ダビング方向

ダビング素材を選ぶ / 録画モードを設定する

2 モード

- 録画モードについて
(HDD/DVD→35, VHS→72)

ダビングする番組を選ぶ

3 リスト作成

- 右ページの手順を繰り返し、複数の番組をダビングリストに登録できます。

CMを飛ばしてダビングする

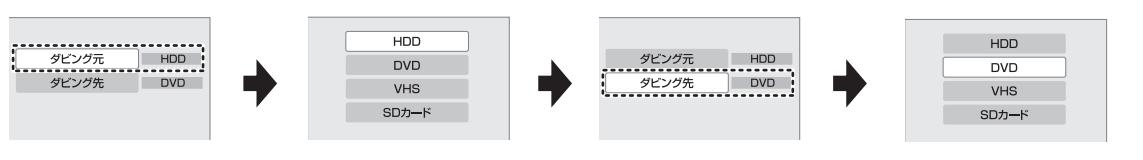
4 詳細設定

- 録画モードを「高速」以外に設定したときのみ)



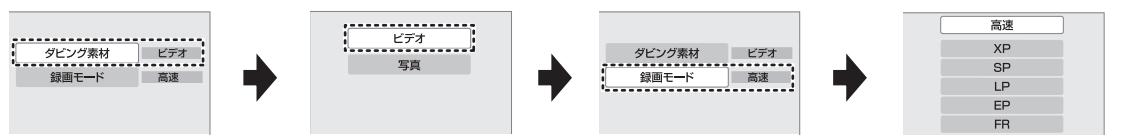
詳細ダビング

画面表示の例) ダビング元に「HDD」、ダビング先に「DVD」を選んだとき



- 「ダビング元」が選ばれている状態で、**決定**を押す
- 「HDD」または「DVD」を選び、**決定**を押す
- 「ダビング先」を選び、**決定**を押す
- 「HDD」、「DVD」または「VHS」を選び、**決定**を押す

●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「VHS」を設定したあとにディスクトレイの開閉をすると、ダビング先が「HDD」になります。再度ダビング先を設定してください。



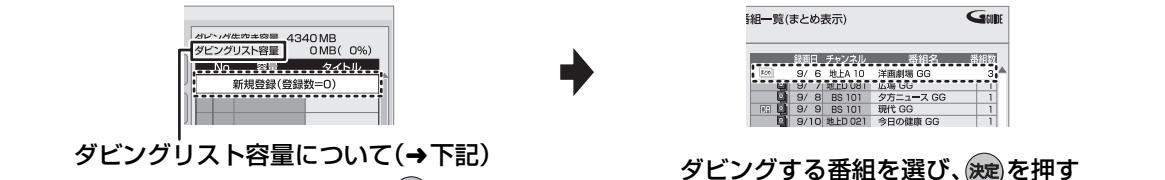
- 「ダビング素材」が選ばれている状態で、**決定**を押す
- 「ビデオ」を選び、**決定**を押す
- 「録画モード」を選び、**決定**を押す
- 例) ダビング先「DVD」
録画するモードを選び、**決定**を押す

●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。
●ダビングしたい番組の中にDRモードの番組が含まれるときは、高速モードでダビングできません。録画モードは「高速」以外に設定してください。
●ダビング先が「VHS」のときは、録画モードは「標準」、「3倍」、「5倍」が選べます。

「高速」以外を選ぶと
1倍速でのダビング
になります。



[◀]を押す
(→左ページ
手順4へ戻る)



- ダビングリスト容量について(→下記)
「新規登録」が選ばれている状態で、**決定**を押す

ダビングする番組を選び、**決定**を押す

●高速モードで **R(V)** **R DL(V)** **RW(V)** にダビングする場合、**▶**表示のあるもののみ登録できます。

☞ 前後のページを表示するには
[◀◀] (前ページ) または [▶▶] (次ページ) を押す

☞ 詳細ダビングの便利な機能(→79)

☞ アイコン表示については(→136)

- まとめ** アイコンの番組を選んだときは (**HDD**のみ)
- まとめ** 番組内の番組を一覧表示します。
- [▲][▼]でダビングしたい番組を選び、[決定]を押す

- 複数の番組をまとめて登録するには**
[▲][▼]で番組を選び、[一時停止■]を押す操作を繰り返す
• が表示されます。もう一度[一時停止■]を押すと解除されます。
- ・ダビングリストには、リスト作成画面の上から順に登録されます。お好みの順番で登録したい場合は、1つずつ登録してください。



- 「自動CM早送り」が選ばれている状態で、**決定**を押す

「入」または「切」を選び、**決定**を押す

●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、「自動CM早送り」はできません。
●DRモードの番組では働きません。

○○ お知らせ ○○

●ダビングリスト容量について(ダビング先に記録される容量)

- ・1倍速の場合は、録画モードによって変化します。
- ・管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

●当社製DVDビデオカメラで撮影した映像をDVD-RAMからHDDにダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。

番組をダビングする(つづき)



SDカードのMPEG2動画をダビングする

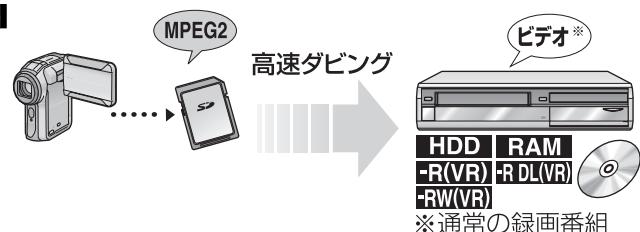
詳細ダビング

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を、SDカードからHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)、DVD-RW(VR方式)に保存できます。ダビングをすると、ダビング先では撮影した日付単位で1番組(ビデオ)として扱われます。

ダビング方向: SD(MPEG2) → HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

準備

- DVDにダビングするときは、ダビング可能なディスクを入れる。(→21)
- SDカードを入れる。(→21)



※通常の録画番組

SD

停止中にSDカードをスロットに入れると、下記の画面が自動的に表示されます。[▲][▼]で「ビデオ(MPEG2)を取り込」を選び、[決定]を押すと、右記の手順5に進むことができます。(画面上で設定項目を確認し、必要に応じて手順4で設定を変更してください)



- SDカード内にあるMPEG2動画は、自動的にダビングリストへ登録されます。
- SDカード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取り込」は表示されません。

○○○お知らせ○○○

- SDカードにあるMPEG2動画をそのまま本機で再生することはできません。まずHDDなどにダビングしてください。
- MPEG2動画をダビング中は、録画や再生はできません。
- 写真とMPEG2動画を同じリストに登録することはできません。

☞ 前の画面に戻るには

戻る を押す

☞ ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを中止した場合はファイナライズも実行されません。

☞ 音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(→113)

1 停止中に、 を押す

基本操作



2 「その他の機能へ」を選び、 を押す

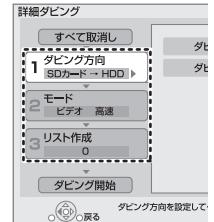
3 「詳細ダビング」を選び、 を押す

4 設定したい項目を選び、 を押す

- 操作方法は“ダビングリストを作成してダビングする”(→76)をご覧ください。

設定項目は、以下のように設定してください。

- 「ダビング方向」: 「ダビング元」→「SDカード」
- 「モード」: 「ダビング素材」→「ビデオ」
- 録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。
例)ダビング先「HDD」
- リスト作成画面では、撮影した日付単位で動画ファイルの一覧が表示されます。(子画面には静止画が表示されます)



5 「ダビング開始」を選び、 を押す

6 「はい」を選び、 を押す

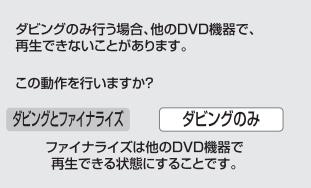
- ダビングが開始されます。

☞ ファイナライズ確認画面が表示されたときは

[SD(MPEG2) → -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) の場合]

「ダビングとファイナライズ」または 例) -R(VR)

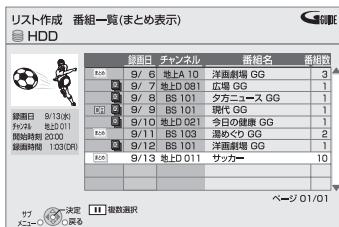
「ダビングのみ」を選び、[決定]を押す(詳しくは→76)



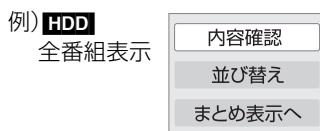
詳細ダビングの便利な機能

番組のダビング時

リスト作成画面が表示されているとき
(76ページ「ダビングリストを作成してダビングする」、左ページ手順4で「リスト作成」時)



1 [▲][▼]で番組を選び、**S**メニューを押す

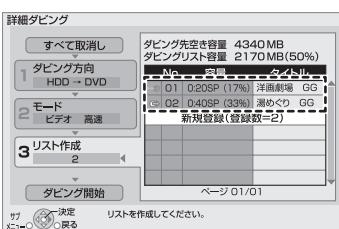


☞ 前後のページを表示するには
[◀◀] (前ページ)または
[▶▶] (次ページ)を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、**決定**を押す

番組、写真のダビング時

リスト登録画面が表示されているとき
(76、91ページ「ダビングリストを作成してダビングする」、左ページ手順4で「リスト作成」時)



1 [▲][▼]で番組などを選び、**S**メニューを押す



☞ 複数の番組などをまとめて登録/消去するには

[▲][▼]で番組などを選び、
[一時停止]を押す操作を繰り返す
・が表示されます。

もう一度[一時停止]を押すと解除されます。

2 [▲][▼]で項目を選び、**決定**を押す

番組の内容を確認する

内容確認

•選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを確認できます。

並び替えをする

並び替え

HDD

•全番組表示時のみ

•番組の表示順を変更します。表示順はNo.、録画日、曜日、チャンネル、番組名が選べます。

(番組にが付いている場合はできません)

表示順は、リスト登録画面の「リスト作成」に戻るか、ダビングの画面を消すと、取り消されます。

表示を切り換える

まとめ表示へ

全番組表示へ

HDD

•まとめ表示と全番組表示を切り換えます。

(番組にが付いている場合はできません)

☞ まとめ表示と全番組表示については(→52)

リストの項目を入れ替える

① [▲][▼]で不要な項目を選び、[決定]を押す
② [▲][▼]([◀][▶])で新たに登録したい番組や写真などを選び、[決定]を押す

•項目が入れ替わります。

① [▲][▼][◀][▶]で「すべて取消し」を選び、
[決定]を押す

② [◀]で「はい」を選び、[決定]を押す

•設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。

- ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをしたとき
- ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、SDカードを取り出す、ダビング方向を変える、ダビング素材を変えるなどを行ったとき

登録されたリストや設定を一度に取り消す

すべて取消し

① [▲][▼][◀][▶]で「すべて取消し」を選び、
[決定]を押す

② [◀]で「はい」を選び、[決定]を押す

•設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。

・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをしたとき

・ディスクトレイを開ける、電源を切る、SDカードを取り出す、ダビング方向を変える、ダビング素材を変えるなどを行ったとき

リストに登録された項目を変更する

リスト全消去

追加

消去

移動

リスト全消去:

リストに登録されている項目をすべて消去します。

追加: 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。
「追加」を選んだときは、さらに[▲][▼]([◀][▶])で追加する番組や写真などを選び、[決定]を押してください。

消去: 選んだ項目を消去します。まとめて消去することもできます。(→上記「リスト全消去」)
「消去」を選んだときは、さらに[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

移動: 選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。

「移動」を選んだときは、さらに[▲][▼]で移動先を選び、[決定]を押してください。

(ダビング素材が「写真」のときはできません)

番組をダビングする(つづき)

録画時間を指定してダビングする [カセット、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングする]

カセットやディスクを再生しながら、再生している内容を設定時間までダビングします。

ダビング方向: **VHS → HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)**

ダビング開始時のテープの停止位置からダビングします。

・録画モード「FR」で「時間設定」を「切」にすると、テープの始端から終端まで全部をダビングすることもできます。(→右ページ)

DVD-V(ファイナライズ後の **-R(V) -R DL(V) -RW(V)**) → **HDD VHS**

(ファイナライズ後の **+R, +RW, +R DL** からもダビングできます)

準備

- ・ダビング可能なディスクまたはカセットを入れる。(→21)
- ・VHSから、またはVHSにダビングするときは、ダビング開始点を探しておく。
- ・十分な残量があることを確認しておく。



DVD-V(ファイナライズ後のディスクを含む)をダビングする場合、ダビング中に行つた操作や画面表示をそのまま記録します。ただし、**HDD**へダビングするときは、早送り・早戻し、コマ送り・コマ戻し、一時停止をすると、その部分の映像は記録されません。**(VHSへのダビングでは記録されます)**



ただし、テープの終端になるか、DVDの残量が足りないときは、自動的にダビングを終了します。

☞ 前の画面に戻るには

戻る を押す

☞ ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

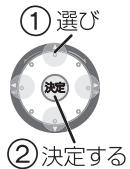
- ・ファイナライズ中は中止できません。
- ・ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを中止した場合はファイナライズも実行されません。

☞ 音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(→113)

1 停止中に、 を押す

基本操作

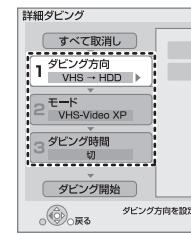


2 「他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 設定したい項目を選び、[▶] を押す(→右ページへ)

- 各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。



1 ダビング方向
VHS → HDD

2 モード
VHS-Video XP

3 ダビング時間
切

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

- ダビングが開始されます。

☞ ファイナライズ確認画面が表示されたときは

(**VHS → -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)**の場合)

「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、[決定] を押す(詳しくは→76)

7 **DVD-V → HDD VHS** の場合のみ: ダビングしたい番組を再生する



- ディスクの設定によっては、自動的に再生が始まります。

- 最初に右の画面がダビングされます。

- ダビングの開始から終了までが1番組として記録されます。
(ただしHDDへダビングする場合、8時間を超える番組は8時間ごとに分割されます)

☞ ディスクの再生が始まらないときは
[再生▶] を押す

☞ トップメニューが表示されたときは

[▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[決定] を押す

- 選んだ番組から順に再生し、設定した時間まで記録します。

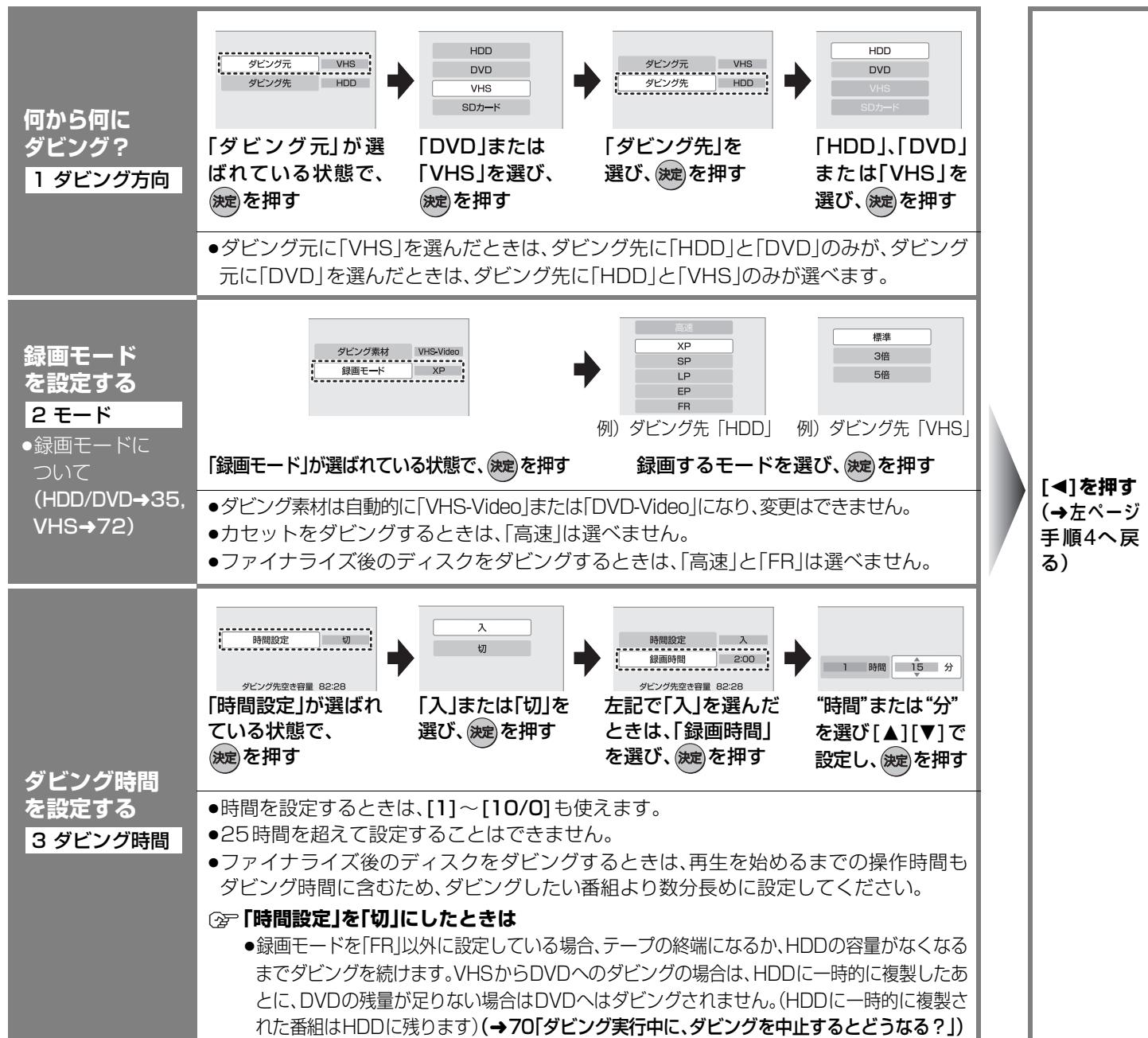
- ディスクの最後の番組の再生が終わったあとは、設定時間までトップメニューを記録します。

☞ 好みの番組を再生するには

① [再生ナビ] を押す

② [▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[決定] を押す

画面表示の例)ダビング元に「VHS」、ダビング先に「HDD」を選んだとき



録画モードを「EB」に設定している場合、「時間設定」の切入／入によって下記のような違いがあります。

- 録画モード「FB」で「時間設定」を「切」に設定したときは

- ・カセットに録画されている部分(未記録部分はダビングしません)だけすべてをダビングします。
 - ・HDDでは、4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
 - ・カセットの記録時間を計算するため、ダビングを開始すると、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。ディスクの残量が足りなかった場合は、ダビングは開始されません。
 - ・テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して記録します。

- 録画モード「FB」で「時間設定」を「入」に設定したときは

- ・カセットのダビング開始点から、設定した録画時間分だけを(未記録部分もダビングします)ダビングします。
 - ・HDDでは、設定した録画時間で4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
 - ・番組分割はしません。ただし、頭出し信号を検出するごとに場面が区切られます。



お知らせ

- 市販のDVDビデオやビデオソフトのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
(ダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します)
 - 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
 - ファイナライズした **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** の番組をダビングしたい場合は、ダビングリストを作成してダビングしてください。(→76)

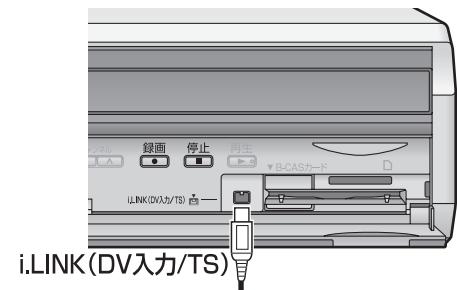
i.LINK(TS)対応機器との間でダビングする

本機とi.LINK(TS)対応機器をi.LINKケーブルで接続すると、HDDに録画モード「DR」で録画した番組を、ハイビジョン画質のままダビングすることや、i.LINK(TS)対応機器からHDDへダビングすることができます。

- 本機は、i.LINK(TS)に対応した当社製のDVDレコーダー、D-VHSビデオカセットレコーダー、HDDビデオレコーダーに対応しています。(2006年8月現在)

接続

接続時には、本機とi.LINK(TS)対応機器の電源を切ってください。



i.LINK(TS)対応機器
i.LINK(TS)端子に接続してください。

ダビング

初期設定「i.LINK機器モード」を「TSモード」に設定してください。(→117)

- i.LINK(DV入力/TS)経由で本機に接続できるi.LINK(TS)対応機器は、1台のみです。デジタルテレビとD-VHSビデオカセットレコーダーなどをi.LINKケーブルで接続している場合は、接続を外してからご使用ください。
- 本機からi.LINK(TS)対応機器の電源の入/切や、再生などの操作はできません。
- 本機では、i.LINK(DV入力/TS)入力で、デジタルテレビやセットトップボックスから番組を視聴したり、録画することはできません。

i.LINK(TS) ダビングをする

i.LINK(TS)ダビング

- HDDのDRモードの番組のみダビングできます。

接続した機器とダビング方法

i.LINK(TS)ダビングをする(→右記)



○○ お知らせ ○○

接続したDVDレコーダーなどを再生機側、本機を録画機側として使うときは



ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

- 録画モードは自動的に「DR」でダビングされます。
- ダビング中に本機の操作を行うと、ダビングが中止される場合があります。
- 本機の予約録画の開始時刻になると、予約録画が実行され、ダビングは中止されます。

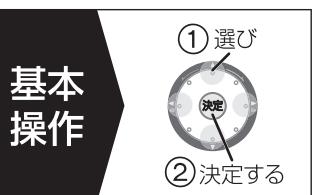
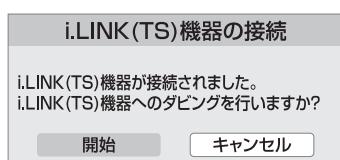
接続した機器を再生してダビングする(→右記)

- HDDにダビングできます。

- 準備** •本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 接続した i.LINK(TS)機器の電源を入れる

- 「i.LINK(TS)機器の接続」画面が表示されます。



☞ 「i.LINK(TS)機器の接続」画面が表示されていないときは

手順1のあと

- ① 本機の停止中に、[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して「HDD」を選ぶ
- ② [操作一覧]を押す
- ③ [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す
- ④ [▲][▼]で「i.LINK(TS)ダビング」を選び、[決定]を押す
(→下記手順3へ)

2 「開始」を選び、**決定**を押す

3 ダビングしたい番組を選び、**決定**を押す

☞ まとめ アイコンの番組を選んだときは

まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

[▲][▼]でダビングしたい番組を選び、[決定]を押す

☞ 前後のページを表示するには

[◀◀] (前ページ)または[▶▶] (次ページ)を押す

☞ 複数の番組をまとめて登録するには

- [▲][▼]で番組を選び、[一時停止II]を押す操作を繰り返す
・が表示されます。もう一度[一時停止II]を押すと解除されます。

4 「ダビング開始」を選び、**決定**を押す

- ダビングが開始されます。

☞ 前の画面に戻るには

戻る
を押す

☞ ダビングを実行中に中止するには

戻る
を3秒以上押す

- 準備** •本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)
•[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「HDD」を選ぶ。

1 放送を押して、「i.LINK(TS)」を選ぶ

☞ 録画モード (ふた内部)を押して、録画モード(→35)を選ぶ

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、

☞ 録画 (ふた内部)を押す

- 録画が開始されます。

☞ 録画を一時停止するには

一時停止
を押す

お好み選局

- もう一度押すと、録画を再開します。

☞ 録画を止めるには

停止
を押す

- 接続した機器の再生も停止させてください。

○○○お知らせ○○○

- 録画モード「DR」以外で録画した番組はダビングできません。
- 「1回だけ録画可能」の番組をダビングした場合、ダビングした番組はHDDから消去されます。
- ダビング中に接続した機器の操作を行うと、ダビングが中止される場合があります。
- ダビング中は、録画や再生はできません。また予約録画の実行はされません。
- D-VHSビデオへダビングする場合、テープの終端になると、ダビングは中止されます。テープ残量が十分にあるカセットをご使用ください。
- 「1回だけ録画可能」の番組をダビング中にダビングを中止した場合、中止した番組のダビング終了位置までの内容が部分消去されます。
- 接続した機器が以下の場合、ダビングできません。
 - ・録画や再生中など、動作中のとき
 - ・確認画面などが表示されているとき
 - ・i.LINK(TS)が動作する状態になっていないとき(例:「i.LINK機器モード」が「TSモード」になっていない)
- i.LINK(TS)ダビング中のみ、接続した機器で本機からの映像が映ります。

○○○お知らせ○○○

- 「1回だけ録画可能」の番組を、接続した機器から本機へダビングすることはできません。
- 接続した機器で一時停止、早送り・早戻しなどを行うと、ダビングが停止する場合があります。

☞ ディスクの残量に合わせて録画するには

ぴったり録画(→41)

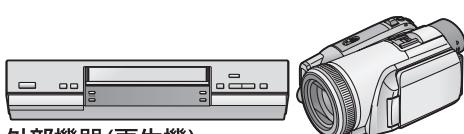
他のビデオやビデオカメラからダビングする

接続

接続時には、本機と他のビデオやビデオカメラなどの電源を切ってください。

ダビング

外部入力(L1)端子に接続する場合



外部機器(再生機)
映像・音声出力端子に接続してください。



※S映像コードを接続するときは、
映像コード(黄)を抜いてください。

映像・音声コード(別売)

S映像コード(別売)
(接続するとより高画質になります)

本機背面

接続した機器を
再生して
ダビングする

HDD

④ 二重放送の音声を入力するときは

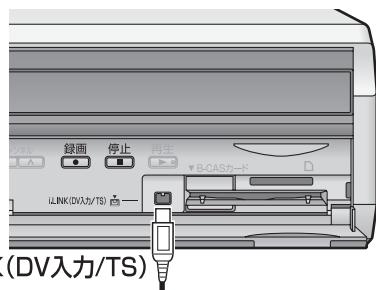
37ページ「音声多重放送の録画について」をご覧ください。

⑤ 外部機器の音声出力端子がモノラルのときは

- ステレオ→モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

i.LINK(DV入力/TS)端子に接続する場合

i.LINKケーブル1本で、ビデオカメラなどの映像や音声をダビングすることができます。
(対応機種のみ)



i.LINKケーブル(別売)

外部機器(再生機)
DV端子に接続
してください。

初期設定「i.LINK 機器モード」を「DVモード」に設定してください。(→117)

- 記録する音声の種類を初期設定「DV入力時の音声設定」(→115)で選べます。
- 接続した機器から本機を操作することはできません。
- i.LINK(DV入力/TS)経由で本機に接続できるDV機器(ビデオカメラなど)は、1台のみです。

DVおまかせ
取込機能を使って
ダビングする

DV おまかせ取込

HDD

- i.LINK(DV入力/TS)端子に接続したときのみ



16:9の映像をダビングしようと思うんだけど…



初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」(→114)
を「オート」または「16:9」にしてダビングして
ください。

準備 •本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)
•[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「HDD」を選ぶ。

- 1 **放送** [入力切換] を押して、外部機器を接続した端子 (L1、DV) を選ぶ
- 2 録画モード (ふた内部) を押して、録画モード(→35)を選ぶ
- 3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、録画 (ふた内部) を押す
•録画が開始されます。

☞ 録画を一時停止するには



•もう一度押すと、録画を再開します。

☞ 録画を止めるには

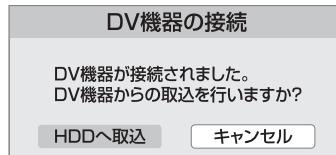


•接続した機器の再生も停止させてください。

☞ ディスクの残量に合わせて録画するには
びったり録画(→41)

準備 •本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)
•[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して「HDD」を選び、[録画モード]を押して録画モード(→35)を選ぶ。

- 1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく
•「DV機器の接続」画面が表示されます。



☞ 「DV機器の接続」画面が表示されていないときは

手順1のあと

- ① 本機の停止中に、[操作一覧]を押す
- ② [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す
- ③ [▲][▼]で「DVおまかせ取込」を選び、[決定]を押す(→下記手順3へ)

- 2 [◀]で「HDDへ取込」を選び、[決定]を押す

- 3 「録画開始」が選ばれている状態で、[決定]を押す

•DV機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。



☞ 前の画面に戻るには



☞ 録画を止めるには



必要なら

ダビングした番組を編集する

ダビングした番組は、必要に応じて整理・編集を行ってください。詳しくは、参照ページの操作説明をご覧ください。

番組名を付ける→64「番組名入力」

番組を2つに分割する→64「番組分割」

番組の不要な部分を消す→64「部分消去」

その他の編集については 64 ページをご覧ください。



保存

HDDからDVDまたはVHSにダビングする

HDDにダビングした番組をDVDまたはVHSにダビングする場合、以下の方法があります。

再生中の番組をDVDにダビングしたいなら

→73「再生中番組のDVD保存」

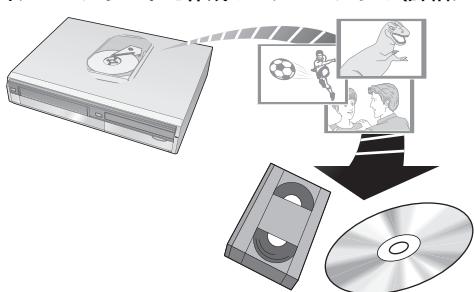
難しい設定なしにDVDにダビングしたいなら

→74「おまかせダビング」

•操作手順を音声ガイドが案内してくれます。

お好みの設定でダビングしたい、またはVHSにダビングしたいなら

→76「ダビングリストを作成してダビングする(詳細ダビング)」



○○お知らせ○○○

•以下の場合、予約録画の開始時刻になると、予約録画が実行され、ダビングは中止されます。

•DV入力からダビング中のとき

•外部入力(L1)からダビング中に、アナログ放送の予約録画、または録画モード「DR」以外で予約したデジタル放送の予約録画が開始されたとき

•日付や時刻情報は記録されません。

•DV機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。

•DVおまかせ取込中は、追っかけ再生や同時録画再生はできません。

•DV入力から録画中に、他の番組を録画することはできません。

•「DVおまかせ取込」がうまく働かない場合は、接続とDV機器側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、「接続した機器を再生してダビングする」(→左ページ)を行ってください。

•本機を再生機として使うときは、テレビ画面に操作時の表示を出さない設定(→116)にすると、不要な文字や表示が出なくなります。

写真(JPEG)を再生する

HDD RAM CD SD

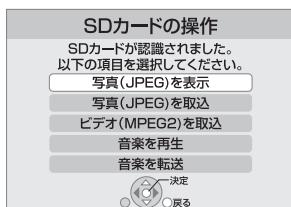
- ・本機では、8 MB～4 GBまでのSDカードが使用できます。(→13)
- ・CDパソコンなどで写真(JPEG)を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。
- ・写真の表示順は、写真が作成された日時の順に表示されます。
- ・録画中やダビング中は写真の再生はできません。

準備

- ・[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、再生するドライブ(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選択。
- ・ディスクまたはSDカードを入れる。(→21)

SD

停止中にSDカードをスロットに入れると、下記の画面が自動的に表示されます。「写真(JPEG)を表示」が選ばれている状態で[決定]を押すと、右記の手順2に進むことができます。



- ・SDカード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取り込」は表示されません。

○○ お知らせ ○○

- ・16:9の写真は、上下左右に黒帯が表示される場合があります。

再生を止めるには

停止 を押す

- ・再生を止めた写真の位置を一時的に記憶します。ただし、以下の場合は解除されます。
 - ・CD SD 電源を切る、またはディスクやカードを取り出したとき。
 - ・RAM ディスクを取り出したとき。

再生ナビ/メニュー画面を消すには

再生ナビ/メニュー画面のアイコン表示については
(→136)

1 写真 を押す

- ・HDD RAM SD 「アルバム一覧」が表示されます。(→手順2へ)

☞ [HDD RAM SD 写真の「アルバム一覧」を表示するには

- [赤](写真)を押す
- ・[サブメニュー]を使って切り換えることもできます。(→53「再生ナビ画面の便利な機能」)

例) HDD



※お使いのデジタルカメラやパソコンの編集ソフトによっては、撮影日の情報が入らないものがあります。そのときは、「--/--」になります。

- ・CD 「写真(JPEG)一覧」が表示されます。(→手順3へ)

2 アルバムを選び、決定 を押す



例) HDD



- ・選んだアルバムの「写真(JPEG)一覧」が表示されます。

☞ 上位フォルダを選ぶには(→右ページ)

3 写真を選び、決定 を押す



- ・選んだ写真が表示されます。

☞ [HDD RAM SD 写真の「アルバム一覧」に戻るには

[戻る]を押す

- ・以下の方法でも戻ることができます。

- ①「写真(JPEG)一覧」画面で、[サブメニュー]を押す
- ②[▲][▼][◀][▶]で「アルバム一覧へ」を選び、[決定]を押す

☞ [CD 別のフォルダを選ぶには(→右ページ)]

☞ 前後のページを表示するには

[◀][▶](前ページ)または[▶][▶](次ページ)を押す

- ・[▲][▼][◀][▶]で「前ページ」または「次ページ」を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

写真再生のいろいろな機能

フォルダを切り換える

(本機で表示されるフォルダ構造例→134)

RAM SD(上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ)

1 「アルバム一覧」画面で、**[サブメニュー] S** を押す

2 [**▲**][**▼**]で「上位フォルダ選択」を選び、**[決定] を押す**

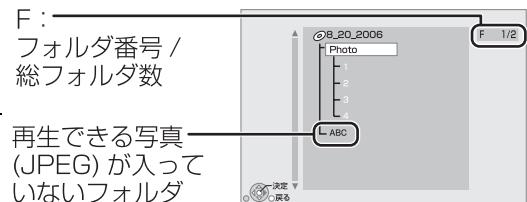
3 [**◀**][**▶**]でフォルダを選び、**[決定] を押す**

CD

1 「写真 (JPEG) 一覧」画面で、**[▲]**で「フォルダ選択」を選び、**[決定] を押す**

2 [**▲**][**▼**][**◀**][**▶**]でフォルダを選び、**[決定] を押す**

☞ フォルダ選択画面からメニュー画面に戻るには
[戻る] を押す



写真を連続して再生する (スライドショー)

HDD RAM SD

「アルバム一覧」画面で、**[▲][▼][◀][▶]**で再生したいアルバムを選び、**[再生] を押す**

☞ 以下の方法でもスライドショーを開始できます

- ① 「アルバム一覧」画面で、**[▲][▼][◀][▶]**で再生したいアルバムを選び、**[サブメニュー] を押す**
- ② 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、**[決定] を押す**

CD

1 「写真 (JPEG) 一覧」画面で、**[▲]**で「フォルダ選択」を選び、**[サブメニュー] S を押す**

2 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、**[決定] を押す**

☞ スライドショーの設定を変えるには

- ① **HDD RAM SD**「アルバム一覧」画面で、**[▲][▼][◀][▶]**で再生したいアルバムを選び、**[サブメニュー] を押す**
CD「写真 (JPEG) 一覧」画面で、**[▲]**で「フォルダ選択」を選び、**[サブメニュー] を押す**
- ② **[▲][▼]**で「スライドショーの設定」を選び、**[決定] を押す**
- ③ **[▲][▼]**で設定する項目を選ぶ
- ④ 表示間隔 : **[◀][▶]**で表示間隔(0秒~30秒)を設定し、**[決定] を押す**
リピート再生 : **[◀][▶]**で「入」または「切」を選び、**[決定] を押す**

画像を回転、縮小する

1 写真を再生中に、**[サブメニュー] S** を押す

項目の詳細については → 画面モード切換 (28)

2 [**▲**][**▼**]で項目を選び、**[決定] を押す**

画素数の小さい写真を表示しているときのみ

•スライドショー再生中はできません。



☞ 回転した写真を元に戻すには

[サブメニュー] を押して逆方向への回転を選び、**[決定] を押す**

○○ お知らせ ○○

- 以下の場合、写真の回転の情報は保持されません。
 - ・**CD** の写真
 - ・ディスクまたはアルバムにプロテクトがかかっているとき
 - ・他の機器で再生したとき
 - ・写真をダビングしたとき

- 再生ナビ画面表示中にSDカードを取り出すと、回転の情報が正しく保持されないときがあります。必ず再生ナビを終了してから取り出してください。
- 縮小の情報は保持されません。

写真の情報を見る (情報表示)

写真を再生中に、**[画面表示] (ふた内部)** を2回押す

例) **HDD**

フォルダ	写真No.	115-0001
撮影日	2006/8/20	枚数
1/10		

情報がない場合 「---/---/---」 と表示されます。

再生中に前後の写真を見る

[**◀**][**▶**]を押す

写真 (JPEG) を再生する

写真

写真(JPEG)を編集する

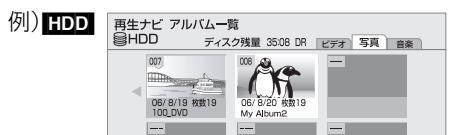
HDD RAM SD

- 写真単位、またはアルバム単位で編集することができます。
- 本機では、8 MB～4 GBまでのSDカードが使用できます。(→13)
- CD-RやCD-RWに記録された写真は編集できません。

準備 • [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい写真が入っているドライブ(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選択。
• ディスク、カートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(→105)

1 停止中に、 を押す

☞ 写真の「アルバム一覧」を表示するには
[赤](写真)を押す



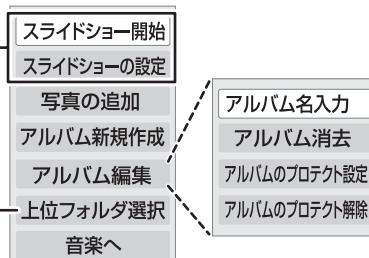
2 アルバムを編集する場合は： 編集したいアルバムを選び、 を押す

- 「アルバム新規作成」のときは、アルバムを選ばずにそのまま [サブメニュー] を押してください。

例) SD アルバム一覧

操作方法は(→87) —

RAM SD
上位フォルダに異なる
対応フォルダがある場合
のみ表示されます。



☞ 上位フォルダを切り換えるには

- ① [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
- ② [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す

写真を編集する場合は：

1 編集したい写真のあるアルバムを選び、 を押す

2 編集したい写真を選び、 を押す

☞ 前後のページを表示するには

- [◀◀] (前ページ) または [▶▶] (次ページ) を押す
- [▲][▼][◀][▶] で「前ページ」または「次ページ」を選び、[決定] を押してもページの切り替えができます。

☞ 複数のアルバムや写真をまとめて編集するには

- [▲][▼][◀][▶] でアルバムや写真を選び、[一時停止 II] を押す操作を繰り返す
- が表示されます。もう一度 [一時停止 II] を押すと解除されます。

3 編集する項目を選び、 を押す(→右記へ)

- 「アルバム編集」を選んだときは、さらに [▲][▼] で項目を選び、[決定] を押します。

☞ 前の画面に戻るには



☞ 画面を消すには



- 「写真の追加」、「アルバム新規作成」、「DVD-RAMへ一括コピー」、「HDDへ一括コピー」を実行中は予約録画は実行されません。

88 • 上位フォルダに「写真の追加」、「アルバム新規作成」を実行することはできません。

アルバムに写真を追加する

写真の追加

新しいアルバムを作成する

アルバム新規作成

消去する

アルバム消去

写真の消去

アルバム名を付ける

アルバム名入力

誤消去防止の設定/解除

アルバムのプロテクト設定/解除

写真のプロテクト設定/解除

プリンターや写真店でプリントする枚数を設定する

写真のDPOF設定

SD

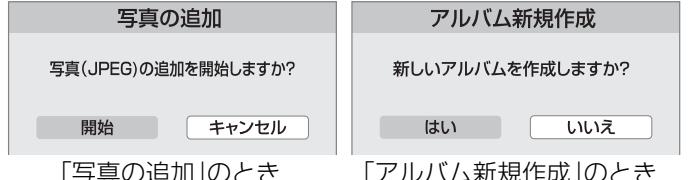
アルバム内の写真をすべてHDDまたはDVD-RAMへコピーする
DVD-RAMへ一括コピー

HDD

HDDへ一括コピー

RAM

1 [◀]で「開始」または「はい」を選び、**[決定]**を押す



「写真の追加」のとき

2 [▲][▼][◀][▶]で追加したい写真があるアルバムを選び、**[決定]**を押す

☞ RAM SD 上位フォルダを切り換えるには

- ① [サブメニュー]を押す
- ② 「上位フォルダ選択」が選ばれている状態で、[決定]を押す
- ③ [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で項目を選び、**[決定]**を押す

☞ 「写真を選んでコピー」のときには

- 追加したい写真を選び、[決定]を押す

☞ 「すべての写真をコピー」のときには

- アルバム内の写真をすべてコピーします。

4 [◀][▶]で「はい」または「いいえ」を選び、**[決定]**を押す

- 「はい」の場合は手順2へ戻り、続けてコピーできます。

5 「アルバム新規作成」のみ

[◀][▶]で「はい」または「いいえ」を選び、**[決定]**を押す

☞ 「はい」のときには

- アルバム名を付けます。(→107「文字入力」)

☞ 「いいえ」のときには

- アルバム内の1枚目の写真の撮影日を、自動的にアルバム名にします。

(撮影日情報がない場合は、「撮影：--/--/-」になります)

消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、**[決定]**を押す

- アルバムを消去する場合は、アルバム内の写真以外のファイルも消去されます。(アルバム内の下位フォルダは除く)

☞ 文字入力については(→107)

- 本機で入力したアルバム名は、他の機器では表示されないことがあります。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**[決定]**を押す

- プロテクト設定すると「」が表示されます。解除すると消えます。
- 本機でプロテクトを設定していても、他の機器では解除されることがあります。

写真がDCF規格(→13)でない場合や、カードに残量がない場合は設定できません。

☞ 設定を解除するには
「0枚」に設定する

[◀][▶]で枚数(0枚~9枚)を選び、**[決定]**を押す

- DPOFマークが表示されます。
- 本機での設定は他の機器で見られない場合があります。
- 本機で設定すると、他の機器で行った設定は解除されます。



[◀]で「コピー開始」を選び、**[決定]**を押す

- アルバムが複数選択されているときはできません。

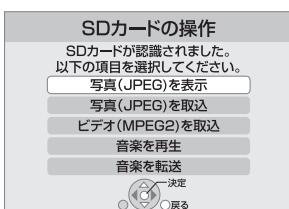
SDカードなどの写真をダビングする

HDD RAM SD

- 本機では、8 MB～4 GBまでのSDカードが使用できます。(→13)
- CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。
- カセットにはダビングできません。

SD

停止中にSDカードをスロットに入れる、下記の画面が自動的に表示されます。[▲][▼]で「写真(JPEG)を取込」を選び、[決定]を押すと、右記「カードの写真を一度にHDDやDVD-RAMにダビングする」の手順4に進むことができます。



画面を消す場合は、[戻る]を押す

- SDカード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取込」は表示されません。

○○○お知らせ○○○

- フォルダ単位でダビングする場合や「写真(JPEG)一括取込」の場合は、フォルダ内の写真以外のファイルもダビングされます(フォルダ内の下位フォルダは除く)。
- ダビング先のフォルダにすでに写真がある場合、続けて記録されます。
- ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(→13)がいっぱいになった場合は、途中でダビングを中止します。
- ダビング元のフォルダ名が入力されていない場合は、ダビング先ではフォルダ名の番号が変わることがあります。ダビング前にフォルダ名を入力することをおすすめします。(→88「アルバム名入力」)
- プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
- ダビング後の写真の表示順は、写真が作成された日時の順になります。
- ダビングリストへの登録順は、ダビング後に反映されないことがあります。
- 本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。

☞ 前の画面に戻るには



☞ ダビングを実行中に中止するには



☞ 音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(→113)

ダビングリストを作成してダビングする

ダビング方向: HDD RAM SD → HDD RAM SD

準備 •DVD-RAMまたはSDカードを入れる。(→21)

1 停止中に、を押す

基本操作

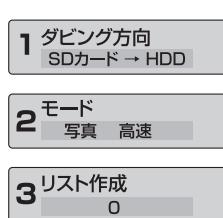
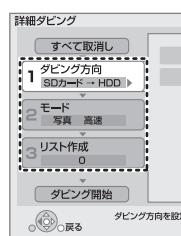


2 「その他の機能へ」を選び、を押す

3 「詳細ダビング」を選び、を押す

4 設定したい項目を選び、[▶]を押す(→右ページへ)

- 各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。



5 「ダビング開始」を選び、を押す

- (写真単位のダビングの場合のみ)
別のフォルダをダビング先に指定できます。(→右ページ)



6 「はい」を選び、を押す

- ダビングが開始されます。

カードの写真を一度にHDDやDVD-RAMにダビングする

写真(JPEG)一括取込

ダビング方向: SD → HDD RAM

準備 •[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して「SD」を選ぶ。
•DVDにダビングするときは、DVD-RAMを入れる。(→21)
•SDカードを入れる。(→21)

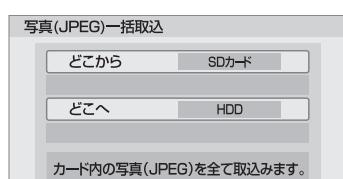
上記「ダビングリストを作成してダビングする」手順 1～2 のあと

3 「写真(JPEG)一括取込」を選び、を押す

基本操作



4 「どこへ」を選び、[◀][▶]でダビング先を設定する



5 「実行」を選び、を押す

- ダビングが開始されます。



詳細ダビング

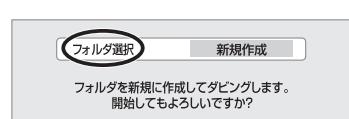
画面表示の例) ダビング元に「SDカード」、ダビング先に「HDD」を選び、写真をダビングするとき

<p>何から何に ダビング?</p> <p>1 ダビング方向</p> <p>「ダビング元」が選ばれて いる状態で、(決定)を押す</p> <p>「SDカード」など を選び、(決定)を押す</p> <p>「ダビング先」を選 び、(決定)を押す</p> <p>「HDD」などを選 び、(決定)を押す</p> <p>●ダビング元とダビング先に同じドライブが選べます。</p>	
<p>ダビング素材を 設定する</p> <p>2 モード</p> <p>「ダビング素材」が選ばれている状態で、(決定)を押す</p> <p>「写真」を選び、(決定)を押す</p> <p>●写真のダビングでは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。</p>	
<p>ダビングする 写真やフォルダ を選ぶ</p> <p>3 リスト作成</p> <p>●右記の手順を繰り返し、複数の写真またはフォルダをダビングリストに登録できます。</p> <p>●写真とフォルダや、別々のフォルダの写真を同じリストに登録することはできません。</p>	<p>写真単位で登録するときは</p> <p>「新規登録」が選ばれている状態で、(決定)を押す</p> <p>ダビングする写真を選び、(決定)を押す</p> <p>◀を押す (→左ページ 手順4へ戻 る)</p> <p>フォルダ単位で登録するときは</p> <p>「ダビング選択」を選 び、(決定)を押す</p> <p>「フォルダ単位」を 選び、(決定)を押す</p> <p>「新規登録」を選び、(決定)を押す</p> <p>ダビングする フォルダを選び、(決定)を押す</p> <p>別のフォルダの写真を選ぶ/上位フォルダを切り換えるには(→下記)</p> <p>前後のページを表示するには [◀◀] (前ページ) または [▶▶] (次ページ) を押す</p> <p>複数の写真、フォルダをまとめて登録するには [▲][▼][◀][▶]で写真またはフォルダを選び、[一時停止II]を押す操作を繰り返す ・<input checked="" type="checkbox"/>が表示されます。もう一度[一時停止II]を押すと解除されます。 ・ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。</p> <p>詳細ダビングの便利な機能(→79)</p>

SDカードなどの写真をダビングする

写真

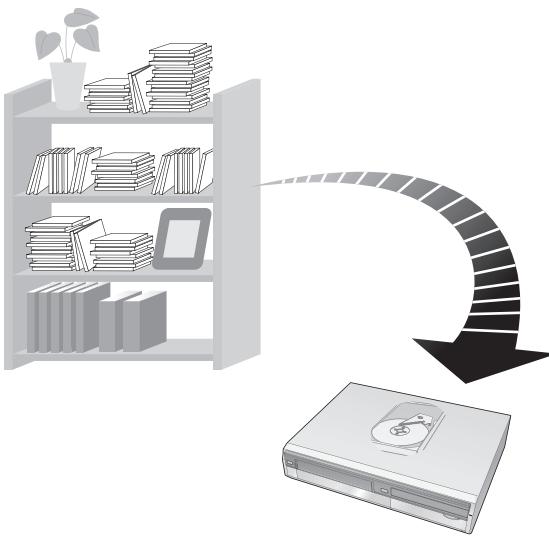
<p>別のフォルダの写真を選ぶには (写真単位のダビングの場合のみ)</p> <p>別のフォルダをダビング先に指定するには (写真単位のダビングの場合のみ)</p> <p>上位フォルダを切り換えるには (本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ)</p>	<p>①「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す ●上位フォルダを切り換えるには(→下記)</p> <p>② フォルダを選び、[決定]を押す</p> <p>①「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す ② フォルダを選び、[決定]を押す</p> <p>① [サブメニュー]を押す ②「上位フォルダ選択」が選ばれている状態で、[決定]を押す ③ [<◀][▶>]でフォルダを選び、[決定]を押す ●上位フォルダの異なるフォルダを同じリストに登録することはできません。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



音楽を楽しむ前に

本機では、音楽 CD*(CD-DA)の曲をHDDに録りたり、HDDから好きな曲をSDカードに転送することができます。

* CD-DA形式で記録されたCD-RやCD-RWを含む



大容量HDDに 録りためて

CDタイトルの入力はめんどく…

Gracenote® データベースで タイトル自動入力

データベースの一部を内蔵しているので、インターネットにつながなくともCDタイトルを取得できます。

家で聴く

聴きかたは、ご自由に

トップメニューで かんたん選曲

HDDに録りためた曲の中から聴きたい曲を簡単に選曲できます。



SDカードを持ち出して 外で聴く

HDDからSDカードに

好きな曲を転送



SDカード対応のD-snapなどの

SDオーディオプレーヤー などで再生できます



CDからHDDへのデジタル録音には、SCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)という制限があります。

著作権保護のため、この制限があるCDからHDDへのデジタル録音はできません。

●本機では、音楽CDからSDカードへ直接録音することはできません。一度HDDに録音したあと、SDカードへ転送してください。

本機の録音の仕組み

本機では録音モード(→右ページ)にかかわらず、まずLPCMで録音し、電源「切」時にAACへの音楽圧縮を行います。

●録音モードを「LPCM」にして録音した場合は、LPCMとSDカード転送用のAAC(XP)、両方のデータを保持します。

●録音モードを「AAC(XP/SP/LP)」にして録音した場合は、AACへの音楽圧縮後は、AACのデータのみを保持します。

■ AACへの音楽圧縮について

通常は電源「切」時に、音楽圧縮を行います。

電源を切ったあと、約2分経過すると音楽圧縮の処理を開始します。(圧縮中は、本体表示窓に“D”が点灯します)



●SDカードへの転送時

AACへの音楽圧縮が終了する前にSDカードへの転送を行つた場合、先にAACへの音楽圧縮を行つてからSDカードに転送するので、転送時間が通常よりも長くかかります。

■ AACへの音楽圧縮にかかる時間

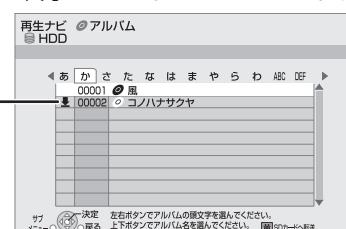
例えば60分の音楽CDを録音した場合、録音モードが「LPCM/AAC(XP)/AAC(SP)」のときは、約60分の時間が必要です。

録音モードが「AAC(LP)」のときは、約120分の時間が必要です。

●圧縮が終了していなくても再生できます。ただし、録音モードを「AAC(XP/SP/LP)」にして録音した場合は、録音直後と、AACへの音楽圧縮後に再生したときの音質が異なります。

音楽圧縮が終了しているか確認するには

アルバム一覧などで のアイコンが表示されているアルバムは、AACへの音楽圧縮が終了していないアルバムです。



録音モード(録音時の音質とデータ容量)を設定する

HDDに録音するときの音質を設定します。高音質にするほど録音できる曲数は少なくなります。

録音モード	特徴	SDカード転送時のデータ形式
LPCM	音声信号を圧縮せずにCD音質のままで録音します。 お買い上げ時、音楽CDの録音モードはLPCMに設定されています。	AAC(XP)データで転送されます。
AAC (XP/SP/LP)	AACは、音楽データを小さく圧縮するための圧縮方式の1つです。 ビットレートの違いにより、音質と録音できる曲数が変わります。	HDD録音時の録音モードと同じ形式で転送されます。

記録可能時間のめやす

メディア 録音モード	内蔵HDD	SDカード								
		400 GB	32 MB	64 MB	128 MB	256 MB	512 MB	1 GB	2 GB	4 GB
LPCM	約540時間									
AAC(XP)	約6,500時間	約31分	約1時間4分	約2時間10分	約4時間19分	約8時間43分	約16時間47分	約34時間8分	約66時間29分	
AAC(SP)	約8,700時間	約41分	約1時間25分	約2時間53分	約5時間46分	約11時間38分	約22時間23分	約45時間31分	約88時間39分	
AAC(LP)	約13,100時間	約1時間2分	約2時間8分	約4時間20分	約8時間39分	約17時間27分	約33時間34分	約68時間17分	約132時間59分	

録音モードを設定するには

初期設定「録音音質」で設定してください(→114)

録音モードをAAC(XP/SP/LP)に設定したときは

本機では、録音モードにかかわらず、まずLPCMで録音してからAACに音楽圧縮する仕組みになっています。そのため、AACへの音楽圧縮が行われる前に連続して多くの曲を録音した場合には、上記LPCMの記録可能時間しか録音できません。その場合は、AACに音楽圧縮が行われたことを確認後、録音してください。(→左ページ「本機の録音の仕組み」)

タイトルの自動取得について

本機は、Gracenote®データベースを使ってCDのタイトルを自動的に取得する機能を持っています。本機にはGracenoteデータベースの一部が内蔵^{*}されているため、インターネットに接続しなくてもタイトル情報が取得できます。ただし、新発売のCDなどは内蔵のGracenoteデータベースにタイトルが登録されていないことがあります。その場合は、ネットワークに接続する(→準備編 14)と、インターネットを通じてGracenoteサーバーにアクセスし、最新のCDのタイトルやアーティスト情報などを自動的に取得することができます。

* 本機にはGracenoteデータベースから抜粋した、約35万アルバムのタイトルの情報が登録されています。

●CDによっては、情報が似ているほかのCDのタイトル情報を取得することができます。このときはHDDへの録音後、タイトルを修正してください。(→98)



■ Gracenoteについて

CDを入れたときなどに自動的にタイトルを検索しますので、特別な操作は必要ありません。



☞ 複数のタイトルが見つかったときは

[▲][▼]で該当するタイトルを選び、[決定]を押す
「該当なし」を選んだ場合は、「不明なアルバム」、「不明なアーティスト」として設定されます。

☞ タイトルが見つからなかったときは

「不明なアルバム」、「不明なアーティスト」として設定されます。

- タイトルが長い場合、曲一覧ではすべて表示できません。その場合はHDDへの録音後、「曲の内容確認」(→98)でタイトルを確認することができます。
- 本機の画面上では、Gracenoteデータベースを“Cddb”(CDデータベース)と省略して表示しています。
- Gracenoteデータベースへのアクセスに時間がかかる場合は、ネットワークに正しく接続されているかご確認ください。(詳しくは→準備編 14「ネットワーク接続をする」)

音楽CDを再生する

CD

音楽CDを入れる(→21)

Gracenoteデータベースで、CDのタイトル情報を自動取得します。

(→93「タイトルの自動取得について」)

•自動的に再生が始まります。

☞ CDのタイトル情報を再取得するには

[緑]を押す

☞ 別の曲を再生するには

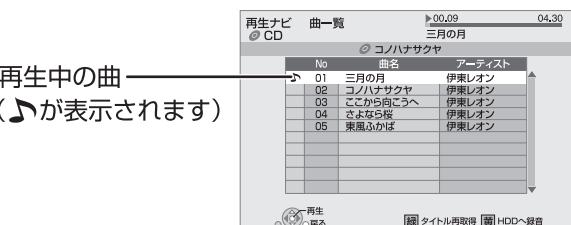
[▲][▼]で再生したい曲を選び、[決定]を押す

☞ 再生中のいろいろな操作(→97)



●録画中やダビング中は再生できません。

●テレビ画面への焼き付き低減のため、再生中に、約10分以上本機の操作を何も行わなかったときは、スクリーンセーバー画面が表示されます。(リモコンボタンを押すと、元の画面に戻ります)



再生中の曲
(♪が表示されます)

音楽CDをHDDに録音する

CD → HDD

音楽CD(CD-DA)の全曲を、HDDに録音します。(曲単位で録音することはできません)

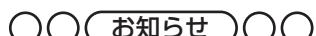
準備

- 録音するモードを設定する。
(→93, 114 初期設定「録音音質」)

録音速度(最高速時)

CD-Audio/CD-R/CD-RW(CD-DA)から
HDDへの録音: 最大約8倍速*

* CD-R/CD-RWでは、録音速度が遅くなる場合があります。



- HDDに録音できる曲数は、最大40000曲です。
- コピーコントロールCDなど、CD規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。
- HDD内の録音データは、定期的にバックアップすることをおすすめします。
(→100)
- 録音中は、録画や再生はできません。
また予約録画の実行はされません。

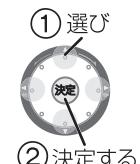
☞ 前の画面に戻るには

戻る
を押す

☞ 録音を止めるには

戻る
を3秒以上押す

基本操作

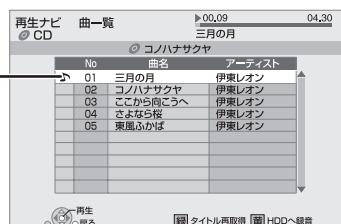


1 音楽CDを入れる(→21)

Gracenoteデータベースで、CDのタイトル情報を自動取得します。

(→93「タイトルの自動取得について」)

•自動的に再生が始まります。



再生中の曲
(♪が表示されます)

2 「曲一覧」画面で、を押す

- HDDに録音したアルバムの数が多くなると、録音開始の確認画面を表示するまでに時間がかかる場合があります。

3 「録音開始」を選び、を押す

- 録音が開始されます。

本体表示窓に、録音全体の進行状況が表示されます。(例: 録音が約61%まで終了)



HDDの曲をSDカードに転送する

HDD → SD

HDDの曲をSDカードに転送します。

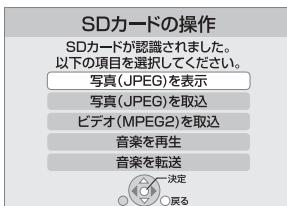
転送はアルバム単位、または「マイベスト」、「よく聴く曲」単位で行います。(曲単位で転送することはできません)

準備

- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「HDD」を選ぶ。
- SDカードを入れる。(→21)

SD

停止中に、SDカードをスロットに入れると、下記の画面が自動的に表示されます。



[▲][▼]で「音楽を転送」を選び、[決定]を押すと、右記の手順2に進むことができます。

- SDカード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取り込」は表示されません。

転送速度(最高速時)

HDDからSDカードへの転送:
最大約16倍速*

* HDD内の転送する曲がすべて、AACへの音楽圧縮が終了している場合

○○ お知らせ ○○

- SDカードは、転送前に本機またはSDオーディオ対応機器でフォーマットする必要があります。
- SDカードに転送できる曲数は、最大999曲、プレイリスト数は最大99です。
- SDカードにAAC以外の曲が記録されている場合、転送できる最大曲数、最大プレイリスト数は少なくなります。
- 1回の転送で転送できる曲数は、最大99曲です。
- AACへの音楽圧縮が終了していないアルバムを転送する場合、転送時間が通常よりも長くかかります。
- 同じアルバム、または「よく聴く曲」を2回以上転送した場合、同じ曲が転送した回数分重複してSDカードに記録されます。
- 「マイベスト」から転送する場合、SDカード内にすでに「マイベスト」の曲が存在していると、SDカードの「マイベスト」の曲は上書きされ、元の曲は「マイベスト」から外されます。(SDカード内には残ります)
- 本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。
- 転送中は、録画や再生はできません。また予約録画の実行はされません。

戻る 前の画面に戻るには

戻る を押す

戻る 画面を消すには

戻る を数回押す

戻る 転送を実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

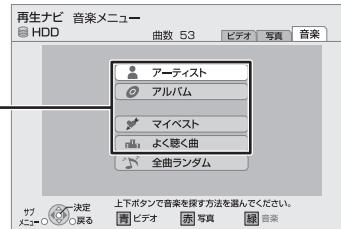
1 ライトボタンを押す



「音楽メニュー」を表示するには

[緑](音楽)を押す

メニュー項目



2 転送したい音楽をメニュー項目から選び、決定を押す

メニュー項目については(→96手順2)

・「アーティスト」を選んだ場合

- ① [◀][▶]でアーティストの頭文字を選ぶ
- ② [▲][▼]でアーティスト名を選び、[決定]を押す
- ③ [▲][▼]でアルバムを選び、[決定]を押す

・「アルバム」を選んだ場合

- ① [◀][▶]でアルバムの頭文字を選ぶ
- ② [▲][▼]でアルバムを選び、[決定]を押す

3 黄色のボタンを押す

4 「転送開始」を選び、決定を押す

- 転送が開始されます。

本体表示窓に、転送全体の進行状況が表示されます。(例: 転送が約61%まで終了)



SDカードを他の機器で楽しむ

以下の条件を満たした機器であることを、カタログなどでご確認ください。

• 「SDオーディオ」対応機器であること

「SD Audio」、「SD-Audio」のように表記されている場合もあります。

• AAC(64、96、128 kbps)が再生可能のこと

再生できる当社製機器のご紹介(2006年8月現在)

SDオーディオプレーヤー (D-snap)

- SV-SD770V/710
- SV-SD570V/510
- SV-SD370V/310 など

携帯電話

- NTTドコモ P902iS*
P902i* など

* AACのみの再生となります。

動作確認済みの機器については、当社ホームページ(→表紙)をご覧ください。

SDカードに転送した音楽について

著作権保護と、音楽文化の健全な発展と、正当な購入者の権利保護のために、暗号技術を利用したSDMI(セキュア・デジタル・ミュージック・インシアティブ)に対応しています。このため、SDカードをご利用いただくにあたり、下記の制限があります。

• 本機は音楽データを暗号化してSDカードに転送します。

暗号化された音楽データを別の機器に複写して使用することはできません。

• コピー制御情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

HDDやSDカードの音楽を再生する

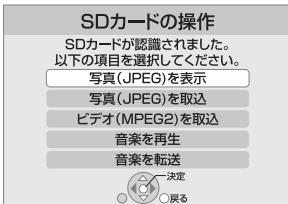
HDD SD

準備

- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、再生するドライブ（「HDD」または「SD」）を選択。
- SDカードを入れる。（→21）

SD

停止中に、SDカードをスロットに入れると、下記の画面が自動的に表示されます。



- [▲][▼]で「音楽を再生」を選び、[決定]を押すと、右記の手順 2 に進むことができます。
• SDカード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取込」は表示されません。

○○○お知らせ○○○

- 録画中やダビング中は再生できません。
- テレビ画面への焼き付き低減のため、再生中に、約10分以上本機の操作を何も行わなかったときは、スクリーンセーバー画面が表示されます。（リモコンボタンを押すと、元の画面に戻ります）

☞ 前の画面に戻るには

戻る
を押す

☞ 画面を消すには

戻る
を数回押す

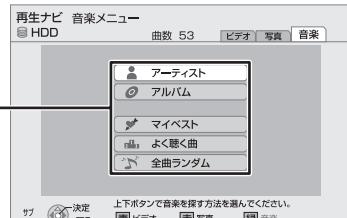
1 を押す



基本操作



メニュー項目



• HDDに録音したアルバムの数が多くなると、「音楽メニュー」を表示するまでに時間がかかる場合があります。

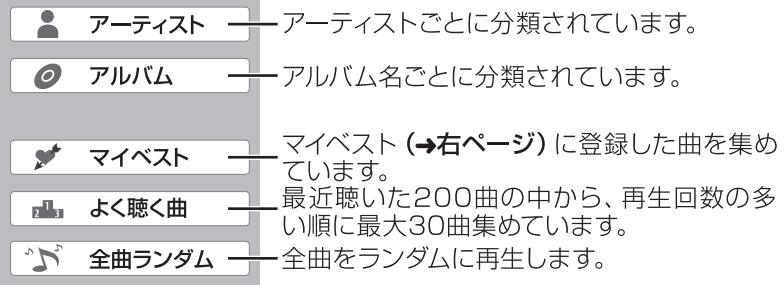
☞ 「音楽メニュー」を表示するには

[緑](音楽)を押す

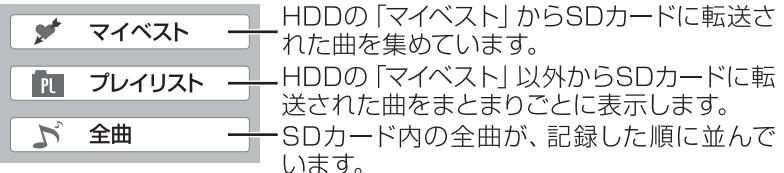
2 再生したい音楽をメニュー項目から選び、[決定]を押す

- メニュー項目によっては、曲の一覧が表示されるまで、繰り返し選び、[決定]を押します。

HDD



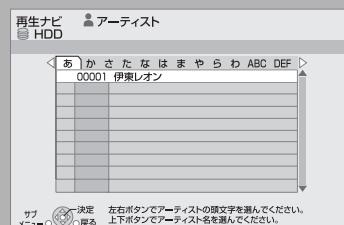
SD



- SDオーディオ規格準拠のAACの曲と、それを含むプレイリストのみ表示します。

例)「アーティスト」を選んだ場合

- ① [◀][▶]でアーティストの頭文字を選ぶ
- ② [▲][▼]でアーティスト名を選び、[決定]を押す
- ③ [▲][▼]で再生したいアルバムを選び、[決定]を押す



3 再生したい曲を選び、[決定]を押す

• 選んだ曲の再生が始まります。

再生中のいろいろな操作

HDD CD SD

停止	 停止 を押す	<ul style="list-style-type: none"> • CD 再生を止めた位置を一時的に記憶します。ただし、以下の場合は解除されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・再生ナビ画面上で[再生▶]または[決定]を押したとき ・トレイを開けてディスクを取り出したとき ・電源を切ったとき
一時停止	 一時停止 を押す	<ul style="list-style-type: none"> • もう一度押す、または[再生▶]を押すと、再生を再開します。
早送り・巻き戻し	 または  または  または  または  を押す	<ul style="list-style-type: none"> • [再生▶]で通常再生に戻ります。 • 音声は出ません。
スキップ	 再生中または一時停止中に、  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または  または または <img alt="スキップ/頭出し	

アルバム名や曲名などを編集する

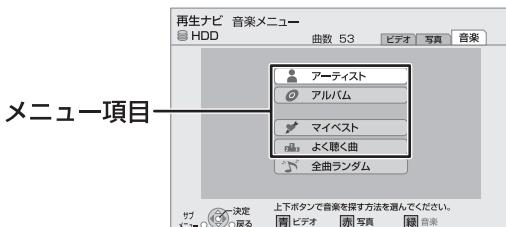
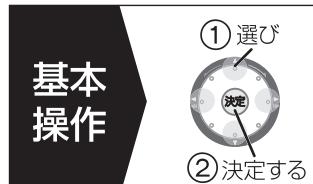
HDD SD

アルバム名や曲名などを編集します。

準備 • [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、ドライブ(「HDD」または「SD」)を選ぶ。

1 再生ナビ を押す

☞ 「音楽メニュー」を表示するには
[緑](音楽)を押す



☞ HDD「HDDの全曲消去」、「よく聞く曲のクリア」を行う場合、または
SD「カードの全曲消去」、「マイベストの全曲消去」を行う場合は
(→手順4へ)

2 編集したい音楽をメニュー項目から選び、決定 を押す

3 編集したいアルバム、または曲を選ぶ

☞ 「アーティスト」を選んだ場合

- ① [◀][▶]でアーティストの頭文字を選ぶ
- ② [▲][▼]でアーティスト名を選び、[決定]を押す
- ③ [▲][▼]でアルバムを選ぶ
 - アルバムを編集するときは、手順4へ
 - 曲を編集するときは、[決定]を押したあと、[▲][▼]で曲を選ぶ

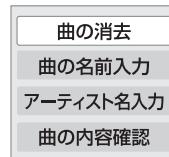
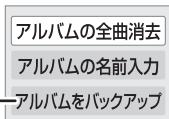
☞ 「アルバム」を選んだ場合

- ① [◀][▶]でアルバムの頭文字を選ぶ
- ② [▲][▼]でアルバムを選ぶ
 - アルバムを編集するときは、手順4へ
 - 曲を編集するときは、[決定]を押したあと、[▲][▼]で曲を選ぶ

4 サブメニュー (S) を押す

例) HDD アルバム選択中 例) HDD 曲選択中

操作方法は(→100)



5 編集する項目を選び、決定 を押す(→右記へ)

☞ 前の画面に戻るには

戻る を押す

☞ 画面を消すには

戻る を数回押す

HDDやSDカードの全曲を消去する
HDDの全曲消去

HDD

カードの全曲消去

SD

消去する

アルバムの全曲消去

アーティストの全曲消去

HDD

マイベストの全曲消去

プレイリストの全曲消去

SD

曲の消去

HDD SD

アルバム名・アーティスト名・曲名を変更する

アルバムの名前入力

アーティストの名前入力

曲の名前入力

アーティスト名入力

HDD

内容を確認する

曲の内容確認

HDD

「マイベスト」から外す

マイベストから除外

HDD

•「マイベスト」のときのみ

「よく聞く曲」から外す

よく聞く曲から除外

HDD

•「よく聞く曲」のときのみ

よく聞く曲の履歴を消去する

よく聞く曲のクリア

HDD

消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

1 [◀]で「はい」を選び、**決定**を押す

2 [◀]で「実行」を選び、**決定**を押す

消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、**決定**を押す

- HDDの「マイベスト」、「よく聴く曲」では消去できません。

1 「名前」が選ばれている状態で、**決定**を押す

2 文字を入力する(→107)

3 [▲][▼]で「読み」を選び、**決定**を押す

4 文字を入力する(→107)

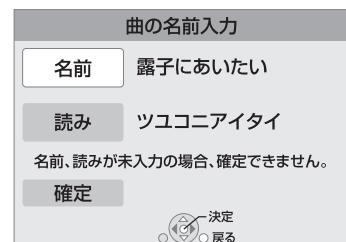
5 [▲][▼]で「確定」を選び、**決定**を押す

- アルバム名、アーティスト名の「読み」の頭文字が変更になると、それぞれの一覧で表示される順番が変わります。

曲のアーティスト名やアルバム名、録音音質などの確認ができます。

☞ 内容確認の画面を消すには

[戻る]を押す



[◀]で「マイベストから除外」を選び、**決定**を押す

- HDDから曲自体が消去されることはありません。

選択した曲の再生回数の情報を消去します。選択した曲は、「よく聴く曲」のリストから外れます。

- HDDから曲自体が消去されることはありません。

[◀]で「よく聴く曲から除外」を選び、**決定**を押す

曲の再生回数の情報をすべて消去します。「よく聴く曲」のリストを作り直したいときに便利です。

- HDDから曲自体が消去されることはありません。

[◀]で「よく聴く曲のクリア」を選び、**決定**を押す

バックアップする

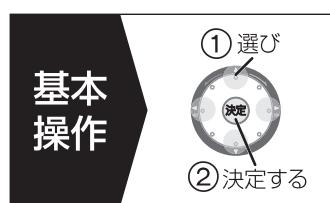
HDDのアルバムをDVD-RAMにバックアップする

本機内蔵のHDDは、振動・衝撃・熱などに弱く壊れやすい精密機器です。そのため、HDD内の録音データは、バックアップしておくことをおすすめします。本機は録音データをDVD-RAMにアルバム単位でバックアップします。(DVD-RAM以外のディスクにはバックアップできません)

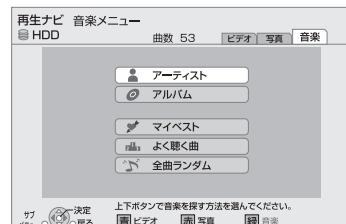
- バックアップするDVD-RAMは、バックアップ専用としてお使いください。(バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去すると、大切な録画番組などもいっしょに消去されてしまいます。)
- 本機は1回の操作で、1アルバムのみをバックアップします。複数のアルバムをバックアップしたいときは、下記の操作を繰り返してください。

- 準備** •DVD-RAMを入れる。(→21)
•[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「HDD」を選ぶ。

1  を押す



☞ 「音楽メニュー」を表示するには
[緑](音楽)を押す



2 「アーティスト」または「アルバム」を選び、を押す

- 「アーティスト」を選んだ場合は、アルバムの一覧が表示されるまで、繰り返し選び、[決定]を押します。(→96)

3 バックアップしたいアルバムを選び、を押す

4 「アルバムをバックアップ」を選び、を押す

5 「開始」を選び、を押す

- 進行状況が表示され、バックアップが始まります。
- バックアップが完了すると、メッセージが表示されます。

☞ 前の画面に戻るには

を押す

☞ バックアップ作業を中止するには

を3秒以上押す

- バックアップを中止すると、途中までの作業はすべてキャンセルされます。もう一度バックアップをやり直してください。

○○ お知らせ ○○

- バックアップデータは暗号化して記録されます。

このため、バックアップデータを再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。また、バックアップ元の機器でないと、バックアップデータの復元はできません。

DVD-RAMのバックアップデータをHDDに復元する

DVD-RAMに保存したバックアップデータの内容を、HDDに復元します。

万が一、HDDが故障してデータが損なわれた場合には、HDDの修理が完了してから復元を行ってください。

準備

- DVD-RAMを入れる。(→21)

- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「HDD」を選ぶ。

1



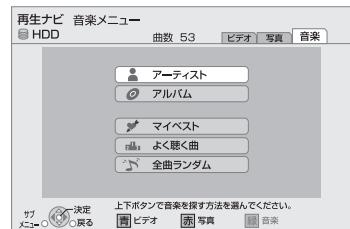
を押す

基本操作



☞「音楽メニュー」を表示するには

[緑](音楽)を押す



2



S を押す

3 「バックアップからの復元」を選び、決定を押す

4

復元したいアルバムを選び、決定を押す

5

「開始」を選び、決定を押す

•進行状況が表示され、復元が始まります。

•復元が完了すると、メッセージが表示されます。

☞ 前の画面に戻るには



☞ 復元作業を中止するには



•中止した場合、途中までの作業がすべてキャンセルされます。もう一度復元をやり直してください。

○○ お知らせ ○○

•本機は1回の操作で、1アルバムのみを復元します。複数のアルバムを復元したいときは、上記の操作を繰り返してください。

•復元後本機で再生してみて、正しく復元できていることを確認してください。

バックアップする

音楽

番組・写真・音楽を消去する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V)

-RW(VR) -RW(V) SD

(ファイナライズしたディスクではできません)

準備

- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、消去したい記録内容が入っているドライブ(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。
- ディスクやカートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除してください。(→105)
- 消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。
- カセットに記録された番組は、消去できません。

消去後のディスク・SDカードの残量について

• HDD RAM -RW(VR)

記録した番組(または写真や音楽)を消去すると、消去した分、ディスク残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます			
番組または 写真、音楽	1	番組または 写真、音楽	2

• -RW(V)

最後に記録した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

消去しても残量は増えません			
番組 1	番組 2	…	最後に記録した番組 残量

• SD

記録した写真(または音楽)を消去すると、消去した分、カード残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます			
写真または音楽1	写真または音楽2	…	最後に記録した写真または音楽 残量

• -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V)

消去しても残量は増えません。

消去しても残量が増えない
ディスクもあるんだね。



前の画面に戻るには

戻る
を押す

画面を消すには

戻る
を数回押す

音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(→113)

消去ナビを使って消去する

不要になった番組などを一覧画面から簡単に選んで消去することができます。

1 停止中に、 を押す

基本操作



① 選び

② 決定する

2 「消去する」を選び、 を押す(→右ページへ)



☞ HDD RAM

「番組一覧」を表示するには(番組を消去する場合)
[青](ビデオ)を押す

☞ HDD RAM SD

「写真のアルバム一覧」を表示するには(写真を消去する場合)
[赤](写真)を押す

☞ HDD SD

「音楽メニュー」を表示するには(音楽を消去する場合)
[緑](音楽)を押す

番組や写真を再生中に消去する

1 再生中に、 を押す

• スライドショー再生中は、写真の消去はできません。

2 []で「消去」を選び、 を押す



番組を消去する

1 [▲][▼]で消去する番組を選び、**決定**を押す

☞ **まとめ** アイコンの番組を選んだときは(HDDのみ)

まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

[▲][▼]で消去したい番組を選び、[決定]を押す

2 [◀]で「消去」を選び、**決定**を押す

アルバム単位
で消去する

1 [▲][▼][◀][▶]で消去するアльバムを選び、**リセット 消去**を押す

2 [◀]で「消去」を選び、**決定**を押す

写真単位で
消去する

1 [▲][▼][◀][▶]で消去する写真のあるアльバムを選び、**決定**を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で消去する写真を選び、**決定**を押す

3 [◀]で「消去」を選び、**決定**を押す

アーティスト・
アルバム
単位で消去する

1 [▲][▼]で消去する音楽を探す方法を選び、**決定**を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で消去するアルバムまたはアーティストを選び、**リセット 消去**を押す

3 [◀]で「消去」を選び、**決定**を押す

曲単位で
消去する

1 [▲][▼]で消去する音楽を探す方法を選び、**決定**を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で消去する曲のあるアルバムまたはアーティストを選び、**決定**を押す

3 [▲][▼]で消去する曲を選び、**決定**を押す

4 [◀]で「消去」を選び、**決定**を押す

前後のページを表示するには

[◀◀](前ページ)または

[▶▶](次ページ)を押す

●写真の消去ナビ画面の場合は、[▲][▼][◀][▶]で「前ページ」または「次ページ」を選び、[決定]を押しても、ページの切り替えができます。

複数の番組などをまとめて消去するには

[▲][▼]([◀][▶])で番組などを選び、[一時停止II]を押す操作を繰り返す

●が表示されます。もう一度[一時停止II]を押すと解除されます。

写真を消去する

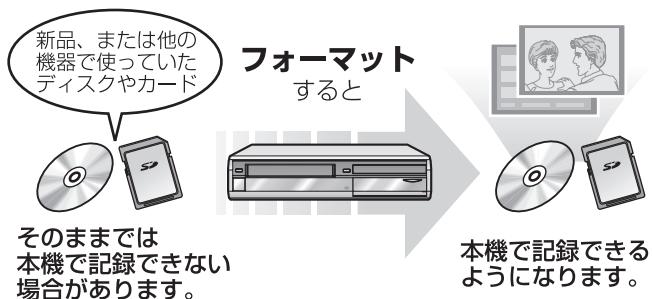
消去ナビ画面上(上記手順1など)では[サブメニュー]を使って、内容確認やプロテクト解除などの操作を行えます。

サブメニュー操作について

- 「番組一覧」(→64手順2)
- 「アルバム一覧」(写真)(→88手順2)
- 「写真一覧」(→88手順2)
- 「音楽メニュー」(→98手順2または3)

フォーマット/ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去

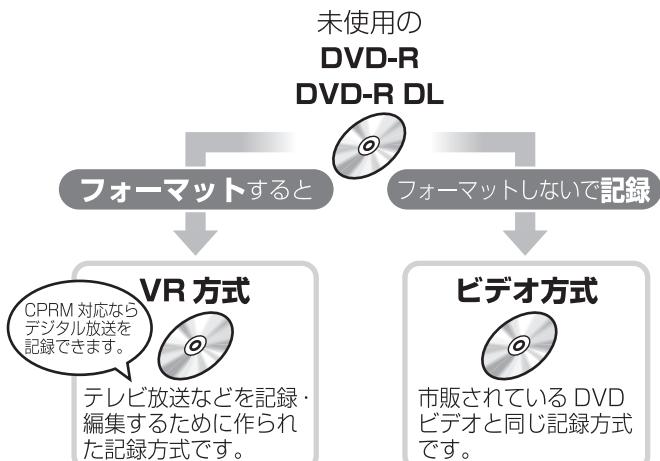
フォーマットとは



フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。(パソコンデータなども含む)
すべて消去してよいか確認してから行ってください。
(番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます)

DVD-R、DVD-R DLの記録方式とフォーマットについて

- VR方式で記録したい場合は、記録前にフォーマットを行ってください。
- 本機では、DVD-R、DVD-R DLをフォーマットせずに使用した場合、ビデオ方式で記録します。



記録方式については(→9)

DVD-RWのフォーマットについて

- 本機では、VR方式またはビデオ方式のどちらの記録方式でフォーマットするかを選ぶことができます。

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(→113)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR)
-RW(V) SD

準備

- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したいドライブ(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選択。
- ディスクやSDカードを編集する場合は、ディスクやSDカードを入れる。(→21)
- ディスクやカートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(→右ページ)



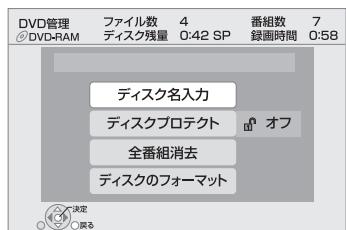
- 停止中に、 を押す
- 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

- 「HDD管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

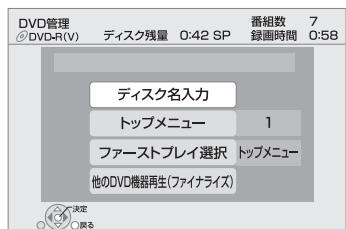
ドライブによって、それぞれ以下のメニューを選んでください。

- ドライブが「HDD」の場合 :「HDD管理」
- ドライブが「DVD」の場合 :「DVD管理」
- ドライブが「SD」の場合 :「カード管理」

例) RAM



例) -R(V)



- 操作したい項目を選び、決定 を押す
(→右ページへ)

左ページ手順1～4のあとに操作します。

ディスクに名前を付ける

ディスク名入力

RAM -R(VR) -R(V)

-R DL(VR) -R DL(V)

-RW(VR) -RW(V)

(ファイナライズしたディスクにはできません)

☞ 文字入力については(→107)

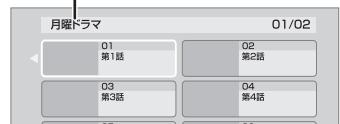
- 未使用のDVD-R、DVD-R DLにディスク名を入力すると、ビデオ方式になります。VR方式で記録したい場合は、先にフォーマットしてください。(→下記)

入力したディスク名は、「DVD管理」画面に表示されます。



-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



誤消去防止の設定/解除

ディスクプロテクト

RAM -R(VR)

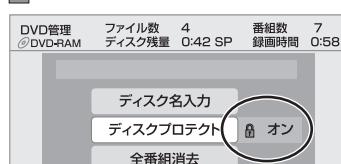
-R DL(VR) -RW(VR)

(ファイナライズしたディスクにはできません)

ディスクの内容を誤って消去しないように設定できます。

[◀]で「プロジェクト設定」または「プロジェクト解除」を選び、[決定]を押す

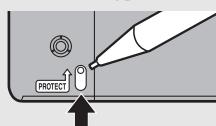
- プロジェクト設定すると「 オン」が表示されます。



カートリッジ付きDVD-RAMやSDカードの場合

本機で左記の設定をしなくても、ディスクやカードで誤消去防止設定ができます。

カートリッジ付きディスク SDカードなど



スイッチを「LOCK」側にする。

番組をすべて消去する

全番組消去

HDD RAM -R(VR)

-R DL(VR) -RW(VR)

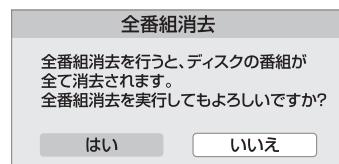
(ファイナライズしたディスクではできません)



実行すると元に戻すことはできません。

よく確認してから実行してください。

例) HDD



1 [◀]で「はい」を選び、[決定]を押す

2 [◀]で「実行」を選び、[決定]を押す

○○ お知らせ ○○

- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- プロジェクトを設定した番組がある場合は、働きません。
- HDD RAM 写真または音楽データは消去されません。
- R(VR) -R DL(VR) 消去しても残量は増えません。

ディスクやSDカードを初期化する

HDDのフォーマット

HDD

ディスクのフォーマット

RAM -RW(VR)

-RW(V)

フォーマット(VR方式)

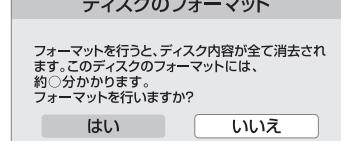
-R(V) -R DL(V)

(未使用のディスクのみ)

カードのフォーマット

SD

例) RAM



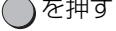
1 [◀]で「はい」を選び、[決定]を押す

2 [◀]で「実行」を選び、[決定]を押す

- フォーマットが始まります。通常は数分(HDD最大約70分)かかります。

☞ フォーマットを中止するには

戻る



- RAM -RW(VR) フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

○○ お知らせ ○○

- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- CD-R/RW、記録済みのDVD-R、DVD-R DLはフォーマットできません。
- 本機では未使用のDVD-R、DVD-R DLをフォーマットすると、VR方式になります。(フォーマットすると、ビデオ方式では記録できなくなります)



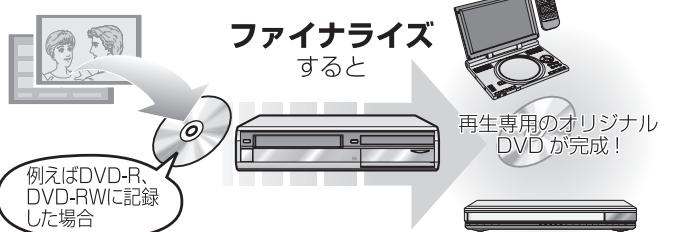
1 [◀][▶]で「VR方式」または「ビデオ方式」を選び、[決定]を押す

2 [◀]で「実行」を選び、[決定]を押す

- フォーマットが始まります。通常は数分かかります。

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

ファイナライズとは



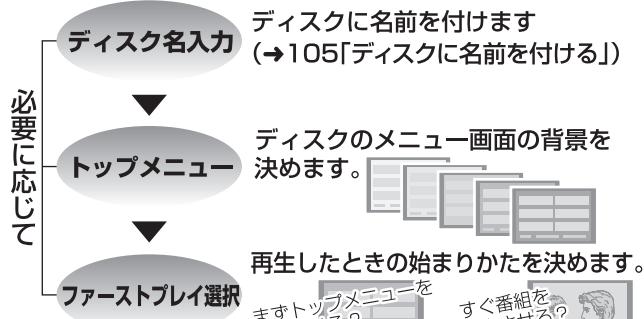
そのままでは
他のDVD機器で
再生できません。

-R(VR)・-R DL(VR)・-RW(VR) はファイナライズしても、
-R(VR)・-R DL(VR)・-RW(VR) の再生に対応した機器でしか再生でき
ません。

- 他のDVD機器で再生するには、それぞれの機器がファイナライズしたディスク(記録方式)の再生に対応している必要があります。
- 本機でファイナライズしたディスクでも、記録状態によっては他の機器で再生できない場合があります。

104ページ手順1~4のあとに操作します。

ファイナライズの前に



ファイナライズ 「他のDVD機器再生(ファイナライズ)
を実行する。

これで再生専用のオリジナルDVDが完成です。

メニュー画面の 背景を設定する

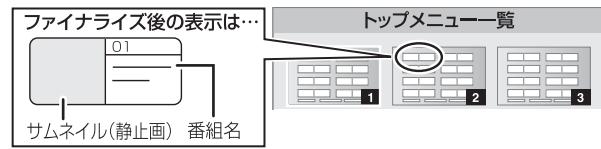
トップメニュー

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

[▲][▼][◀][▶]でお好みの背景を
選び、決定を押す

- トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(→64「サムネイル変更」)



再生の始まりかた を設定する

ファーストプレイ選択

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生の始まりかたを設定できます。

[▲][▼]で「トップメニュー」または「タイトル1」を
選び、決定を押す

トップメニュー：再生時、メニュー画面を表示する

タイトル1：再生時、ディスクの先頭(タイトル1)から再生する

ファーストプレイ選択

トップメニュー

タイトル1

他のDVD機器で 再生できるように する

他のDVD機器再生 (ファイナライズ)

-R(VR) -R(V)
-R DL(VR) -R DL(V)
-RW(VR) -RW(V)

1 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

2 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

- ファイナライズが始まります。実行中は中止できません。

- ファイナライズは、数分から最大約15分(-R DL(VR)・-R DL(V)・-RW(VR))最大約60分)かかります。

- 高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(最大で約4倍)

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。
ディスクが使えなくなることがあります。

他のDVD機器再生(ファイナライズ)

他のDVD機器で再生するには、ファイナライズが必要です。開始すると約○分かかります。
ファイナライズを行いますか?

はい

いいえ

ファイナライズを 解除する

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除して、ダビングや編集を行えるようにします。

1 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

2 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

戻る 前の画面に戻るには

戻る を押す

戻る 画面を消すには

戻る を数回押す

文字入力

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

SD

録画した番組などに名前を付けることができます。

基本操作

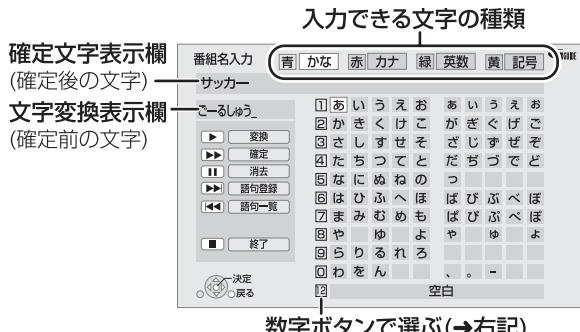


1 入力画面を表示する

予約番組の番組名(→47「番組名入力」)
記録済みの番組の番組名(→64「番組名入力」)
ディスク名(→105「ディスク名入力」)
写真のアルバム名(→88「アルバム名入力」)
音楽のアルバム名、アーティスト名、曲名(→98)

2 青 (かな)、赤 (カナ)、緑 (英数)、 黄 (記号)で文字の種類を選び、決定を押す

- [▲][▼][◀][▶]で文字の種類を選び、[決定]を押しても、文字の種類が選べます。
- 漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。



数字ボタンで選ぶ(→右記)

3 入力する文字を選び、決定を押す

☞ ひらがなを入力するには
[早送り▶] (確定)を押す

☞ ひらがなを漢字変換するには

- ① [再生▶] (変換)を押す
• 変換候補選択画面が表示されます。
- ② [▲][▼]で変換したい漢字の候補を選び、[決定]を押す
• [◀◀]または[▶▶]を押すと、前ページまたは次ページの変換候補選択画面が表示されます。
• [戻る]を押すと、入力画面に戻ります。

☞ よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出すには(→右記)

☞ 消去するには
[一時停止II] (消去)を押す

- 確定文字表示欄では“_”の部分に文字が挿入されます。
- この手順を繰り返し、複数の文字を入力します。

4 入力が終わったら、停止 (終了)を押す

- 番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

☞ 前の画面に戻るには ☞ 途中で終わるには

戻る
を押す

戻る
を数回押す

(入力した文字は保存されません)

登録できる語句数: 20個まで
登録できる文字数(1個あたり):

英数 先頭から20文字
その他 先頭から10文字

1 登録したい語句を入力する

スクリプト出し (語句登録)を押す

2 [◀]で「登録」を選び、決定を押す

☞ 登録を中止するには

戻る
を押す

1 スクリプト出し (語句一覧)を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で呼び出す語句を選び、決定を押す

- 確定文字表示欄に選んだ語句が入力されます。

1 スクリプト出し (語句一覧)を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で消去する語句を選び、決定を押す

- 「語句消去」が選ばれている状態で、[決定]を押す

4 [◀]で「消去」を選び、決定を押す

よく使う語句を登録する

登録した語句を呼び出す

登録した語句を消去する

数字ボタン[1]～[10/0]、[12*]でも文字を入力できます。

例: ひらがな「す」を選ぶ場合

1 [3]を押す

- 「さ」行に移動します。

2 [3]を2回押し、[決定]を押す

- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。



入力できる文字数について

	種類	英数	その他
HDD	番組名※	64	32
	写真のアルバム名	36	18
	曲名	118	59
	音楽のアルバム名	118	59
	アーティスト名	78	39
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	番組名※	64	32
	写真のアルバム名 (RAMのみ)	36	18
	ディスク名	64	32
	番組名	44	22
-R(V) -R DL(V) -RW(V)	ディスク名	40	20
	写真のアルバム名	36	18
SD			

※予約録画時 英数: 44文字 その他: 22文字

○○○お知らせ○○○

• 予約録画時の番組名など、入力したすべての文字が表示されない画面もあります。

他の機器で再生できるようにする (ファイナライズ) / 文字入力

便利機能

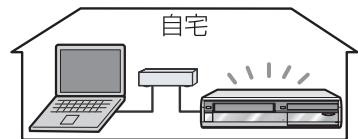
自宅にあるパソコンで操作する

本機と接続したパソコンやブラウザ(→134)機能を持っているテレビで以下の遠隔操作ができます。

・番組編集 :HDDに録画されている番組の番組名入力や消去

・レコーダー操作 :本機の(予約)録画、電源入/切など

ただし、ブラウザ機能を持っているテレビ(当社製Tナビ)では、番組名入力はできません。



☞ 携帯電話や外出先のパソコンから操作したいときは(→準備編 45)

- 準備**
- ・ネットワーク接続をする。(→準備編 14)
 - ・ネットワークの設定をする。(→準備編 42)
 - ・ブロードバンドレシーバーの設定をする。(→117)

1 インターネット閲覧(ブラウザ)ソフトを起動させ、本機のIPアドレス(→準備編 45、手順4で確認)をアドレス欄に入力する

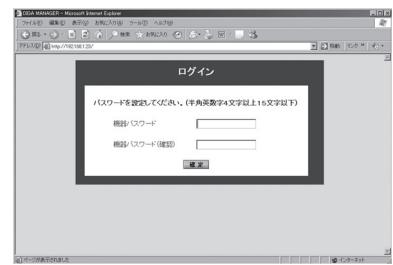
- ・ログイン画面が表示されます。
- ・ブラウザ機能を持っているテレビ(当社製Tナビ)でのIPアドレス入力について、詳しくはご使用のテレビの説明書をご覧ください。

☞ ログイン画面が表示されないときは
(Internet Explorer® 6.0 の場合)

インターネット閲覧(ブラウザ)ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリ アネットワーク(LAN)の設定」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

- ・初めてログインするときは機器パスワードが未設定ですので、ここで設定してください。
2回目以降のログイン時は、設定した機器パスワードを入力します。
- ・サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。



☞ 機器パスワードとは
(→準備編 52「機器パスワードとは何か」)

☞ 機器パスワードを忘れたときは
(→130「機器パスワードを忘れた」)

3 操作内容を選ぶ

- ・各操作は画面の指示に従い、行ってください。

番組編集

HDDに録画されている番組の番組名入力や消去ができます。

- ・番組の消去をする場合は、初期設定「ネットからの番組消去機能」を「入」にしてください。(→117)

レコーダー操作

本機の(予約)録画、電源入/切などができます。

ヘルプ

操作方法などの説明を見ることができます。

ログアウト

操作を終了します。



いろいろな情報を見る(メール/情報)

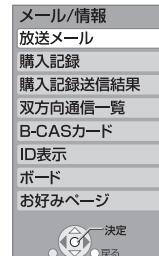
放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

1  を押す

2 [▲][▼]で「他の機能へ」選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「メール / 情報」選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]で確認する項目選び、[決定]を押す



☞ 前の画面に戻るには

戻る
を押す

☞ 画面を消すには

戻る
を数回押す

メール/情報の基本操作

放送メール

放送メールには、放送局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。

[▲][▼]で確認したいメール選び、[決定]を押す

- 本機の機能向上のためのダウンロード情報が届いたときに、メールの内容画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。ダウンロードの予約を「する」または「しない」を選んでください。「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約5分前には、電源を切っておいてください。
※ダウンロード予約の設定が「自動」の場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行われます。

☞ ダウンロード予約の設定については(→準備編 38)

- メールが最大保存数を超えると、未読/既読に関係なく、日付の古い順に消去されます。また、最大保存数を超えていなくても、受信から14日経過したメールは消去されます。
- メールはお客様自身で消去することはできません。
- メールの送信や返信はできません。

購入記録

購入した有料番組を確認できます。

- 価格改定などにより請求金額は異なる場合があります。

☞ 累計金額をリセット(0円に戻す)するには

- ① [取消し/11#]を押して、リセット画面を表示させる
- ② [◀]で「はい」選び、[決定]を押す
●リセットした項目は、うすい文字で表示されます。

購入記録 送信結果

有料番組の購入情報が正しく送信されているかどうか確認します。

- 前回の送信結果として、送信失敗のために再送信をうながす旨が表示される場合があります。その場合は「送信」を選び、[決定]を押すと再送信できます。

☞ 累計金額をリセット(0円に戻す)するには

- ① [取消し/11#]を押して、リセット画面を表示させる

- ② [◀]で「はい」選び、[決定]を押す
●リセットした項目は、うすい文字で表示されます。

双向通信一覧

データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。

B-CASカード

契約されている各委託放送事業者のカスタマーセンターへの問い合わせのときなど、B-CASカードの番号が必要なときに使用します。

ID表示

当社の「お客様ご相談センター」への問い合わせのときなど、本機の情報を調べたいときに使用します。

☞ 他の情報を見るには

- [青]を押すと、本機のソフト情報を表示。
- [赤]を押すと、データ放送時のルート証明書情報を表示。

ボード

110度CSデジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

- ① [▲][▼]で「CS1ボード」または「CS2ボード」選び、[決定]を押す
- ② [▲][▼]で確認したい情報を選び、[決定]を押す

ボード

CS1ボード
CS2ボード

CS1ボード:「CS1」からの情報
CS2ボード:「CS2」からの情報

お好みページ

データ放送の画面上で、「お好みページ」の登録操作を行ったときに登録されます。今後、このようなデータ放送が徐々に増えてくる予定です。(2006年8月現在)ただし、ページによっては本機で登録や表示ができないものがあります。

[▲][▼]で実行したいタイトル選び、[決定]を押す

- 登録されている内容に従った動作が行われます。例えば、指定されたテレビ放送のチャンネルに切り換わったりします。

☞ お好みページを削除したり自動で消去するには

- ① [サブメニュー]を押す
- ② 削除する場合は「削除」選び、[決定]を押す
●データ放送からの指示により自動で消去してもよい場合は、「消去許可設定」で「許可」を選んだあと、「更新」選び、[決定]を押す。

放送設定を変える(放送設定)

放送設定一覧(→下記～112)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

1  を押す

2 [▲][▼]で「他の機能へ」選び、**決定**を押す

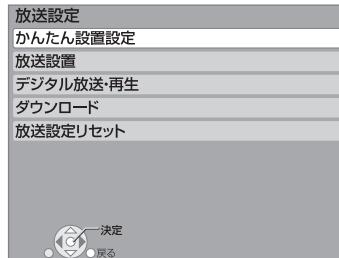
3 [▲][▼]で「放送設定」選び、**決定**を押す

4 [▲][▼]でメニュー選び、**決定**を押す

5 [▲][▼]で設定項目選び、**決定**を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [<◀][▶]で設定内容を変更する



☞ 前の画面に戻るには

- 戻る
- を押す

☞ 画面を消すには

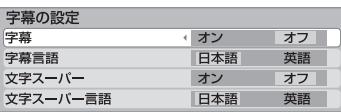
- 戻る
- を数回押す

○○ お知らせ ○○

- 操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。
- [決定]を押すときは、周囲の回転部をいっしょに押さないようお気をつけください。

放送設定の基本操作

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
設 置 設 定	かんたん設置設定(→準備編 22)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	→ [決定]を押して、さらに設定します。	
	チャンネル設定(→準備編 46～50)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上アナログ	
	地上デジタル	
	BS	
	CS1	
	CS2	
	スキップ設定	▶ 視聴する ▶ スキップする:[放送/入力切換]を押しても選択できなくなります。
	番組表設定(→準備編 33)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Gガイド地域設定	▶ 札幌～沖縄:(「かんたん設置設定」の実行で自動的に設定)
	番組表受信設定	BS908:(放送局からの案内がない限り、変更しないでください)
	Gガイド受信確認	Gガイド受信スケジュールを確認できます。
放 送 設 置	地域設定(→準備編 38)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	県域設定	▶ 東北海道～沖縄県
	郵便番号	----- (郵便番号)
	地域設定消去	▶ はい ▶ いいえ
	受信設定(→準備編 34)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上デジタル	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アンテナーター	▶ オン ▶ オフ
	物理チャンネル選択	▶ 物理チャンネル入力 -- CH
	物理チャンネル(→準備編 57)を指定してアンテナレベルを確認します。	
	衛星	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アンテナ電源	▶ オン ▶ オフ 「オン」にした場合、テレビ側でBS・110度CSデジタル放送の受信ができない、または映りが悪くなることがあるため、テレビ側の衛星アンテナ電源を「入(オン)」にしてください。
	トランスポンダ選択	BS-1～BS-15、CS-2～CS-24
	衛星周波数 (放送局からの案内がない限り、変更しないでください)	---.---- GHz

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
放送設置(つづき)	電話設定(→準備編 40)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	回線設定	▶自動 ▶プッシュ ▶ダイヤル20 ▶ダイヤル10
	トーン検出 「回線設定」(→上記)が「自動」以外のときに設定できます。	▶する ▶しない
	内線設定	----- (内線番号)
	電話テスト	---
	発信者番号通知	▶指定なし ▶通知する ▶通知しない
	電話会社設定	----- (電話会社番号)
	マイラインプラス 「電話会社設定」(→上記)を設定したときのみ設定できます。	▶解除する ▶解除しない
	B-CASカードテスト(→準備編 38)	---
	ネットワーク設定(→準備編 42)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	接続テスト	---
	IPアドレス自動取得	▶する ▶しない
	IPアドレス	-----
	サブネットマスク	-----
	ゲートウェイアドレス	-----
DNS-IP自動取得	▶する ▶しない	
プライマリDNS	-----	
セカンダリDNS	-----	
接続速度自動設定	▶オフ ▶オン	
接続速度設定 「接続速度自動設定」(→上記)が「オフ」時のみ設定できます。	▶10BASE半二重 ▶10BASE全二重 ▶100BASE半二重 ▶100BASE全二重	
MACアドレス	* * - * * - * * - * * - * * (MACアドレス表示)	
ブラウザ設定(→準備編 44)	→[決定]を押して、さらに設定します。	
標準に戻す	▶はい ▶いいえ	
プロキシアドレス	(初期値は空欄)	
プロキシポート番号	(初期値は0)	
字幕の設定 デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。 録画モード「DR」以外で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時にはその設定内容で再生されます。	→[決定]を押して、さらに設定します。  <ul style="list-style-type: none"> ●「字幕」/「文字スーパー」が「オン」でも、字幕/文字スーパーのない番組や設定した言語の字幕/文字スーパーがない場合、字幕/文字スーパーは表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。 ●地上アナログ放送の文字放送(字幕)は見られません。 	
字幕	▶オン ▶オフ	
字幕言語	▶日本語 ▶英語	
文字スーパー	▶オン ▶オフ	
文字スーパー言語	▶日本語 ▶英語	

放送設定を変える(放送設定)(つづき)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
	制限項目設定 <ul style="list-style-type: none"> 年齢や購入金額の上限を設定できます。 上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。入力すると番組を見ることが出来ます。 年齢制限を超える番組は、番組表(Gガイド)などで「…」と表示されます。 	<p>→[決定]を押して、さらに設定します。</p> <p>画面の指示に従って[1]～[10/0]を押し、暗証番号(4けた)を入力する</p> <ul style="list-style-type: none"> 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。 初めて入力するときは番号を2回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。 <p>○○○お知らせ○○○</p> <ul style="list-style-type: none"> 4けたの暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。 <ul style="list-style-type: none"> 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。
	視聴可能年齢	▶無制限 ▶4才～19才(1才刻み)
	一番組限度額	▶無制限 ▶100円 ▶500円 ▶1000円 ▶1500円 ▶2000円 ▶2500円 ▶3000円
	暗証番号変更	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は残ります。
	暗証番号取消し	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は「無制限」に戻ります。
デジタル放送・再生(つづき)	設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。	
	<ul style="list-style-type: none"> 暗証番号を入力すると、番組が映ります。 「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。 	
ロード	選局対象 デジタル放送で [チャンネルへ,▽] を押して順送りできるチャンネルを選びます。	<ul style="list-style-type: none"> 好み:リモコンの[1]～[12*]に設定されているチャンネルとデジタル放送で設定した13～36までのチャンネル テレビ:テレビ放送(映像+音声)のチャンネルのみ ラジオ:ラジオ放送(音声)のチャンネルのみ データ:データ放送のチャンネルのみ すべて:受信できるすべてのチャンネル
	ダウンロード予約(→準備編 38) デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	<ul style="list-style-type: none"> 自動:電源「切」時に、自動的にダウンロードします。 手動:情報が届いた場合、メールで知らせます。 (→109「放送メール」)
放送設定リセット	設定項目リセット 放送設定「受信設定」の「衛星」(→110)、放送設定「電話設定」(→111)をお買い上げ時の設定に戻します。	<ul style="list-style-type: none"> はい ▶いいえ
	個人情報リセット 初期設定項目(→113～117)[時刻(年/月/日/時/分)は除く]、放送設定項目(→110～112)をお買い上げ時の設定に戻します。 また、本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)や、予約一覧画面(→49)の内容も消去されます。 廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。	<p>→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。</p> <p>▶はい ▶いいえ</p> <p>○○○お知らせ○○○</p> <ul style="list-style-type: none"> 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。 HDDに録画された番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(→105)を行ってください。

本機の設定を変える(初期設定)

初期設定一覧(→下記~117)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

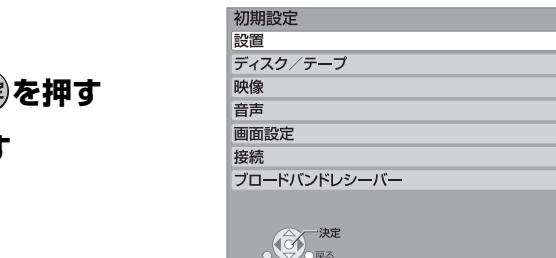
- 1  を押す
- 2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、 を押す
- 3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、 を押す
- 4 [▲][▼]でメニューを選び、 を押す
- 5 [▲][▼]で設定項目を選び、 を押す
 - さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。
- 6 [▲][▼][◀][▶]で設定内容を選び、 を押す

☞ 前の画面に戻るには

 を押す

☞ 画面を消すには

 を数回押す



○○○お知らせ○○○

●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
設置	自動電源[切] 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2時間 ▶6時間 ▶切 時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード(→準備編 36)	▶リモコン1 ▶リモコン2 ▶リモコン3
	ワイドモード テレビのS映像入力に合わせて出力を設定します。 (→準備編 28) (→135「S映像出力」)	▶S1 :テレビの端子が「S1」のとき ▶S1/S2 :テレビの端子が「S1」または「S2」のとき ▶切 :テレビの端子が「S」、またはテレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき
	時刻合わせ(→準備編 36)	▶(年/月/日/時/分) ▶自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「かんたん設置設定」などの実行時に、音声で操作ガイドを行います。	▶入 :本書の  マーク部分で働きます。(詳しくは→6) ▶切
	クイックスタート 「入」に設定すると、電源「切」状態から以下の操作がすばやく行えるようになります。(映像またはS映像コード接続時) ・[番組表]を押して約0.9秒後※に、番組表(Gガイド)を表示します。(→30) ※D端子ケーブルやHDMIケーブルで接続している場合は、さらに数秒かかります。 ・テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れことがあります。 ・そのほかの操作は、電源を入れてから数十秒かかります。	▶入 ▶切 「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 <ul style="list-style-type: none">●待機時消費電力が増えます。●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブやHDDから動作音がしますが、故障ではありません。)●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
	初期設定リセット 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 (時刻と視聴制限は除く)	▶する ▶しない 初期設定リセットを行うと、本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は(本体表示窓に“U30”と表示)、リモコンモードを変更してください。(→準備編 37「本体表示窓に“U30”と表示されたとき」)

本機の設定を変える(初期設定)(つづき)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
	再生設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。 ●暗証番号は忘れないでください。	▶ レベル8 すべて視聴可 :すべてのディスクが視聴可。 ▶ レベル7～1 :制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可。 ▶ レベル0 すべて視聴不可 :すべてのディスクが視聴不可。 ▶ ロック解除 ▶ 暗証番号変更 ▶ レベル変更 ▶ 一時解除
	音声言語 DVDビデオ再生時の音声を選びます。	▶ 日本語 ▶ 英語 ▶ オリジナル (ディスクの最優先言語で再生) ▶ その他＊＊＊
	字幕言語 DVDビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶ オート : 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶ 日本語 ▶ 英語 ▶ その他＊＊＊
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶ 日本語 ▶ 英語 ▶ その他＊＊＊
	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。 (録画モード→35)	▶ 6時間 :4.7 GBディスクに6時間記録 ▶ 8時間 :4.7 GBディスクに8時間記録
	高速ダビング用録画 -R(V) -R DL(V) -RW(V) HDDに録画した番組を、高速ダビングできるようになります。ただし録画される番組は画面サイズなどが制限されます。(→右記) 「切」に設定していると、右記の制限はかかりませんが、-R(V) -R DL(V) -RW(V) への高速ダビングはできなくなります。 ●この設定は、アナログ放送や外部入力(DV入力含む)から録画するとき、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングするとき、VHSからダビングするときに有効です。	▶ 入 :高速ダビング対応にする →[決定]を押して、さらに「はい」を選びます。 ・記録される番組には以下の制限がかかります。 - 画面サイズは「ビデオ方式の記録アスペクト」(→下記)の設定に従って記録されます。 - 二重放送の音声は「二重放送音声記録」(→右ページ)で選んだほうの音声のみ記録されます。 - 放送受信中の音声を切り換えることはできなくなります。 - 二重放送の音声は、「二重放送音声記録」(→右ページ)で選ばれているほうが出力されます。 ▶ 切
	ビデオ方式の記録アスペクト 記録時のアスペクトの設定をします。この設定は、以下の場合に有効です。 ●-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングするとき ●HDD「高速ダビング用録画」(→上記)を「入」にして、地上アナログ放送や外部入力からの番組を録画するとき ●HDD「高速ダビング用録画」(→上記)を「入」にして、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)またはVHSからダビングするとき	▶ オート :番組の記録開始時のアスペクトに従って記録します。 ▶ 4:3 ▶ 16:9
	DVDの高速ダビング速度 高速モードでのダビング速度を設定します。 (RAM 5X、-R(VR) -R(V) 8X以上の高速記録対応ディスクの場合など)	●録画モード「EP」、「FR(EPモード相当の画質)」での記録時は、設定にかかわらず4:3で記録されます。 ●VHSからダビングする場合は、「オート」に設定していると、4:3で記録されます。16:9映像をダビングするときは、「16:9」に設定することをおすすめします。
	HDD音楽録音設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	録音音質 音楽CDからHDDへ録音する場合の音質を選びます。	▶ LPCM :音楽CDと同じ音質 ▶ AAC(XP) :AAC約128 kbps ▶ AAC(SP) :AAC 約 96 kbps ▶ AAC(LP) :AAC 約 64 kbps
	VHS設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	テープ長さ ●DVHSカセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。	▶ -120 :T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき ▶ -160 :T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)カセットを使うとき ▶ 180 :T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
映像	スチルモード HDDまたはディスク再生時、一時停止中の画像の表示方法が選べます。(→134「フレーム/フィールド」)	▶オート ▶フィールド：動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき ▶フレーム：「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 HDDまたはディスク再生時、番組と番組のつなぎ目や部分消去した部分などの再生する状態が選べます。(DRモードの番組には、この設定は無効です)	▶入：なめらかに再生(早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります) ▶切：精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	HDノイズフィルター HDDまたはディスク再生時、ざらつきが少なく柔らかい画像にします。	▶入：「D端子出力解像度」(→117)が「D3」「D4」のときのみ有効 ▶切
	音声のダイナミックレンジ圧縮 DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶入(ドルビーデジタルの音声にのみ働きます) ▶切
	二重放送音声記録 記録する二重放送の音声を選びます。この設定は、右記の場合に有効です。	▶主音声 ▶副音声 以下の場合、選択された音声が記録されます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングするとき ● HDD「高速ダビング用録画」(→左ページ)を「入」にして、地上アナログ放送や外部入力からの番組を録画、または VHS からダビングするとき ● 「XP時の記録音声モード」(→下記)を「LPCM」にして、録画モード「XP」で記録するとき
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	PCMダウンサンプリング変換 サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。	▶入：96 kHzまたは88.2 kHzに対応していない機器と接続したとき ▶切：96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器と接続したとき (176.4 kHz以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわらず48 kHzまたは44.1 kHzに変換されます)
	Dolby Digital ※ ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream：ドルビーデジタルロゴのある機器に接続したとき ▶PCM：ドルビーデジタルロゴのない機器に接続したとき
	DTS ※ DTSの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream：DTSデジタルサラウンドロゴのある機器に接続したとき ▶PCM：DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続したとき
	AAC ※ 放送や音楽のAACの信号を、接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream：AACをデコードできる機器に接続したとき ▶PCM：AACをデコードできない機器に接続したとき
音声	外部入力の音声 外部入力(L1)から録画するときに記録する音声の種別を設定します。	▶ステレオ ▶二重音声：二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(→上記)で音声をあらかじめ選んでください。
	XP時の記録音声モード 録画モードがXP時に、記録する音声の種類が選べます。(XPでの録画時やダビング時に働きます)	▶Dolby Digital(→134) ▶LPCM(→135)： ・画質は少し下がります。 ・XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(→上記)であらかじめ選んでください。
	DV入力時の音声設定 i.LINK(DV入力/TS)端子(→84)から録音する音声の種類が選べます。	▶ステレオ1：DV録画時の音声(L1,R1)を録音するとき ▶ステレオ2：編集などであとから追加した音声(L2,R2:ナレーションなど)を録音するとき ▶MIX：ステレオ1とステレオ2の音声を録音するとき 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(→上記)で音声をあらかじめ選んでください。

※HDMI映像・音声出力端子から音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれていると、接続機器の性能により設定どおりに出力されない場合があります。

本機の設定を変える(初期設定)(つづき)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
画面設定	画面表示動作[オート] 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶入 ▶切(表示しない)
	地上アナログ時のブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いときや、カセットの未記録部分を再生するときに画面背景を表示しないようにできます。	▶入 ▶切(表示しない)
	ブランク輝度出力 黒帯部分の明るさを設定します。(D端子またはHDMIケーブル接続時)テレビ画面の焼き付き低減のため、通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。	▶入:「HDMI出力解像度」(→下記)が「525p」以外のとき、「D端子出力解像度」(→右ページ)が「D3」「D4」のときのみ有効 ▶切:黒帯部分を暗くするとき
	本体表示窓の明るさ 本体表示窓の明るさを調節します。	▶常時 明 ▶常時 暗 ▶オート:再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・電源「切」時の消費電力の節電になります。 (電源「切」時の消費電力→準備編 19)
	SDカードLED制御 SDカードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。	▶常時点灯 ▶常時消灯 ▶カード入点灯:電源「入」時に、SDカードを入れると点灯します。
	TVアスペクト 接続したテレビに合わせて設定します。 (→準備編 27)	▶4:3 :4:3 標準テレビに接続しているとき ▶16:9 :ワイドテレビに接続しているとき ▶16:9フル:ワイドテレビに接続していて、サイドパネル(左右に黒い帯がある状態)をなくして表示したいとき
	HDMI接続	→[決定]を押して、さらに設定します。
接続	HDMI映像優先モード(→準備編 30)	▶入 ▶切:アンプなどの機器とHDMIケーブルで接続し、テレビとD端子ケーブルで接続するとき(アンプと接続する前に設定してください)
	HDMI出力解像度 接続した機器が対応している項目には、画面上に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の【停止■】と【再生▶】を5秒以上押したままにしてください。	▶オート:1125i、750p、525pの順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ▶525p(プログレッシブ) ▶1125i(インターレース) ▶750p(プログレッシブ)
	HDMI RGB出力レンジ RGB入力のみに対応した機器(DVI機器など)に接続したとき有効になります。	アンプと接続する場合、接続するアンプが設定した解像度に対応していないときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビをHDMIケーブルで接続し、本機とアンプはHDMI以外のケーブルで接続してください。(→準備編 12)
	HDMI音声出力(→準備編 30)	▶入 ▶切:テレビと本機をHDMIケーブルで接続し、HDMI非対応のアンプなどと光デジタルケーブルで接続するとき
	HDMI接続スピーカー設定 スピーカーの出力設定により、理想的な音空間を作ります。	▶オート:接続した機器のスピーカー設定に、自動的に合わせるとき ▶マルチチャンネル:スピーカーを3本以上接続して、接続した機器側でスピーカー設定ができるとき ▶2チャンネル:スピーカーを2本接続
	マルチチャンネル設定 「HDMI接続スピーカー設定」で「マルチチャンネル」を選んだときのみ表示されます。	スピーカーの有無とサイズ、音声出力の遅延効果の設定をしてください。(→準備編 30)
	VIERA Link制御 VIERA Linkに対応した機器とHDMIケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。	▶入 ▶切:VIERA Linkの機能を使わないとき

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)	
接続(つづき)	D端子出力解像度(→準備編 28)	▶D1 ▶D2 ▶D3 ▶D4 設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の【停止■】と【再生▶】を5秒以上押したままにしてください。「D1」に設定されます。	
	TVアスペクト(4:3)の設定 (4:3テレビに接続時) 16:9映像の映しかたを選びます。	DVD-Videoの 16:9 映像	▶パン&スキャン:左右の切れた映像で再生するとき (パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します) ▶レターボックス:上下に帯のある映像で再生するとき
		録画ディスクの 16:9 映像	▶スルー :録画された映像の横縦比で再生するとき ▶パン&スキャン:左右の切れた映像で再生するとき ▶レターボックス:上下に帯のある映像で再生するとき
	i.LINK機器モード i.LINK(DV入力/TS)端子に接続した機器に合わせて設定します。		▶DV モード :DV機器と接続しているとき ▶TS モード :i.LINK(TS)対応機器と接続しているとき
ブロードバンドレシーバー	ネットワーク機能 ネットワーク機能を使ってパソコンや携帯電話から操作するかどうかの設定をします。	▶インターネット:本機をインターネットに接続しているとき ▶家庭内ネット :本機をインターネットに接続していないとき ▶無効 :パソコンや携帯電話から操作しないとき	
	ネットからの番組消去機能 パソコンや携帯電話から、本機のHDDにある番組を消去できるようにします。		▶入 ▶切
	機器パスワード初期化 パソコンや携帯電話から操作するときに使用するパスワードを初期化します。		▶する ▶しない

言語番号一覧

アイスランド.....	7383 オランダ.....	7876 ジャワ.....	7487 ドイツ.....	6869 ベンガル
アイマラ.....	6589 カザフ.....	7575 スウェーデン.....	8386 ナウル.....	7865 (バングラ)..... 6678
アイルランド.....	7165 カシミール.....	7583 スロバキア.....	8375 日本語.....	7465 ペルシャ..... 7065
アゼルバイジャン....	6590 カタロニア.....	6765 スロベニア.....	8376 ネパール.....	7869 ポーランド..... 8076
アッサム.....	6583 ガリチア.....	7176 スフヒリ.....	8387 ノルウェー.....	7879 ポルトガル..... 8084
アファル.....	6565 韓国(朝鮮)語.....	7579 スンダ.....	8385 ハウサ.....	7265 マオリ..... 7773
アフリカーンス.....	6570 カンナダ.....	7578 スペイン.....	6983 ハンガリー.....	7285 マケドニア..... 7775
アブハジア.....	6566 カンボジア.....	7577 ズールー.....	9085 バシキール.....	6665 マライ(マレー)..... 7783
アムバラ.....	6577 キルギス.....	7589 セルビア.....	8382 バスク.....	6985 マラッタ..... 7782
アラビア.....	6582 ギリシャ.....	6976 セルボクロアチア....	8372 パシュト.....	8083 マラヤーラム..... 7776
アルバニア.....	8381 クルド.....	7585 ソマリ.....	8379 パンジャブ.....	8065 マルタ..... 7784
アルメニア.....	7289 クロアチア.....	7282 タイ.....	8472 ヒンディー.....	7273 マダガスカル..... 7771
イタリア.....	7384 グアラニー.....	7178 タタール.....	8484 ビハール.....	6672 モルダビア..... 7779
イディッシュ.....	7473 グジャラト.....	7185 タミル.....	8465 ビルマ.....	7789 モンゴル..... 7778
インターリングア....	7365 グリーンランド....	7576 タガログ.....	8476 フィジー.....	7074 ヨルバ..... 8979
インドネシア.....	7378 グルジア.....	7565 タジク.....	8471 フィンランド.....	7073 ラオ..... 7679
ウェールズ.....	6789 ケチュア.....	8185 チェコ.....	6783 フェロー.....	7079 ラテン..... 7665
ウォロフ.....	8779 ゲール.....	中国語.....	9072 フランス.....	7082 ラトビア(レット).... 7686
ヴォラピュック.....	8679 (スコットランド)....	7168 チベット.....	6679 フリジア.....	7089 リトアニア..... 7684
ウクライナ.....	8575 コーサ.....	8872 ティグリニア.....	8473 ブータン.....	6890 リンガラ..... 7678
ウズベク.....	8590 コルシカ.....	6779 テルグ.....	8469 ブルガリア.....	6671 ルーマニア..... 8279
ウルドゥー.....	8582 サモア.....	8377 デンマーク.....	6865 ブルターニュ.....	6682 レトロマンス..... 8277
英語.....	6978 サンスクリット.....	8365 トワイ.....	8487 ヘブライ.....	7387 ロシア..... 8285
エストニア.....	6984 ショナ.....	8378 トルクメン.....	8475 ベトナム.....	8673
エスペラント.....	6979 シンド.....	8368 トルコ.....	8482 ベロルシア	
オーリヤ.....	7982 シンハラ.....	8373 トンガ.....	8479 (白ロシア).....	6669

Q&A(よくあるご質問)

Q(質問)		A(回答)	ページ
ディスク	CD-RやCD-RWは使えるか?	●CD-DAや写真(JPEG)のフォーマットで記録されたCD-RやCD-RWが再生できます。 ●本機はCD-RやCD-RWには記録できません。	12,13 —
	海外で買ったDVDビデオは再生できるか?	●映像方式がNTSCであれば再生できます。 ●リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。 ディスクのジャケットをご確認ください。	— 12
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか?	●リージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。 リージョン番号がない(規格を満たしていない)場合は再生できません。	—
カセット	S-VHSやDVHS、SVHS、VHSカセットは使えるか?	●S-VHS、DVHSカセットは、使用できますがVHS方式でしか記録できません。 ●SVHS、VHSカセットは、カセットアダプター(別売)を使えば使用できます。 ただし、SVHSカセットを使っても、VHS方式でしか記録できません。 ●S-VHS方式で記録されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 ●デジタル(D-VHS)方式で記録されたDVHSカセットは再生できません。	— — 58 —
	海外で録画したカセットを再生できるか?	●同じNTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。	—
録画・ダビングや録音	市販のビデオやDVDから録画できるか?	●市販されているほとんどのDVDやビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	—
	本機で記録したディスクは他の機器で再生できるか?	●RAM 当社製DVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。(2006年8月現在) ●-R(VR) 2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーで再生できます。(2006年8月現在) ●-R(V) -RW(V) ファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます(ただし、すべての機器で再生保証するものではありません)。 また、記録状態によって再生できない場合があります。 ●-R DL(VR) DVD-R DL(VR方式)に対応した機器で再生できます。 ●-R DL(V) ファイナライズすると、DVD-R DL(ビデオ方式)に対応した機器で再生できます。 ●-RW(VR) DVD-RW(VR方式)に対応した機器で再生できます。	— — 106 — 106 —
	本機で、外部入力からのデジタル信号を録音できるか?	●できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	—
	本機からDVDの音声をデジタル信号のままMDなどに録音できるか?	●できます。DVDの音声を録音する場合、初期設定「デジタル出力」を以下のように設定してください。 「PCMダウンサンプリング変換」:「入」 「Dolby Digital」 :「PCM」 「DTS」 :「PCM」 「AAC」 :「PCM」 (ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です)	115
	ディスクに高速でダビングしたいときは?	●デジタル放送は、録画モード「DR」以外でHDDに録画すると、HDDからCPRM対応のRAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) に高速ダビングすることができます。 ●アナログ放送は、初期設定「高速ダビング用録画」を「入」にしてHDDに録画すると、HDDから-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速ダビングができます。 (お買い上げ時の設定は「入」です)	— 114
	MPEG4は録画できるか?	●できません。本機はMPEG4に対応していません。	—
	デジタルテレビやセットトップボックスからi.LINKケーブルを使って本機の操作や予約録画はできるか?	●できません。本機はi.LINKに対応したDVDレコーダーやD-VHSビデオなどの機器との間でダビングができます。	82
	SDカードの曲をHDDに録音できるか?	●SDカードからHDDに録音することはできません。	—
音楽	SDカード内の曲データをパソコンに書き込み/移動できるか?	●本機からSDカードに転送した曲は、パソコンへの書き込み/移動はできません。	—
	MP3は再生できるか?	●本機では再生できません。	—
	音楽をデジタル信号のままMDなどに録音できるか?	●HDDやSDカードの音楽は録音できません。 ●CD デジタル音声出力(光)端子から出力している場合は録音できますが、SCMSという著作権保護のための制限により、1世代のみの録音となります。	— —

こんな表示が出たら

表示文字

調べるところ・原因・対策

ページ

表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
B-CAS OUT	●デジタル放送の録画開始時にB-CASカードが正しく挿入されていなかったり、デジタル放送の録画中にB-CASカードが抜けるなどしたときに、表示されます。B-CASカードを挿入してください。	—
DL 1/5 (数字の1は例です)	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。 (1/5などはダウンロードの進み具合を表します)	準備編 38
HAPPY END	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
NO REAR	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー(別売)(→準備編 51)での作業が終了したときにも、左記のメッセージが表示されることがあります。[開/閉▲]を押してクリーナーを取り出してください。	15 —
PLEASE WAIT	●終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— —
PROG FULL	●すでに32件の予約が登録されています。不要な予約を消してください。	49
U11	※ ●ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	61
U30 ? 1~3のいずれかを表示	※ ●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。  表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、  [決定]を2秒以上押したままにしてください。	準備編 36
U50	※ ●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。	—
U59	※ ●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	—
U61	※ ●(ディスクトレイにディスクが入っていないとき)録画や再生、ダビング中に、異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示しています。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	—
U71	※ ●接続機器がHDMIに対応していません。	—
U72	※ ●HDMI接続時に異常が発生しました。 ・接続機器がHDMIに対応していません。 ・HDMIケーブルが破損しています。 ・HDMIロゴの付いたケーブルをお使いください。	—
U73	※	—
U75	※ ●本機とHDMIケーブルで接続されたテレビやアンプなどの機器が、著作権保護に対応していないため、著作権保護されたDVDビデオは再生できません。	—
U76	※ ●お使いのDVDビデオは著作権情報が不正なため再生できません。	—
U80	※ ●(ディスクトレイにディスクが入っているとき)再生やダビング中に、ディスクに異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示しています。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	—
F99	※ ●本機が正常に動作しません。本体の[電源△/□]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
UNFORMAT	●フォーマット(初期化)されていない RAM -RW(VR) -RW(V) 、または他の機器で記録された -RW(V) が入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	105
UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。	10~12

*これらの表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

上記に紹介している操作をしても表示が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口(→143)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

こんな表示が出たら(つづき)

表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
読み込みできません。 ディスクを確認してください。	●ディスクが裏返しになっていませんか。	21
(対応)カードが入っていません。	●本機に対応していないカードが入っていないませんか。対応したSDカードを入れたのに表示された場合は、本機の電源を切り、SDカードを入れ直してください。 ●SDカードのフォーマットが異なっていますか。	
記録できないディスクが入っています。	●本機で記録できないディスクが入っていますか。	13,21
このディスクは規定のフォーマット がされていません。	● -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) ファイナライズ後のディスクが入っていますか。 ● RAM -RW(VR) -RW(V) フォーマットを行ってください。	
(ディスクなどが)いっぱい記録できません。	● HDD RAM -RW(VR) -RW(V) SD 不要な番組、写真または音楽を消去してください。	10
番組数がいっぱい記録できません。	●新しいディスクやSDカードを使ってください。	
ダビング先の容量が足りません。		—
録画を正常に終了できませんでした。	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていますか。 ●最大番組数を超えていませんか。	
ディスクへの書き込みができません。	●ディスクに傷や汚れがありますか。	15
フォーマットできません。		—
チャンネルを設定してください。	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード®予約がでかけません。	
🚫	●ディスクがその操作を禁止しています。 ●本機がその操作を禁止しています。(例:「VHS」選択中に[再生ナビ]など、VHSでは操作できないボタンを押す)	—
再生できません。	●非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。	12
本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしています。 ●本体表示窓の“SD”が点滅していないことを確認して、SDカードを入れ直してください。	13,21
フォルダがありません。	●本機で対応したフォルダがありません。	134
データを取得中です	●デジタル放送からデータを取得中です。	—
B-CASカードを正しく挿入してください。	●B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。B-CASカードを正しく挿入してください。	準備編 18
アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。	—
受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。	準備編 34
受信できません。 B-CASカード、アンテナ設定、もしくはこのチャンネルの契約をご確認ください。	●正しく受信できない番組を録画した場合、または購入されていない有料放送の番組を録画した場合に表示されます。 ●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局している場合は正しく受信できません。 ●有料放送の場合は、購入してから録画してください。 ●契約したB-CASカードを挿入していますか。	32 準備編 34
現在、このチャンネルは放送を休止しています。	●放送を休止しているチャンネルを選んでいます。	—
番組データがありません。決定ボタンで取得します。	●地上デジタル放送の番組表(Gガイド)のみで表示されます。番組表(Gガイド)で取得したい番組を選んで[決定]を押すと、受信可能なチャンネルであれば数分で受信します。	—
購入できません。電話の接続・設定を確認のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	●B-CASカードの記録容量を超えており、購入記録が送信できないときに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。	準備編 17 準備編 40
現在、受信できません。	●受信するための送信データが異常の場合に表示されます。	—
視聴できません。視聴するには決定ボタンを押してください。	●有料番組の購入をしていません。 [決定]で、再度購入操作が行えます。	—
データを送信します。よろしいですか?	●データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。	—
降雨対応放送に切り替わりました。	●雨の影響により、衛星電波が弱くなったり、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り替えました。画質、音質が少し悪くなり、番組情報が表示できない場合もあります。	—
緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	●緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。	—

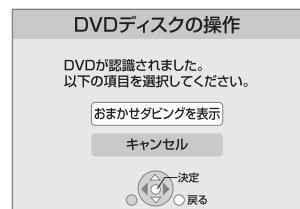
表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
ディスクへダビングするための準備をHDDに行います。HDDはディスクへダビングするために必要な空き容量が足りません。最大4時間(SPモード)の空き容量が必要です。不要な番組を消去してください。	●HDDから-R(V) -R DL(V) -RW(V)へのダビングで、HDDの残量が少ないとときや、HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超える場合、ダビングすることはできません。HDDの不要な番組を消去してください。	102
ディスクへダビングするための準備をHDDに行います。HDDへ記録できる番組数が500番組までとなっています。選択された番組で500番組をこえるため、HDDの不要な番組を消去してください。		
ディスクへダビングするための準備をHDDに行います。HDDは必要な空き容量が足りません。最大4時間(SPモード)の空き容量が必要です。不要な番組を消去してください。	●VHSからDVDへのダビングで、HDDの残量が少ないとときや、HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超える場合、ダビングすることはできません。HDDの不要な番組を消去してください。	102
ディスクへダビングするための準備をHDDに行います。HDDの番組数がいっぱいです。HDDの番組数をご確認の上、不要な番組を消去してください。1倍速でダビングするすべての番組を一時的にHDDへ録画してから実行します。		

ディスク挿入時

RAM | -R(VR) | -R DL(VR) | -RW(VR)

-R(V) | -R DL(V) | -RW(V) (未ファイナライズのディスクのみ)

停止中に、ディスクを入れると下記の画面が表示されます。

未記録のディスクの場合

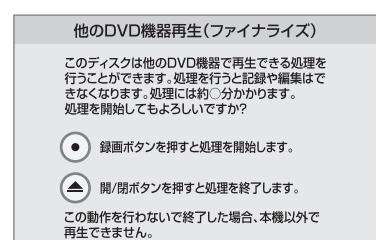
「おまかせダビングを表示」が選ばれている状態で、[決定]を押すと、HDDからDVDへのおまかせダビング画面を表示することができます。(→74手順4)

記録済みのディスクの場合

「再生ナビを表示」が選ばれている状態で、[決定]を押すと、再生ナビ画面を表示することができます。(→52)

ディスク取り出し時 -R(V) | -R DL(V) | -RW(V) (未ファイナライズのディスクのみ)

停止中に、本体の[開/閉▲]を押して記録済みのディスクを取り出そうとすると、下記の画面が表示され、ファイナライズを行うか、行わずにディスクを取り出すかを選ぶことができます。ファイナライズを行うと、再生専用ディスクとなり、他のDVD機器で再生できるようになります。ただし、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

**ファイナライズを行う場合**

- [録画●]を押す
●ファイナライズが実行されます。

ファイナライズを行わない場合

- 本体の[開/閉▲]を押す
●ディスクトレイが開きます。

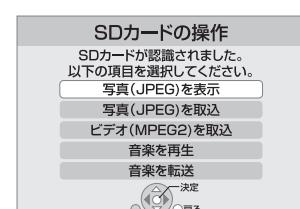
HDD、SDカードまたはVHSの録画や再生中などに、本体の[開/閉▲]を押すと、ファイナライズを行わずにディスクトレイが開きます。その場合、本体表示窓には、下記の表示が出ます。



- ファイナライズ後のディスクのトップメニュー画面の背景色や再生方法を設定したい場合は、ファイナライズを実行する前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(→106)

SDカード挿入時 SD

停止中に、SDカードを入れると下記の画面が表示されます。



- [▲][▼]で項目を選び、[決定]を押すと、各操作画面へ進むことができます。
- | | |
|---------------|---------------------------|
| 写真(JPEG)を表示 | :再生ナビ画面を表示します。(→86) |
| 写真(JPEG)を取込 | :写真(JPEG)一括取込を行います。(→90) |
| ビデオ(MPEG2)を取込 | :MPEG2動画をダビングします。(→78) |
| 音楽を再生 | :再生ナビ画面を表示します。(→96) |
| 音楽を転送 | :HDDの音楽をSDカードに転送します。(→95) |

- SDカード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取込」は表示されません。

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(→143)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音がする。
(ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- 電源切/入およびHDDの休止時に音がする。休止中の反応が遅い。
- 気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- 早送り・早戻し(**VHS**巻き戻し再生)すると映像が乱れる。
- BS/CS放送の一時的な休止による受信障害。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードがコンセントから外れていませんか。 ●初期設定「クイックスタート」が「入」の場合、本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブやHDDから動作音がしますが、故障ではありません。) 	準備編 19 113
	自動的に電源が切れた	<ul style="list-style-type: none"> ●節電機能が設定されていませんか。(初期設定「自動電源[切]」が「2時間」または「6時間」になっている) ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の[電源\pm/I]を押し、電源を入れてください。 ●VIERA Link対応のテレビとHDMIケーブルで接続した場合、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。VIERA Linkを使用しない場合は、初期設定「VIERA Link制御」を「切」にしてください。 	113 — 116
	自動的に電源が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●VIERA Link対応のテレビとHDMIケーブルで接続した場合、テレビの番組表から予約が登録されると、本機の電源が自動的に入ります。 VIERA Linkを使用しない場合は、初期設定「VIERA Link制御」を「切」にしてください。 	116
表示	表示が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●初期設定「本体表示窓の明るさ」が「オート」になっていませんか。「オート」の場合は、電源「切」時は本体表示窓の表示が消灯しています。 	116
	表示が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ●初期設定「本体表示窓の明るさ」で明るさを変えてください。 	116
	“0 : 00”が点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ●時刻を合わせてください。 	準備編 36
	電源「切」時に、本体表示窓に“D”が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●番組データを受信中など自動的に放送情報を受信するために、表示する場合があります。 ●音楽データをAACに音楽圧縮しているときに表示されます。 	— 92
	電源「切」時に、本体表示窓に“TEL”が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●購入記録の送信など電話回線使用中です。 	—
	残量表示が使用した量に比べて少くなったり多くなったりする	<ul style="list-style-type: none"> ●残量表示は実際より増減することがあります。録画モード「DR」で録画した場合はとくにばらつきが大きくなります。 ●-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。 	— —
	VHSのテープカウンターの値が動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●テープの未記録部分では、値は動かず秒表示の部分が右図のようになります。 汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	—

こんなときは	ここを確かめてください	ページ	
本機を接続したら、テレビの映りが悪くなつた	<ul style="list-style-type: none"> 分配器を使っていませんか。市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください) アンテナ線が劣化していませんか。販売店にご相談ください。 以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき 放送設定「アンテナ電源」を「オン」にしているとき アンテナ線とLANケーブルなどの距離を離してください。 	— — 準備編 24 110 —	
テレビ画面や映像	映像が出ない 映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 プログレッシブ映像に対応していないテレビとD端子ケーブルで接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしていませんか。本体の【停止■】と【再生▶】を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 プログレッシブ映像に対応していないテレビとD端子ケーブルで接続し、HDMIケーブルでアンプなどの機器と接続していませんか。HDMIケーブルで接続した機器の電源を切り、初期設定「HDMI映像優先モード」を「切」にしてください。 HDMIケーブルで接続した機器から映像を出力する場合は、初期設定「HDMI映像優先モード」を「入」にしてください。 テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。 お使いのテレビによっては、再生、停止などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。 HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。 	準備編 6~21 — 116 116 — — — —
	表示していた画面が消える	<ul style="list-style-type: none"> 本機は、テレビ画面への焼き付き低減のため、以下の状態のときに10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を消去します。 <ul style="list-style-type: none"> 再生ナビ、番組表、操作一覧、予約確認画面を表示していたとき 写真を再生中のとき(スライドショー再生中は除く)は、再生ナビ画面に戻ります。 音楽を再生中のときは、スクリーンセーバー画面が表示されます。(リモコンボタンを押すと、元の画面に戻ります) 	—
	横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> 初期設定「TVアスペクト」をお使いのテレビに合わせて設定してください。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 初期設定「ワイドモード」や「TVアスペクト(4:3)の設定」の「DVD-Videoの16:9映像」、「録画ディスクの16:9映像」の設定を確認してください。 D端子ケーブルで接続している場合、再生設定「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。効果がない場合や「切」にできない場合は、初期設定「D端子出力解像度」を「D1」に、または「HDMI映像優先モード」を「切」に設定してください。 	116 113,117 57,116, 117
	記録した番組の映像が縦に引き伸ばされる	<ul style="list-style-type: none"> 以下のように記録した場合、初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」で設定した画面サイズで記録します。(お買い上げ時の設定は「オート」です。16:9映像を記録したカセットを以下のようにダビングする場合、「オート」に設定していると、4:3映像で記録されます。「16:9」に設定することをおすすめします。) <ul style="list-style-type: none"> R(V) -R DL(V) -RW(V) に記録したとき HDD 初期設定「高速ダビング用録画」を「入」にして、地上アナログ放送や外部入力からの映像を録画、またはファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)やVHSからダビングしたとき(お買い上げ時の設定は「入」です) 4:3映像で記録された場合、初期設定「TVアスペクト」を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 	114 — 114,116
	テレビの左右に黒帯(サイドパネル)が表示される	●初期設定「TVアスペクト」を「16:9フル」にするか、「画面モード切換」で「サイドカット」を選んでください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。	28,116
	映像の左右の端が切れる、または色が薄い	●表示領域の広いテレビでは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	—
	再生時の映像に残像が多い	●再生設定「映像」メニューの「HDオプティマイザー」を「切」にしてください。	57
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	<ul style="list-style-type: none"> 映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。初期設定「D端子出力解像度」を「D1」にしてください。525i(480i)(インターレース)で出力されます。 HDMI映像・音声出力端子から映像出力時は、以下の手順で設定してください。 <ol style="list-style-type: none"> ① HDMI映像・音声出力端子以外の映像端子で接続する ② 初期設定「HDMI映像優先モード」を「切」にする ③ 初期設定「D端子出力解像度」を「D1」にする 	117 — 116 117
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
	画面メッセージが出ない	●初期設定「画面表示動作[オート]」が「入」になっていますか。	116
	ブルーバック(青い画面)にならない	●初期設定「地上アナログ時のブルーバック」が「入」になっていますか。	116
	予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の入/切にかかわらず実行されます。予約録画中の映像を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクなどを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—

故障かな!? (つづき)

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	115 63 29,56
	●接続や初期設定「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●間違った音声を選んでいませんか。 ・[音声]を押して、正しい音声を選んでください。 ・(デジタル放送のマルチ音声のみ)「信号切換」の「音声」で、正しい音声を選んでください。	— 57
	●デジタル放送はアナログ放送に比べ、音量が小さいときがあります。 ●カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合や二重放送の番組を再生する場合は、再生設定「音声」メニューで「音質効果」を「切」にしてください。	— —
	●デジタル音声出力(光)端子またはHDMI映像・音声端子から音声出力時は、音声効果がBitstream信号には働きません。	—
	●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。	—
	●テレビと本機をHDMIケーブルで接続し、音声をデジタル音声出力(光)端子から出力する場合は、初期設定「HDMI音声出力」を「切」にしてください。	116
	●HDMIケーブルで接続した機器から音声を出力する場合は、初期設定「HDMI音声出力」を「入」にしてください。	116
	●HDMIケーブルで接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。	—
	音声が切り換えられない	114 114
	●初期設定「高速ダビング用録画」が「入」の場合(お買い上げ時の設定は「入」です)、地上アナログ放送は音声の切り換えができません。 ●以下のような場合、初期設定「高速ダビング用録画」を「入」にして録画またはダビングすると、「主音声」か「副音声」のどちらか一方のみが記録されます。再生時に切り換えることはできません。(お買い上げ時の設定は「入」です) ・地上アナログ放送の番組や外部入力から録画する ・VHSからHDDへダビングする ●録画モードが「XP」で、初期設定「XP時の記録音声モード」が「LPCM」の場合、音声を切り換えることはできません。 ●デジタル放送を録画モード「DR」以外で録画した場合、マルチ音声は、録画前に「信号切換」(または「信号設定」)の「音声」で選ばれていたほうのみ記録されます。再生時に切り換えることはできません。 ●光デジタルケーブルまたはHDMIケーブルでアンプと接続していませんか。初期設定「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。	115 29,45 115 —
ボタン操作	VHS再生時にステレオ音声が ブツブツと聞こえる	61 15
	●トランкиングがずれている。 ●再生中のテープに傷などが付いている。	
	●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。	準備編 36
	●電池が入っていますか。電池が切れていませんか。	—
	●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていないませんか。 ●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありますか。 ●本体とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。  表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を2秒以上押したままにしてください。	準備編 5 準備編 5 準備編 36
操作できない	操作できない	— — — 119 —
	●「HDD」、「DVD」、「SD」または「VHS」を間違って選んでいませんか。 ●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部操作ができない場合があります。 ●本体表示窓に“U59”点灯時は本体内部温度が高くなっています。“U59”が消えるまで待ってください。 ●各種安全装置が働いていることがあります。 ①本体の[電源 _{上/下} /I]を押し、電源を切る ・電源が切れない場合は、約10秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む) ②本体の[電源 _{上/下} /I]を押し、電源を入れる 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●ダウンロードの実行中になってしまいませんか。(本体表示窓に“DL”が表示) ダウンロードが終了するまでお待ちください。	— — — 119 —

故障かな!? (つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
本体	本機底面が熱い	●本機の底面の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の底面に手で触れると熱く感じる場合がありますので、移動させるときは、電源コードを抜いた状態から3分以上待ってから移動させてください。	—
	ディスクが取り出せない	●本機の故障が考えられます。 電源「切」状態で、本体の【停止■】と【チャンネルへ】を同時に約5秒以上押したままにすると、ディスクトレイは開きます。(ただし、初期設定「本体表示窓の明るさ」が、「常時 明」または「常時 暗」に設定されている必要があります)ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	—
	起動が遅い 電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる	●HDDが休止状態になっていますか。 ●初期設定「クイックスタート」が「入」になっていますか。 ●初期設定「クイックスタート」が「入」になっていても、以下のような場合は起動に時間がかかります。 ・ RAM 以外のディスクが入っているとき ・時計が設定されていないときや、停電直後または電源コードを差した直後 ●初期設定「クイックスタート」が「入」になっていても、D端子ケーブルやHDMIケーブルで接続している場合は、映像や音声の出力に時間がかかります。	14 113 —
	DVD-RAMの読み込み時間が長い	●本機で初めて使用するディスクや、長時間使用しなかったディスクは、読み込み時間が長くなることがあります。初期設定「クイックスタート」が「入」になっていても同様です。	—
	デジタル放送の録画やダビングができない	●デジタル放送には「1回だけ録画可能」という著作権保護の仕組みで守られた番組があります。「1回だけ録画可能」な番組をディスクにダビングするには、CPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) が必要です。 ● -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) CPRM対応の場合でも、ダビングする前にデジタル放送が記録できるようにフォーマットする必要があります。 ●デジタル放送のラジオ番組や、データ放送の番組は録画できません。 ●「1回だけ録画可能」な番組がダビングされたカセットの場合は、再度、 HDD やCPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビングするとき、「1回だけ録画可能」な番組の部分はダビングされません。	— 105 — 68
録画や予約、ダビング	どっちも録りができない (2番組を同時に録画できない)	●デジタル放送(地上デジタル・BS・CS1・CS2)を録画モード「DR」以外で録画しているときは、他の番組を録画することはできません。 ●高速ダビング中は、1番組のみ録画可能です。 ●DV入力やi.LINK(TS)経由で録画中は、2番組同時に録画できません。	34 — —
	【停止■】を押しても、録画が止まらない	●ドライブが「HDD」になっていますか。 [HDD/DVD/SD/VHS切換] で選んでください。 ●録画中の番組が選ばれていますか。 [放送/入力切換] や [チャンネルへ,▽] で選んでください。	39 39
	予約録画ができない	●予約内容が間違っていますか。予約録画の時間が重なっていますか。 ●予約の実行が「切」になっていますか。予約一覧画面で「予約実行切」が表示されているときは、「予約実行入」にしてください。 ●1倍速でダビング中やおまかせダビング中、ファイナライズを含むダビング中は、予約録画は実行されません。 ●フォーマット中、ダウンロード実行中など中断できない操作の実行中は予約録画は実行されません。 ●時刻が合っていますか。	49 49 — — 準備編 36
	番組追従機能が働かない	●Gコード®予約や時間指定予約では働きません。 ●毎週予約をした場合、放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 ●毎週予約をした場合、番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては、正しく働かない場合があります。(番組名が変更されない場合でも、番組名によっては追従できない場合があります) ●アナログ放送の場合、予約登録後に放送時間が変更になると正しく働きません。	— — — —
	Gコード予約ができない	●ガイドチャンネルが正しく設定されていますか。 ●同じガイドチャンネルが複数のチャンネルに設定されていますか。不要なほうを削除してください。	準備編 46 準備編 46
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日・毎週予約のときは予約内容が残ります。 ●予約が正しく終了しなかった場合は「一部未実行」などのアイコンが表示されます。予約を取り消す操作をしてください。(翌々日の午前4時を過ぎると自動的に消えます)	42 49

故障かな? (ひづき)

必要なとき

故障かな!? (つづき)

こんなときは	ここを確かめてください	ページ	
DVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。DVD ドライブを選び、[開/閉▲]を押してトレイが開いている状態で、本体の【再生▶】と【録画●】を同時に5秒以上押すと戻ります。(本体表示窓に“INIT”が表示)	—	
自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●録画モード「DR」で録画した番組や、外部入力から録画した番組では働きません。 ●最大49回働きます。(HDD: 1番組あたり49回 / RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR): ディスク1枚あたり49回)それを超えた場合は働きません。	— — —	
早見再生の速さが変化する 早見再生の再生時間が長い	●録画モード「DR」で録画した番組の場合、録画した放送の内容によっては、部分的に早見再生が働かないときがあります。	—	
続き再生メモリー機能が働かない	●記憶した位置は、以下の場合解除されます。(HDDを除く) ・ディスクやSDカードを取り出す。 ·CD SD 電源を切る。	—	
SDカードのMPEG2動画が再生できない	●SDカードから直接再生できません。HDDなどにダビングしてから再生してください。	78	
再生した番組の先頭が見られない	●(VIERA Link対応のテレビとHDMIケーブルで接続した場合) テレビの電源が「切」のときに、本機のリモコンの【再生▶】を押して再生を始めた場合、テレビの電源が自動的に「入」になり、テレビ画面が表示されるまで、再生した番組の先頭部分が見られない場合があります。その場合は、[◀◀]を押して番組の先頭に戻ってください。	—	
再生できない	●他のテレビ方式(PAL、SECAMなど)で録画されたカセットは再生できません。 ●録画モード「DR」以外でHDD録画中のときは、VHSの再生はできません。	— —	
VHSの再生画面がブルーバックになる	●テープの未記録部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ●汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— —	
再生画面がチラチラする	●ビデオヘッドが汚れている。 ●テープが古い、またはいたんでいる。	61 15	
再生画面にノイズが出る	●本機以外の機器で3倍/5倍モードを使って記録されたテープを再生した場合は、テープによっては画面にノイズが出る場合があります。 ●テレビと本機をHDMIケーブルで接続した場合、映像の周囲にノイズ状のものが見えることがあります。このときは、テレビ側で画面サイズを調整してください。詳しくは、テレビの説明書をご覧ください。 テレビ側で画面サイズの調整ができない場合は、初期設定「HDMI出力解像度」を「525p」に設定すると(お買い上げ時の設定は「オート」です)、ノイズ状のものを見えなくすることができます。ただし、VHS以外の映像を高画質で再生するときには、設定を元に戻しておいてください。	— — 116	
HDD/DVD編集・整理	番組を消去しても残量が増えない	●-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) 消去しても残量は増えません。 ●-RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。途中の番組を消去しても残量は増えません。	— —
編集できない	●HDD空き容量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して空き容量を増やしてください。 ●ファイナライズ済みの -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を使っていませんか。	102	
フォーマットできない	●ディスクが汚れていませんか。 ●本機で使えないディスクを使っていませんか。	15 10,12	
部分消去のイン点やアウト点が設定できない	●イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。	64	
プレイリストが作成できない	●本機ではプレイリストの作成はできません。	—	
再生ナビ画面を表示できない	●番組を1倍速でダビング中のときはできません。	—	
編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。(カードによっては、プロテクトを設定していても、画面に「書き込み禁止設定オフ」と表示される場合があります)	105	
写真	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れていませんか。(カードの内容が壊れている場合もあります)本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になってしまいか。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB~4 GBまでのSDカードが使用できます。	13 — 13
ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。 カードやディスクをフォーマットしてください。	— 105	

故障かな!? (つづき)

必要なときは

故障かな!? (つづき)

こんなときは	ここを確かめてください	ページ	
i.LINK(TS)	接続した機器で映像が映らない i.LINK(TS)ダビングができない	●i.LINK(TS)ダビング中のみ映像が映ります。 ●本機が対応している機器と接続していますか。 ●i.LINK(TS)対応機器を2台以上接続すると動作しません。 ●接続した機器側で、本機をi.LINK(TS)入力機器として選んでおく必要がある場合があります。 ●接続した機器の電源が「切」になっていませんか。 ●本機や接続した機器側で、i.LINK(TS)が動作する設定になっていますか。 (「i.LINK 機器モード」が「TS モード」になっていますか) ●D-VHSカセットの「つめ」が折れていませんか。	82 — — — — — —
	データ放送が見られない	●i.LINK(TS)入力中はデータ放送は見られません。	—
	デジタルテレビやセットトップボックスからi.LINK(TS)入力ができない	●本機では、デジタルテレビやセットトップボックスからのi.LINK(TS)入力に対応していません。	—
	携帯電話やパソコンで本機を操作できない	●通信状況(電波の届きにくいところやネットワークの状況)などにより、操作できないときがあります。 ●本機が使用中の場合、操作できないことがあります。 ●会員登録や機器登録の内容を確認してください。 ●ルーターの設定(DHCPサーバー機能やセキュリティなど)を確認してください。詳しくは、ルーターの説明書をご覧ください。 ●回線業者や対応するプロバイダーがルーターの使用を制限している場合があります。加入している回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。 ●自宅にあるパソコンで操作する場合、IPアドレスを正しく入力してください。 ●LANケーブルが確実に接続されているか確認してください。 ●接続チェックを行ってください。(初期設定画面で「ブロードバンドレシーバー」が選ばれている状態で、「○○接続」と表示されれば、操作できます) ●オンエアダウンロード中は、操作できません。また、お使いの環境により、ダウンロード終了後も一時的に操作できないことがあります。	— — — — — 108 準備編 14 準備編 45 準備編 38
音楽	機器パスワードを忘れた	●サービスで機器登録を削除後、初期設定「機器パスワード初期化」を行ってください。その後、パスワードを再設定してください。	準備編 45 108,117
	Gracenote®データベースで取得したタイトルがおかしい タイトルが全部表示されない	●本機で対応していない文字を使ったタイトルの可能性があります。 ●長いタイトルではありませんか。タイトルが長い場合、曲一覧ではすべて表示できません。その場合、「曲の内容確認」でタイトルを確認することができます。	— 98
	新しく発売されたCDのタイトルが取得できない	●ネットワークに接続していますか。内蔵のGracenoteデータベースにタイトルが登録されていない場合は、タイトルを取得できません。新しいCDのタイトルを取得する場合は、ネットワークに接続する必要があります。	準備編 14 93
	HDDに録音しようとした曲が録音できていない	●録音しようとした曲の中に、SCMSなどの著作権保護されている曲がある場合、その曲は録音されません。	92
	前に聞いたのと音の感じが違う	●録音モードをAACに設定して、HDDに録音した場合、本機は一度LPCMで録音したあと、AACに音楽圧縮します。そのため録音直後と、AACへの音楽圧縮後とでは再生したときの音質が異なります。	92,93
	SDカードに転送できない	●パソコンなどでフォーマットしたSDカードを使用していませんか。本機またはSDオーディオ対応機器でフォーマットしてください。	105
	SDカードの曲が再生できない	●SDカードに、本機で再生できる音楽データが記録されていますか。本機では「SDオーディオ規格」で記録された音楽データ(AAC)のみ再生できます。	—
VIERA Link	CDのボーナストラックが再生できない	●本機では再生できません。	—
	VIERA Linkが働かない	●本機の電源を「入」にしたときに、本体表示窓に“HDMI”が表示されていますか。HDMIケーブルの接続を確認してください。 ●初期設定「VIERA Link制御」が「入」になっていますか。 ●接続した機器側のVIERA Linkの設定を確認してください。 ●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにVIERA Linkが動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。 ① HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ(VIERA)の電源を入れ直す ② テレビ(VIERA)の「VIERA Link制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する(詳しくはVIERAの取扱説明書をご覧ください) ③ VIERAの入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、VIERA Linkが動作するか確認する	準備編 10 準備編 13 116 — —
その他	電話機にノイズ(雑音)が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●モジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリでこの症状が出る場合がありますが、市販の自動転換器(パソコン対応も含む)または電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	—
	ダウンロードができない	●ダウンロードは、本機の電源を「切」にした状態で行われます。	準備編 38
	ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	準備編 26

「故障かな!?」に従ってご確認のあと修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願ひいたします。



故障かな!?(つがひつき)

必要なとき

修理診断カルテ

ご記入日： 年 月 日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

<商品について>

機種名		製造番号 (保証書または本体後面に記載)	
お買い上げ日	年 月 日	保証書添付	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

<確認事項>

修理代金の見積り (有償修理時のみ)	<input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> _____ 万円以上必要 <input type="checkbox"/> 必要
修理ご依頼時の 添付品	(本体以外の添付品をご記入ください) <input type="checkbox"/> 電源コード <input type="checkbox"/> リモコン <input type="checkbox"/> ディスク <input type="checkbox"/> その他 _____

設定項目の 初期化	修理の際に、初期設定、録画予約などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。
HDDの初期化 (録画内容の消去)	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容はすべて失われます） HDDの初期化に同意されますか。 <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります）

ご署名

印

<不具合症状について>

不具合症状	(発生症状をなるべく詳しく、具体的にご記入ください) 例：HDDからDVD-Rへ高速モードでダビング時、途中で止まった。		
発生条件	<p><発生条件></p> <p>1. <input type="checkbox"/> HDD <input type="checkbox"/> DVD <input type="checkbox"/> VHS (下欄※に詳細をご記入ください)</p> <p>2. <input type="checkbox"/> 録画時 <input type="checkbox"/> 再生時 <input type="checkbox"/> ダビング時</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 本機のチューナーからの録画 <input type="checkbox"/> 外部入力からの録画（他のビデオからのダビングや外部チューナーからの録画など） 	<p><エラー表示></p> <p><input type="checkbox"/> 有り</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> テレビ画面 表示内容：_____ <input type="checkbox"/> 本体表示窓 表示内容：_____ <p><input type="checkbox"/> 無し</p>	
発生頻度	<input type="checkbox"/> 常時 <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> _____ 回に _____ 回位		

<※DVDディスクについて> 正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したディスクの添付をお願いします。

発生ディスク	<input type="checkbox"/> DVD-RAM メーカー名： _____	品番： _____
	<input type="checkbox"/> DVD-R メーカー名： _____	品番： _____
	<input type="checkbox"/> DVD-R DL メーカー名： _____	品番： _____
	<input type="checkbox"/> DVD-RW メーカー名： _____	品番： _____
	<input type="checkbox"/> DVDビデオ タイトル： _____	ディスクNo.： _____
	<input type="checkbox"/> その他	
発生箇所	<input type="checkbox"/> 最初から再生 できない <input type="checkbox"/> _____ 分 _____ 秒位の部分 から症状が発生	<input type="checkbox"/> タイトルNo.： _____ チャプターNo.： _____

<接続テレビについて>

接続テレビ	テレビメーカー名： 接続端子： <input type="checkbox"/> ピン端子 <input type="checkbox"/> S端子 <input type="checkbox"/> D端子 <input type="checkbox"/> HDMI端子 <input type="checkbox"/> その他	機種名：
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------

松下電器産業株式会社 ネットワーク事業グループ

用語解説

ア アンテナレベル

アンテナ設置方向の最適値を確認するためのやすです。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、アンテナを接続したケーブルの長さなどによって影響を受けます。

力 (株)B-CAS

BSデジタル放送の限定受信システム(CAS)を管理するために設立された(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。地上デジタル放送や110度CSデジタル放送も同システムを使用しています。

● ゲートウェイアドレス

インターネットのアクセスで経由すべき機器のIPアドレス。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスのことをいいます。(例:192.168.0.1)

サ サブネットマスク

ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなく機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。(例:255.255.255.0)

● サムネイル

複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。(本機では、ファイナライズ後のトップメニューに番組内の1場面が表示されます)

● サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

● 字幕放送

字幕情報を表示させることができる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

● スプリッター

電話回線のネットワーク用の信号と電話用の信号を分ける機器です。

● 双方向サービス

視聴者が自宅にいながら、クイズ番組に参加したり、買い物をすることができます。電話回線の接続が必要です。

タ ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくなります。

● ダウンミックス

ディスクに収録されたマルチチャンネル(サラウンド)の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

● データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えば、お客様のお住まいの地域の天気予報を、表示させることができます。また、テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送もあります。そのほかに、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどが行われます。

● デコーダー

DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

● デジタルハイビジョン

デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送(SD)とデジタルハイビジョン放送(HD)があります。ハイビジョンの走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

● ドライブ

本機では、ハードディスク(HDD)、ディスク(DVD)、SDカード(SD)、カセット(VHS)のことをいいます。データの読み書きを行います。

● パン&スキャン/レターボックス

DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。

4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

●パン&スキャン

映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



●レターボックス

画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。



● ファイナライズ

番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。

ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

● フィルム/ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

●フィルム素材

フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画の映像などで使われています)

●ビデオ素材

映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。(テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています)

● フォーマット

記録前のDVD-RAMなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。

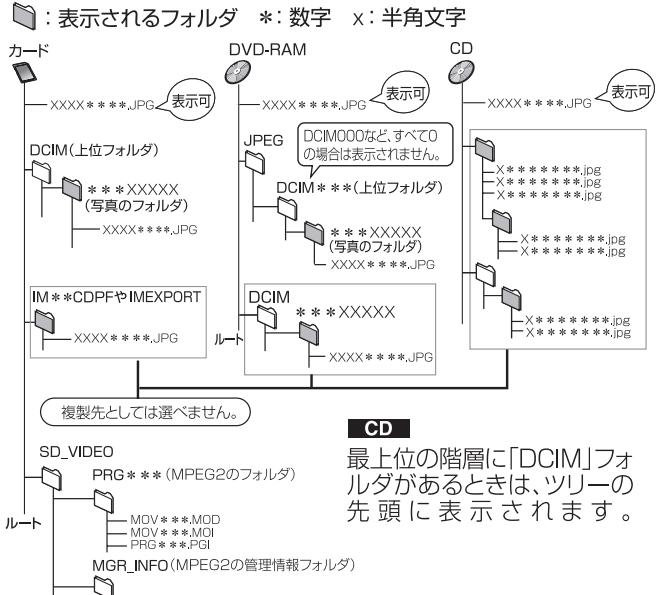
フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

用語解説(つづき)

● フォルダ

ハードディスクやSDカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真(JPEG)やMPEG2などの保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例



● RAM SD ルート上のファイルは「上位フォルダ選択」で選ぶことができます。(→87)

● フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

● プライマリDNS/セカンダリDNS

インターネット上で名前とIPアドレスを対応させる電話帳のような機能を持ったサーバーです。本機はこのサーバーのIPアドレスを2つまで登録することができます。

● ブラウザ

ネットワーク上のページを表示するためのソフトウェアです。

● フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



● フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。

● フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

● プログレッシブ/インターレース

従来の映像信号(NTSC)は525i(480i)(i:インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525i(480i)信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(480p)(p:プログレッシブ=順次走査)といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。また、本機のD端子やHDMI映像・音声出力端子はハイビジョン映像出力[750p(720p)、1125i(1080i)]にも対応しています。

プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむには、それぞれ対応テレビが必要です。

● プロテクト

記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

● ブロードバンド

ご家庭でいつでもインターネットを楽しめる、ADSLなどのインターネット接続環境です。電話モデムを使用するのに比べて、高速なアクセスが可能です。

● プロバイダー

ケーブルや電話回線に接続した機器を、インターネットに接続するサービスをしている会社の総称です。

● マルチビュー放送

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

● ヤ 有料放送

チャンネル単位で購入する場合と、番組単位で購入する場合(ペイ・パー・ビュー)があり、それぞれ放送事業者との契約が必要です。ペイ・パー・ビューでは、テレビ画面上で購入操作を行います。ペイ・パー・ビューをご覧になるためには電話回線の接続が必要です。

A AAC (Advanced Audio Coding)

衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

B ADSL (Asymmetric Digital Subscriber Line)

電話回線を使ったブロードバンド接続方式の一種です。回線業者、プロバイダーとの契約が必要です。

B Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

C CPRM (Content Protection for Recordable Media)

デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクに記録できます。

D 映像端子

コンポーネント(色差)ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

E DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

サーバーやブロードバンドルーターが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

F Dolby Digital

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2チャンネル)はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

G DPOF (Digital Print Order Format)

デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

DTS (Digital Theater Systems)

映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

E EPG (Electronic Program Guide)

テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方に対応しており、番組表(Gガイド)を使って予約録画などができます。

H HDD(ハードディスクドライブ)

パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つです。表面に磁気体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

I HDMI (High Definition Multimedia Interface)

HDMIとは、デジタル機器向けの次世代インターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

I.i.LINK

i.LINK端子を持つ機器間で映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。

I IP アドレス

インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、ブロードバンドルーターなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。(例: 192.168.0.87)

I Ir システム

セットトップボックスなどから予約録画などの信号を、録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製CATV用セットトップボックスなどのIrシステムがDVDレコーダーに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。

J JPEG (Joint Photographic Experts Group)

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。

デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10~1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L LAN (Local Area Network)

社内や学校内、家庭内など、一定範囲内のネットワークのことです。

M LPCM (リニア PCM)

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

M MAC アドレス

ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、イーサネットアドレスやハードウェアアドレスなどと呼ばれることもあります。

エムベグ MPEG2 (Moving Picture Experts Group)

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。MPEG2はDVDやデジタル放送などに使われる圧縮方式で、本機では番組をMPEG2で録画します。

P PAL (Phase Alternating Line)

水平走査線が625本、フレーム周波数が25 Hzのインターレース方式を使用したアナログカラーテレビ放送の規格です。フランス以外のヨーロッパなどで採用されています。

ビーシーエム PCM (Pulse Code Modulation)

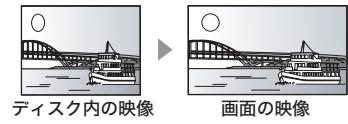
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス・コード・モジュレーション:パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

S 映像出力

映像信号をC(色信号)とY(輝度信号)に分離してテレビに伝えます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

● S1映像信号

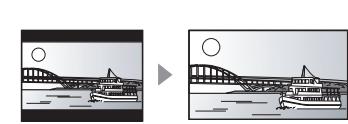
映像の横縦比が4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。



ディスク内の映像 画面の映像

● S2映像信号

S1の機能に加え、レターボックス(上下に黒帯が入っている映像)のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。



ディスク内の映像 画面の映像

エスキューピーピー SQPB (S-VHS Quasi Playback)

S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットを簡単に再生する機能です。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。

S-VHS ET

(Super VHS Expansion Technology)

VHSカセットにS-VHS方式で記録する機能です。本機にはこの機能はありません。

V VBR (Variable Bit Rate)

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

1 1125i(1080i)

デジタルハイビジョン映像の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

5 525i(480i)

1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。

5 525p(480p)

1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少くなります。

7 750p(720p)

デジタルハイビジョン映像の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少くなります。

アイコン一覧

- ・本機はアイコン(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
- ・放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

	テレビ放送(映像+音声)の番組		アナログ(映像端子、S1/S2映像端子、D端子) 出力しない番組(音声も出力されません)
	データ放送の番組		ラジオ放送の番組
	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組		番組とは別のデータ放送を行っている番組
	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組		ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えて きる番組		番組の映像信号情報 上:画面の横縦比(16:9、4:3) 下:信号方式 (デジタルハイビジョン放送 - 1125i、750p) (デジタル標準テレビ放送 - 525p、525i)
	モノラル音声の番組		二重音声信号で、「主+副」の音声の番組
	ステレオ放送の番組		有料のデータを含むペイ・パー・ビュー番組
	5.1chなどのサラウンド放送の番組		番組の中に字幕(日本語/英語)の情報が含まれて いる番組
	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組		視聴年齢制限がある番組 (表示される年齢は4~20才まであります)
	アナログの著作権が保護されているためアナログ での「録画禁止」の番組		

再生ナビ画面

	HDDにダビング中の番組やデータが壊れている など、再生できない番組		新しく録画してまだ見ていない番組
	番組や写真に書き込み禁止(プロテクト)を設定		録画禁止信号により録画できなかった番組 (デジタル放送など)
	録画中の番組		2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組(→36) (録画後、ダビングできません)		プリント枚数(DPOF)が設定された写真(→88)
	再生中の曲		AACへの音楽圧縮が終了していないアルバム (→92)

おまかせダビング・詳細ダビング画面

	DVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、 DVD-RW(ビデオ方式)に高速でダビングできる 番組		本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組(→36)
	静止画を含むもの (HDD/DVDへは静止画部分はダビングされません)		「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの (→68)
	録画モード「DR」で録画された番組 (DRモードの番組)		2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組

予約一覧画面

可

全編の録画が可能な番組

変更可

予約登録後に放送時間が変更になった番組で、全編の録画が可能な番組

重複

予約時間が重なっている番組

FULL
中断

HDDがいっぱいですでに録画が中断された番組

未実行

予約録画が実行されなかった番組

購入失敗

番組購入できずに予約録画に失敗したペイ・ビュー番組

不可

HDDの残量が不足していて録画できない番組

リーズ
終了

毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをおすすめします。

検索中

時間変更追従を実行中(時間確認中)

時間
指定

Gコード®予約(→46)または時間指定予約(→47)で予約した番組

番組
予約

番組表(Gガイド)を使って予約した番組(→44)

番組
PPV

番組表(Gガイド)を使って予約したペイ・ビュー番組

コピー
中断

録画禁止信号により録画が中断された番組(デジタル放送など)

一部
未実行

予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組

選局
失敗

追加購入できずに予約録画に失敗したペイ・ビュー番組

予約
実行切

予約の実行が「切」になっている番組

毎週

毎週
更新

毎日

毎日
更新

毎日・毎週予約のときに自動更新(→42)をする場合、表示されます。(前回録画した内容を上書きして録画します)

月~土

月~土
更新

月~金

月~金
更新

月/日
迄

毎日・毎週予約のときに、表示された日付(最大1カ月先)まで録画予約されます。(他の番組が録画や消去された場合など、ディスクの残量によって、日付が変更される場合があります)

警告

引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組

お知
らせ

番組表(Gガイド)を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示



録画中の番組

その他の画面

4
才~

視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組
暗証番号を入力すると視聴可(→112)

メール

メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール(未読メール)

予

番組表(Gガイド)を使って予約された番組

有料

1番組限度額の設定より高い金額の番組
暗証番号を入力すると視聴可(→112)

メール

メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール(既読メール)

アイコン一覧

必要なとき

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電 源	AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	動作時:約47 W 待機時(クイックスタート「切」):約 3.0 W ^{*1} [時刻表示点灯時・約3.5 W、時刻表示消灯時・約0.9 W(アッテネーターを「オン」に設定した場合 約0.7 W)] 待機時(クイックスタート「入」):約 9.3 W ^{*1} (時刻表示点灯時・約9.4 W、時刻表示消灯時・約9.0 W)

※ 1 VTRの省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。

本体

寸法	幅430 mm×高さ93 mm×奥行332 mm (突起部含まず) 幅430 mm×高さ93 mm×奥行342 mm (突起部含む)
本体質量	約7.1 kg
許容周囲温度	5 ℃~40 ℃
許容相対湿度	35 %~80 %RH (結露なきこと)
時計	クオーツ制御、24時間、デジタル表示
プログラム数	1カ月 32プログラム

テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式、525本、60フィールド デジタルハイビジョン: 地上デジタル放送方式(日本)、 衛星デジタル放送方式(日本)
アンテナ受信入力	地上アナログ入力 VHF :1~12 CH 75 Ω UHF :13~62 CH 75 Ω CATV :C13~C63 CH 75 Ω 地上デジタル入力 90 MHz ~ 770 MHz 75 Ω (VHF: 1~12 CH, UHF: 13~62 CH, CATV: C13~C63 CH) ^{*2} BS・110度CSデジタル入力 1032 MHz~2071 MHz (IF入力周波数) 75 Ω 電源供給(右旋円偏波時:DC 15 V、最大4 W/ 左旋円偏波時:DC 11 V、最大3 W)

その他の端子

DV入力/ TS入出力端子	4ピン :1系統(IEEE1394準拠) TS入出力: 対応ストリーム:MPEG2-TS 転送レート:S400対応 出力は、i.LINK(TS)ダビング動作時のみ
SDメモリー	1系統
カードスロット	
LAN端子	1系統(10BASE-T/100BASE-TX)
電話回線(モジュラー)端子	1系統 [V.22bis(2400 bps、着呼機能なし)]

映像

記録圧縮方式(HDD/DVDのみ)	MPEG2(Hybrid VBR)
映像入力	入力端子 :1系統(ピンジャック) 入力レベル :1.0 Vp-p 75 Ω
S映像入力	入力端子 :1系統 Y入力レベル :1.0 Vp-p 75 Ω C入力レベル :0.286 Vp-p 75 Ω
映像出力	出力端子 :1系統(ピンジャック) 出力レベル :1.0 Vp-p 75 Ω
S映像出力	出力端子 :1系統 Y出力レベル :1.0 Vp-p 75 Ω C出力レベル :0.286 Vp-p 75 Ω
D端子映像出力(D1/D2/D3/D4端子)	出力端子 :1系統 [525i(480i)/525p(480p)/ 1125i(1080i)/750p(720p)] Y出力レベル :1.0 Vp-p 75 Ω CB/PB出力レベル:0.7 Vp-p 75 Ω CR/PR出力レベル:0.7 Vp-p 75 Ω
HDMI 映像・音声出力	出力端子 :1系統(19ピン typeA端子) HDMI Ver.1.2a(EDID Ver.1.3) [525p(480p)/1125i(1080i)/750p(720p)]

音声

記録・再生圧縮方式(HDD/DVDのみ)	Dolby Digital :2ch記録 リニアPCM(XPモードのみ切り換え可):2ch記録 MPEG2 AAC(DRモード・デジタル放送記録時)
アナログ入力	入力端子 :1系統(ピンジャック) 基準入力 :309 mVrms 入力レベル(HDD/DVDのみ): FS:2 Vrms(1 kHz, 0 dB) 入力インピーダンス:22 kΩ
アナログ出力	出力端子 :2ch出力(ミックス音声) 2系統(ピンジャック) (D端子用音声出力 × 1を含む) 基準出力 :309 mVrms 出力レベル(HDD/DVDのみ): FS:2 Vrms(1 kHz, 0 dB) 出力インピーダンス:1 kΩ 負荷インピーダンス:10 kΩ
チャンネル数・トラック数	●HDD/DVD 記録:2チャンネル 再生:2チャンネル ●VHS ハイファイ:2トラック ノーマル:1 トラック
デジタル出力	出力端子 :1系統、光コネクター (PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG2 AAC対応)

HDD/DVD部

内蔵HDD容量	400 GB
記録可能なディスク	<ul style="list-style-type: none"> ●DVD-RAM: 2X SPEED(Ver.2.0 準拠) 2-3X SPEED(Ver.2.1 準拠) 2-5X SPEED(Ver.2.2 準拠) ●DVD-R: 1X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-8X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-16X SPEED(Ver.2.1 準拠) ●DVD-R(DL): 2-4X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●DVD-RW: 1X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 2-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 2-6X SPEED(Ver.1.2 準拠)
記録方式	<ul style="list-style-type: none"> ●DVD-RAM: DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R: DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R DL(片面2層): DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠
再生可能なディスク	<ul style="list-style-type: none"> ●DVD-RAM ●DVD-R ●DVD-R DL(片面2層) ●DVD-RW ●+RW: ファイナライズ済のみ ●+R: ファイナライズ済のみ ●+R DL(片面2層): ファイナライズ済のみ ●DVD-Video ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW (CD-DA、JPEGフォーマット記録のディスク)

VHS部

録画方式	VHS規格
テープ速度	標準: 33.35 mm/秒 3倍: 11.12 mm/秒
使用カセット	VHSビデオカセット
録画時間	最大9時間(T-180使用、3倍モード)
早送り・巻き戻し時間	約60秒(T-120使用時)

SD部

SDカード機能/静止画(JPEG)

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード ^{※3※4※5}
対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32 ^{※6}
画像ファイル形式	<ul style="list-style-type: none"> ●JPEGベースライン方式 [DCF(Design rule for Camera File system) 準拠] ●DPOF対応
画素数	34×34～6144×4096 サブサンプリング: 4:2:2, 4:2:0
解凍時間 ^{※7}	約6秒(600万画素、JPEG)

SDカード機能/動画(MPEG2)

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード ^{※3※4※5}
ファイル形式	<p>SD VIDEO規格準拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ●SD(SD VIDEO規格)からHDD/DVD-RAM/DVD-R(ビデオレコーディング規格)/DVD-R DL(ビデオレコーディング規格)/DVD-RW(ビデオレコーディング規格)への変換転送後に再生可能

音楽

再生可能なメディア	<ul style="list-style-type: none"> ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW(CD-DA) ●SDメモリーカード^{※4※5}
記録可能なメディア	SDメモリーカード ^{※3※4※5}
記録方式	HDD : LPCM、AAC SDカード : AAC
記録モード	LPCM : CD音質(HDD記録時のみ) AAC(XP) : 約 128 kbps AAC(SP) : 約 96 kbps AAC(LP) : 約 64 kbps
記録曲数	HDD : 最大40000曲 SDカード : 最大999曲

※2 ワンセグ放送は受信できません。

※3 使用可能容量は少なくなることがあります。

※4 minisdカードを含む。(minisdアダプター装着時)

※5 SDHCメモリーカードを含む。(Class非対応)

※6 ロングファイル名非対応。

※7 解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

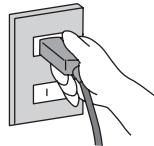
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

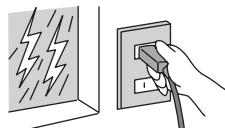
電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

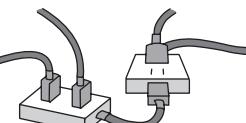
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない



感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特に子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない



- ・乾電池は充電しない
- ・加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ・ \oplus と \ominus を針金などで接続しない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ・ \oplus と \ominus を逆に入れない
- ・新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- ・被覆のはがれた電池は使わない
- ・乾電池の代用として充電式電池を使わない

- ・取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- ・電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする



- ・液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- ・液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

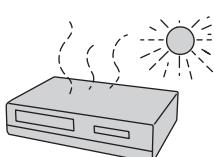
使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
・直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
・後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

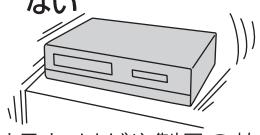


電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない



・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

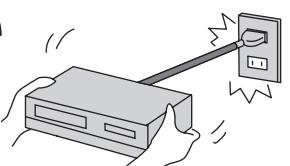
- ・設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

また、引っかかるって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ・ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する



指に注意

けがの原因になることがあります。

- ・特に子供にはご注意ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな!?(→122~130)に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」(→119)が表示されている場合その番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。

また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

製品名	DVDレコーダー	お買い上げ日	年月日
品番	DMR-XW40V	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

<http://panasonic.jp/support/>

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)  **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覗ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリー ダイヤル  **0120-878-365**

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリー ダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかげください。

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)  0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広	帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477
旭川	旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011	函館	函館市西桔梗589番地241 (函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326	宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
秋田	秋田市東通り2丁目1-7 ☎(018)831-7833	山形	山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130	福島	郡山市龜田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555	東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075	山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756	神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	新潟	新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034		

中部地区

石川	金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608	愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
富山	富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549	岐阜	岐阜市中鶴4丁目42 ☎(058)278-6720
福井	福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)25-5001	高山	高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
長野	松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209	三重	津市久居野村町字山神421 ☎(059)255-1380
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22 ☎(054)287-9000		

近畿地区

滋賀	栗東市靈仙寺1丁目1-48 ☎(077)582-5021	奈良	大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	兵庫	神戸市中央区琴/緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	岡山	岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	広島	広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
松江	松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1 ☎(083)973-2720
出雲	出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133		
浜田	浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629		

四国地区

香川	高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388	高知	高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
徳島	徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253	愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	天草	本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
長崎	長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
大分	大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	大島	名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213		

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207
----	----------------------------------------

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0506

保証とアフターサービス

必要なとき

さくいん

英数字	ページ
■ AAC	134
■ B-CASカード	
挿入する	準備編 18
テストする	準備編 38
番号を見る	109
■ CPRM	36, 134
■ DPOF	134
プリント枚数を設定する	88
■ DVD-R DL(片面2層)	11
■ DVおまかせ取込	84
■ D映像端子	134
出力解像度を設定する (初期設定「D端子出力解像度」)	117
■ EPG	135
■ EP時の記録時間(6時間 /8時間)	114
■ FR(フレキシブルレコーディング)	35
■ Gコード [®] 入力を使って予約録画する	46
■ HDD	
取り扱い	14
フォーマット	105
■ HDMI	135
アンプと接続	準備編 13
設定する(初期設定「HDMI接続」)	116
テレビと接続	準備編 10
■ i.LINK	135
i.LINK(TS)対応機器とのダビング	82
設定する(初期設定「i.LINK機器モード」)	117
■ Irシステム	135
Irシステムを接続する	準備編 20
Irシステムを使って予約録画する	48
■ JPEG	135
ファイルの条件	13
■ LPCM	135
LPCMで記録する (初期設定「XP時の記録音声モード」)	115
■ MPEG2	135
ダビングする	78
■ SDカード	13
MPEG2動画のダビング	78
入れかた/出しかた	21
音楽の再生	96
音楽の転送	95
写真の再生	86
写真のダビング	90
■ SQPB	58, 135
■ VIERA Link	
HDMIケーブルで接続する	準備編 10, 13
操作する	24
■ VR方式(DVDビデオレコーディング規格)	9
■ 1回だけ録画可能	36, 68
■ 30秒スキップ	55
あ 行	
■ アイコン一覧	136
■ 頭出し	60
■ 暗証番号	
視聴制限(DVDビデオ)	114
視聴制限(番組)	112
■ アンテナ	
アンテナの調整	準備編 34
接続する	準備編 6
■ アンプと接続する	準備編 12, 13
■ 枝番号	27
■ お好み選局	27
■ お好みページ	109
■ お知らせメール(放送メール)	109
■ 追っかけ再生	40
■ お手入れ	16
■ おまかせダビング	74
■ 音楽	
再生する(CD)	94
再生する(HDD、SD)	96
消去する	102
転送する(SDカードへ)	95
バックアップする	100
編集する	98
録音する(HDDへ)	94
■ 音声	
DV入力から録画する (初期設定「DV入力時の音声設定」)	115
LPCMで記録する (初期設定「XP時の記録音声モード」)	115
音声語を切り換える(音声情報)	56
音声効果を設定する	57
音声を切り換える	63
外部入力から録画する(初期設定「外部入力の音声」)	115
記録する音声(主/副)を選ぶ (初期設定「二重放送音声記録」)	115
■ 音声ガイド	
設定する(初期設定「音声ガイドの出力」)	113
か 行	
■ カード	13, 15
フォーマット	105
プロテクト(書き込み禁止)	105
■ ガイドチャンネル	準備編 47
■ 画質の選択	
HDD、DVD再生時	57
HDD録画時/HDD、DVDへのダビング時(録画モード)	35
■ カセット	15
再生	58
■ かんたん設置設定	準備編 22
■ クイックスタート	113
■ ケーブルテレビ(CATV)	
接続する	準備編 20
■ 高速ダビング	
初期設定「高速ダビング用録画」	114
所要時間のめやす	69
■ 購入記録	109
■ 語句登録	107
■ 個人情報リセット	112
■ コマ送り/コマ戻し	54

さ 行	ページ
■ サーチ.....	54
■ 再生する	
VHS	58
音楽(CD).....	94
音楽(HDD、SD)	96
写真	86
スライドショー	87
ディスク	51
番組	52
プレイリスト	53
■ 再生設定.....	56
■ 再生中番組のDVD保存	73
■ 再生ナビ	52
画面の便利な機能	53
■ 時刻合わせ	準備編 36
■ 視聴制限	
DVDビデオの視聴制限を設定する	114
番組の視聴制限を設定する	112
■ 自動CM早送り	
HDD/DVD再生時	56
ダビング時	76
■ 自動更新録画	42
■ 自動ドライブ選択	21
■ 写真	
一括取込	90
再生する	86
消去する	88, 102
ダビングする	90
プロテクト	88
編集する	88
■ 仕様	138
■ 消去する	
音楽	98, 102
写真	88, 102
全番組消去	105
番組	64, 102
■ 消去ナビ	102
■ 詳細ダビング	
SDカードのMPEG2動画をダビングする	78
カセットをダビングする	80
写真をダビングする	90
番組をダビングする	76
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ)をダビングする	80
■ 初期設定.....	113
初期化する(初期設定リセット)	113
■ 信号切換	
再生時	56
放送受信時	29
■ 信号設定	45
■ スキップ	54
■ スロー再生	54, 59
■ 選局対象	112
■ 全番組消去	105
■ 操作一覧画面	23
■ 操作ガイド	22
■ 操作状態の確認(情報表示)	62
■ 双方向通信一覧	109

た 行	ページ
■ タイムワープ	55
■ ダウンロード予約	準備編 38
■ 他のDVD機器再生(ファイナライズ)	106
■ ダビング	
i.LINK(TS)対応機器	82
SDカードのMPEG2動画	78
おまかせダビング	74
カセット(詳細ダビング)	80
再生中番組のDVD保存	73
写真	90
他のビデオやビデオカメラから	84
ダビングリストを作成して(詳細ダビング)	76
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ)(詳細ダビング)	80
番組のダビングについて	66
■ ディスク	
入れかた/出しかた	21
記録・再生ができるディスク	10
再生する	51
再生のみできるディスク	12
ディスクの再生方法(再生設定)	56
名前を付ける	105
フォーマット	105
プロジェクト	105
■ ディスク容量にぴったり合うように録画する	
(ぴったり録画)	41
■ データ放送	32
■ 電話	
接続する	準備編 17
設定する	準備編 40
■ 同時録画再生	40
■ どっちも録り	34
■ トランкиング調整	61

な 行	ページ
■ 名前を付ける	
アルバム(写真)	88
音楽	98
ディスク	105
番組	64
予約録画	47
■ 二重放送	
記録する音声(主/副)を選ぶ	
(初期設定「二重放送音声記録」)	115
番組にかかる制限	37
■ ネットワーク	
接続する	準備編 14
設定する	準備編 42

さくいん(つづき)

は 行	ページ
■ 早送り・早戻し(サーチ)	54
■ 早見再生(1.3倍速)	54
■ 番組	
再生する	52
消去する	64, 102
名前を付ける	64
プロテクト	64
編集する	64
■ 番組追従機能	42
■ 番組表(Gガイド)	
画面の見かた	31
検索(ジャンル、キーワード)	50
受信する	準備編 32
設定を変える	準備編 33
予約録画する	44
■ 微調整(チャンネル)	準備編 46
■ ぴったり録画	41
■ ビデオ方式(DVDビデオ規格)	9
■ ファイナライズ	133
他のDVD機器再生(ファイナライズ)	106
ファイナライズ確認画面	76, 121
■ フォーマット(初期化)	133
フォーマットする	105
■ 部分消去	64
■ ブラウザの設定をする	準備編 44
■ プレイリスト	
再生する	53
■ ブロードバンドレシーバー	
設定する	準備編 45
パソコンから本機を操作する	108
■ プログレッシブ	134
入/切する(再生設定)	57
テレビのタイプを設定する	準備編 28
■ プロテクト(書き込み禁止)	134
アルバム(写真)	88
カード	105
カートリッジ	105
写真	88
ディスク	105
番組	64
■ ペイ・パー・ビュー	32
■ 別売品	準備編 51
■ 編集する	
音楽	98
写真	88
番組	64
■ 放送設定	110

ま 行	ページ
■ 毎日・毎週予約	42
■ マルチジョグ	19
■ メール/情報	109
■ 文字入力	107

や 行	ページ
■ 野球延長対応(番組追従)	42
■ 有料番組	
購入した番組の確認	109
見る	32
■ 用語解説	133
■ 予約録画	42
Gコード®入力を使って	46
Irシステムを使って	48
番組表(Gガイド)を使って	44
予約の確認・取り消し・修正	49
録画時間を指定して(時間指定予約)	47

ら 行	ページ
■ リージョン番号	12
■ リピート再生	56
■ リモコン	
各部のはたらき	18
乾電池を入れる	準備編 5
本機のリモコンでテレビを操作する	準備編 36
リモコンモード(2台以上の当社製DVDレコーダーなどを使うとき)	準備編 36
■ 録画中に再生する(追っかけ再生/同時録画再生)	40
■ 録画の終了時間を指定する	40
■ 録画モード	
HDD録画時	35
HDD、DVDへのダビング時	35
VHSへのダビング時	72

著作権など

●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

●この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。

この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。

●Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。

Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。

米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

●電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。

●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

●Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社の日本国内における登録商標です。

Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●「DTS」および「DTS 2.0+Digital Out」はDTS社の商標です。

●SDHCロゴは商標です。

●Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

●Microsoft、Windows、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

●i.LINKとi.LINKロゴ“”は商標です。

●HDAVI Control™は商標です。

●日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved

●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したもので、許可なく複製することはできません。

●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[操作一覧]ボタンを押し、“その他の機能へ”→“メール／情報”→“ID表示”→“ソフト情報表示”をご参照ください。

●メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

●この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利確保のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金のお問い合わせ先
〒107-0052

東京都港区赤坂5丁目4番6号

赤坂三辻ビル 2F

社団法人 私的録画補償金管理協会

TEL 03-3560-3107(代)

FAX 03-5570-2560

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

●音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次のWebサイトをご覧ください:

www.gracenote.com

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ:

Copyright © 2000-2006 Gracenote.
Gracenote Software:

Copyright 2000-2006 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。

一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,

Inc.から提供されました。Gracenote

およびCDBBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、お

よび「Powered by Gracenote」ロゴは

Gracenoteの商標です。Gracenoteサー

ビスの使用については、次のWebページ

をご覧ください:

www.gracenote.com/corporate



この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote (“Gracenote”)からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術 (“Gracenote Embedded Software”)により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報 (“Gracenote Data”)を得ることも可能です。この技術はGracenote Database (“Gracenote Database”)に実装されています。

・Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。

・標準エンドユーザー機能およびこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。

・第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。

・この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。

・これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。

解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseのすべての使用をやめることに同意すること。

・GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。

・Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示あるいは默示、真実の表明あるいは保証は、一切致しません。GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。

Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Grace Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenoteは新しく拡張されたあるいは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。あるいはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する默示の保証、特定目的への適合性および権利侵害の不存在を含むすべての明示または默示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。

Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

さくいん（つづき）

必要なとき

—このマークがある場合は—



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のDVDレコーダーの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- テープやディスクをいためた
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは
使用を中止し、故障や事故
防止のために、必ず販売店
に点検をご相談ください。

便利メモ
おぼえのため
記入されると
便利です。

お買い上げ日

年 月 日

販売店名

□ () -

品番

DMR-XW40V

B-CAS カード
番号

B-CAS カード番号を記入してください。

お問い合わせのときに必要な場合があります。

松下電器産業株式会社 ネットワーク事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

RQT8709-3S

F0806Mr3116